TOSHIBA
Leading Innovation >>>

映像と音楽を楽しもう
TV/DVD/CDの使いかた

パソコンでテレビを楽しもう

音楽・映像・デジタルカメラの写真を楽しもう

参照 P.117〜

複数の音楽CDやオーディオ機器から好きな曲を集めて、自分だけのオリジナル音楽CDを作成できます。

STEP 3 テレビ番組を録画する

参照 P.53～

ハードディスク録画する
「Qosmio AV Center」

- 録画する準備
- 録画する
- 録画した番組を見る

DVDに直接録画する
「DVD MovieWriter」

オリジナルDVDの完成！

＊地上アナログ放送のみ

STEP 4 録画データをDVDに保存する

参照 P.86～

オリジナルDVDの完成！

- 地上デジタル放送の映像をDVDに移す「Qosmio AV Center」
- 映像を編集してDVDに残す「DVD MovieWriter」＊

＊地上アナログ放送のみ

STEP 5 DVDの映画や映像を見る

参照 P.110～

DVDを見る
「TOSHIBA DVD PLAYER」＊

＊DVDスーパーマルチドライブモデルのみ

HD DVD-Rドライブ内蔵モデルの場合は、『HD DVDを楽しもう』もあわせて参照してください。

デジタルカメラの写真を閲覧する

参照 P.125～

「Corel Snapfire Plus SE」

デジタルカメラで撮った写真をパソコン上で管理し、閲覧することができます。

CD／DVDにコピーする
「TOSHIBA Disc Creator」

エンターテイメントを楽しむ

CDやDVDの音楽・映像、デジタルカメラで撮った写真などを1つの入り口からリモコンを使って楽しめます。

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。本書は次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

記号	意味
⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
＊＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する操作を示します。 「＊＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
▼＊＊＊＊＊のみ ▲＊＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する記述の範囲を示します。 「＊＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 他のマニュアルへの参照の場合…『　』 おたすけナビなどへの参照の場合…《　》 おたすけナビにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

Windows Vista

Windows Vista™ Home Premium を示します。

おたすけナビ

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ

DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について『いろいろな機能を使おう 1章 4 CDやDVDを使う』

HD DVD-Rドライブ内蔵モデルについては、『HD DVDを楽しもう』もあわせて参照してください。

地デジ/アナログモデル

地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を受信できるモデルを示します。

地デジモデル

地上デジタル放送のみを受信できるモデルを示します。

G40シリーズ

dynabook Qosmio G40シリーズを示します。

F40シリーズ

dynabook Qosmio F40シリーズまたはdynabook Qosmio F40Wシリーズを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名については、別紙の『dynabook＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を受信できる地デジ/アナログモデルを対象にしています。また、すべての画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJamにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- UleadおよびUleadロゴ、DVD MovieWriterはInterVideo Incorporatedの登録商標または商標です。
- “Labelflash™”はヤマハ株式会社の商標です。
- Corel、Snapfire、およびCorelロゴは、Corel Corporationまたはその関連会社の商標、または登録商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- W録、おたすけナビは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「Qosmio AV Center」は、ドルビーデジタルオーディオ符号化システムを使用しています。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992-1999年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 バックアップについて

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
なお、地上デジタル放送の録画データは、「Qosmio AV Center」のムーブ機能でDVD-RAMにデータを移動する場合を除き、バックアップをとることができません。
バックアップについて、詳しくは『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

6 著作権について

● 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。
● 「Qosmio AV Center」、「DVD MovieWriter」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］ボタン（　）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

8 アナログ放送からデジタル放送への移行について

● デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。
今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。
● 地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。その際には、受信チャンネルの設定を変更する必要があります。

9 コピーワンスについて

2004年4月1日より、NHKや民放連の地上／BSデジタル放送には、著作権保護の目的から、「コピーワンス」という1回だけ録画が可能になるコピー制御信号が加えられています。コピーワンスの番組は内蔵HDD、もしくはDVDなどCPRM（Content Protection for Recordable Media）規格などで保護されたメディアにのみ記録することができます。また、一度記録された番組をコピーすることはできません。本製品内蔵のTVチューナは地上アナログ／地上デジタル放送用のものですので、BS／CSデジタル放送用のアンテナを接続して、番組を受信・視聴・録画することはできません。

10 テレビアンテナを接続する前に

IEC60950-1/EN60950-1 Information technology equipment - Safety -

- 本製品にはテレビチューナが搭載されています。
  CATV（ケーブルテレビ）を利用する場合には、事前にCATV事業者へケーブルシステムが確実に保護接地されていることを確認してください。

11 ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

12 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2007年4月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

13 ［ユーザー アカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、［続行］または［許可］ボタンをクリックしてください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

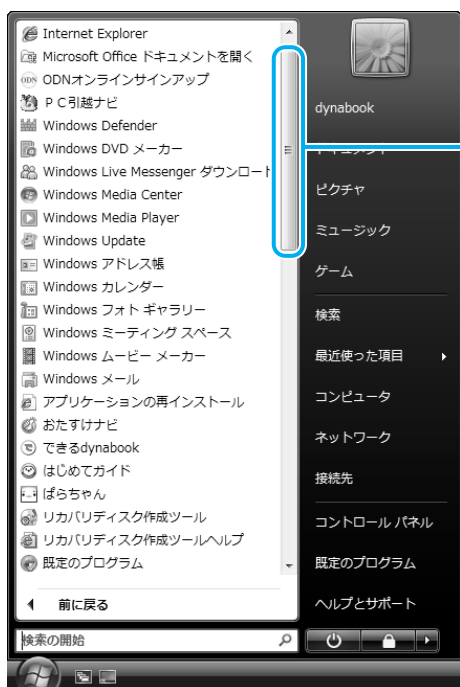
14 アプリケーションの起動について

本書では、アプリケーションの起動手順の記載を簡略化して次のように記載しています。

❏「メモ帳」を起動する場合の例

1 ［スタート］ボタン（）→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［メモ帳］をクリックする

この手順は、次のような操作を表しています。参考にして操作してください。

［スタート］メニューの左側の部分が［すべてのプログラム］の一覧に切り替わります。

③スクロールバーをドラッグし、起動するアプリケーションを探す

スクロールバーをドラッグすると、［すべてのプログラム］の一覧がスクロールされます。目的のアプリケーションを探してください。左側のアイコンがフォルダ（ ）の場合は、クリックするとフォルダ内の一覧が開きます。

④［アクセサリ］をクリック

⑤［メモ帳］をクリック

「メモ帳」が起動します。

役立つ操作集

「東芝ソフトウェア更新チェックツール」

「東芝ソフトウェア更新チェックツール」は、本製品に用意されている一部のアプリケーションやドライバの中から、新しいバージョンがWebサーバに掲載された場合に、それらをお知らせするアプリケーションです。
「東芝ソフトウェア更新チェックツール」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

参照 「東芝ソフトウェア更新チェックツール」
「付録 2 アプリケーションの新バージョンの情報を取得する」

Qosmio AV Centerとは

「Qosmio AV Center」は、テレビを見る／録画する機能のほか、映像を見る、音楽を聴く、写真を見るといったエンターテイメントへの入り口を1つにまとめた、Windows上のアプリケーションです。

「Qosmio AV Center」でテレビを見たり録画する前に、「付録 1 - 9 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

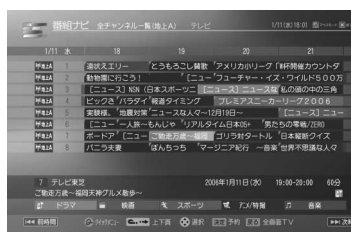
❏「Qosmio AV Center」（テレビ）でできること

「Qosmio AV Center」のおもな機能は次のとおりです。

3つのナビ画面で、番組表の確認、テレビ録画の録画予約、再生などが簡単に行えます。

番組ナビ（リモコンモード）

録るナビ（リモコンモード）

見るナビ（リモコンモード）

参照先は、表外の<参照先>を確認してください。

＊地デジモデルでは、地上デジタル放送のみ視聴できます。

機　能	地上アナログ放送	地上デジタル放送	参照先
テレビを見る	○	○	1
音声多重放送のテレビを見る	○	○	2
地上アナログ放送に切り替える	－	○	1
地上デジタル放送に切り替える	○	－	1
画面の表示サイズを切り替える	○	○	2
字幕放送を見る	－	○	2
音声を切り替える	－	○	2
お好み再生	○	－	1
データ放送を楽しむ	－	○	2
録画する	○	○	3
電子番組表を使って録画予約する	○	○	3
電子番組表で検索する	○	○	2
おすすめサービスを利用する	○	△＊1	3
スポーツ延長／ドラマ延長	○	－	2
番組延長録画	－	○	2

＊1 「おすすめサービス」の画面で表示される番組に地上デジタル放送にて放送される番組の候補がある場合、地上デジタル放送の番組を録画予約をすることができます。

機　能	地上アナログ放送	地上デジタル放送	参照先
「録るナビ」で録画予約した内容を管理する	○	○	2
マニュアルで録画予約する	○	○	2
メールで録画予約する	○	○	2
プレイバック録画	○	−	3
録画した番組を再生する	○	○	4
早見早聞	○	○	4
早戻し再生・早送り再生	○	○	2
スロー再生	○	○	2
ワンタッチリプレイ・ワンタッチスキップ	○	○	2
番組の頭出し	○	○	2
次の番組へジャンプする	○	○	2
レジューム機能	○	○	2
録画番組のファイルを保護する	○	○	2
追っかけ再生	○	−	3

● **地上アナログ放送録画中と地上デジタル放送録画中にできること**

機　能	地上アナログ録画中	地上デジタル録画中	参照先
地上デジタル放送の番組を見る	○	○＊1	2
地上アナログ放送の番組を見る	○＊1	○	2
地上デジタル放送の番組を録画する	○	−	2
地上アナログ放送の番組を録画する	−	○	2

＊1　録画中のチャンネル以外は視聴できません。

■参照先

1：「2章 1 テレビを見る」
2：「Qosmio AV Center」のヘルプ
3：「2章 2 テレビ番組を録画する」
4：「2章 3 録画した番組を再生する」

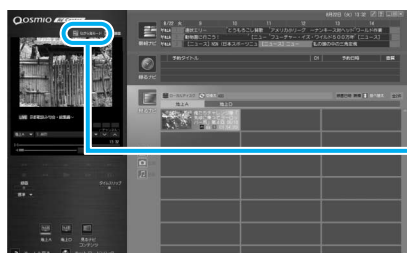
●「Qosmio AV Center」では、テレビ以外にも、映像や音楽の機能やホームネットワーク上のコンテンツなどを楽しむことができます。詳しくは「Qosmio AV Center」のヘルプと「2章 4-1 録画した映像をDVDに移す」「3章 1 映像を編集してDVDに残す」「4章 1-1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る」「4章 2-1 音楽CDを聴く（RoomStylePlayer）」を確認してください。

❏「Qosmio AV Center」の画面

「Qosmio AV Center」には、おもに、起動時に表示される「ホーム画面」、リモコンで操作する「リモコンモード」、タッチパッドやマウスで操作する「マウスモード」、プレイヤー画面（テレビや録画番組を見る画面）部分だけを最前面に表示する「ながら見モード」の4種類の画面があります。起動時は、ホーム画面が表示されます。必要に応じて切り替えて使用します。

● ホーム画面

● リモコンモード画面（見るナビ）

リモコンの［画面モード］ボタンを押す、または各ナビ画面右上の［マウスモード］をクリックするとマウスモードに切り替わります。

リモコンの［画面モード］、または［番組ナビ］［録るナビ］［見るナビ］ボタンを押すと、リモコンモードに切り替わります。

● マウスモード画面

［ながら見モード］をクリックすると、ながら見モードに切り替わります。

● ながら見モード画面

［マウスモード］をクリックすると、マウスモードに切り替わります。

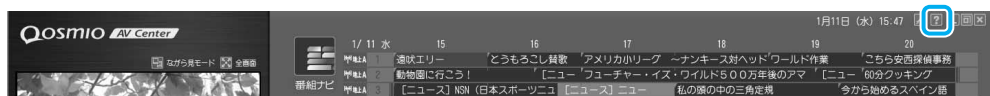
全画面

マウスモード、ながら見モードの［全画面］をクリックすると、テレビや録画番組を見る画面が全画面表示に切り替わります。

ヘルプの起動方法

「Qosmio AV Center」の機能や使いかたについて、詳しくは、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

1 マウスモード、ながら見モードのときに、[?]をクリックする

● マウスモード

● ながら見モード

ヘルプが起動します。

見たい内容をクリックすると、説明が表示されます。

（表示例）

目次です。

メモ

● [F1]キーを押すと、すべてのモードのときに、ヘルプを起動できます。

「Qosmio AV Center」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

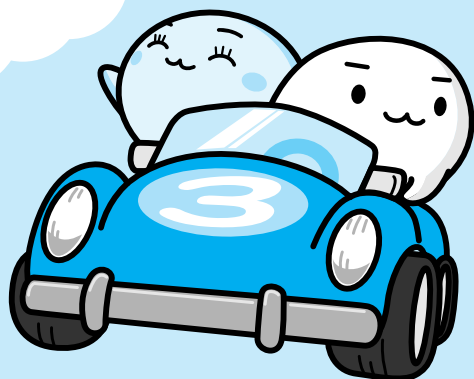
全国共通電話番号　：　0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口 受付時間　：　9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

1 章

テレビを見る準備をする

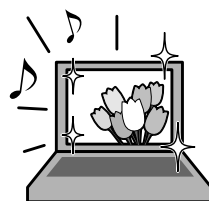
テレビを見るための準備について説明しています。

1 地上デジタル放送について

＊地上デジタル放送のみ
本製品の「Qosmio AV Center」では、従来の地上アナログ放送に加えて、地上デジタル放送もご利用いただけます。

地上デジタル放送の特長は？

従来のアナログ放送に比べて、次の特長があります。

- デジタルハイビジョン放送を中心とした、高画質・高音質
- データ放送や視聴者参加型のクイズ番組などの双方向通信サービスが受けられる

など

地上デジタル放送を受信するのに必要なものは？

- B-CASカード（本製品に付属）
- 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ

＊地上デジタル放送送信局の送信アンテナの方向に向ける必要があります。
＊地上デジタル放送は、地域や時期により放送されていない場合があります。

地上デジタル放送の録画において、規制はあるの？

番組によって、録画できるものとできないものがあります。また「コピーワンス」という1回だけ録画が可能になるコピー制御信号が加えられているため、本製品では、内蔵ハードディスクにのみ録画することができます。DVDメディアに直接書き込むことなどはできません。

地上デジタル放送と地上アナログ放送の切替えは、ボタン1つで！

＊地デジ/アナログモデルのみ
あらかじめ設定さえ行っていれば、TVを見ながらリモコンのボタンを1つ押すだけで、簡単に地上デジタル放送と地上アナログ放送を切り替えられます。

地上デジタル放送と地上アナログ放送の番組が同時に録画予約できる！

＊地デジ/アナログモデルのみ
地上デジタル放送と地上アナログ放送の番組を、同時に録画予約することができます。
また、地上デジタル放送の番組を録画しているときに、地上アナログ放送の番組を見たり、反対に地上アナログ放送の番組を録画しているときに、地上デジタル放送の番組を見ることができます。

地上デジタル放送を見るために

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されている場合に、見ることができます。
ただし、受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。
詳しくは、アンテナの販売店や社団法人デジタル放送推進協会のホームページ(http://www.dpa.or.jp)、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（ナビダイヤル0570-07-0101 平日：午前9時～午後9時、土曜・日曜・祝祭日午前9時～午後6時）などにお問い合わせください。
地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送の受信に対応した設備が必要になります。

■個人住宅など、アンテナで直接受信している場合

地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナを設置し、地上デジタル放送送信局の送信アンテナの方向に向ける必要があります。
このため、VHF受信用アンテナのみ設置されている場合は、新規に地上デジタル放送用のUHFアンテナが必要となります。また、アナログ放送対応のUHFアンテナでは、受信できない場合があります。

■マンションやアパートなど、集合住宅にお住まいの場合

現在、UHF放送を受信している設備があれば基本的には受信可能です。
ただし、地上デジタル放送の受信に対応した共同受信用アンテナの設置や、市販のアンテナブースタやアッテネータの使用、アンテナの向きの変更が必要になる場合があります。
詳しくは、お住まいの管理組合または設備維持管理会社等にお問い合わせください。

■ケーブルテレビで受信している場合

地上デジタル放送を配信しているケーブルテレビでは、地上デジタル放送を見ることができます。
詳しくは、ご加入または最寄りのケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

2 B-CASカードをセットする

パソコンで地上デジタル放送を見るためには、パソコンにB-CAS（ビーキャス）カードをセットします。
地上アナログ放送のみをお使いのかたは、この操作は必要ありませんので、「本章 3 テレビアンテナを接続する」に進んでください。

1 B-CASカードについて

- パソコンにB-CASカードをセットしないと、地上デジタル放送の視聴や、その他の放送サービスを受けることができなくなります。
- 本製品専用のB-CASカードをセットしてください。
- B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）に帰属します。
- B-CASカードをセットした後に、必ずユーザ登録を行ってください。B-CASカードの「ユーザー登録はがき」に必要事項を記入して、はがきを郵送するか、B-CASのホームページ（http://www.b-cas.co.jp/）から登録します。ユーザ登録をすると、カードシステムのバージョンアップなどを無料で受けることができます。
- 次のような場合は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（カードが張ってある台紙を参照）にご連絡ください。
  - ・紛失した
  - ・盗まれた
  - ・破損した
  - ・汚れた
- 紛失したB-CASカードを再発行する場合は、再発行費用がかかります。
- パソコン本体を廃棄する場合は、セットしたB-CASカードをパソコンから取り出し、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにカードを返却してください。
  パソコンの廃棄については、『準備しよう 6章 デイリーケアとアフターケア』を参照してください。

お願い B-CASカードについて

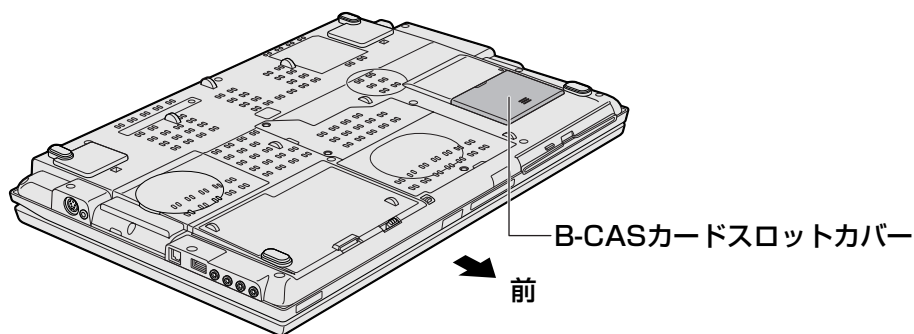
- あらかじめ、「付録 1-4 B-CASカードについて」を確認してください。

2 パソコンにB-CASカードをセットする

B-CASカードのセットと取りはずし方法は、モデルによって異なります。

▼G40シリーズの場合

B-CASカードスロットの位置を確認する

B-CASカードスロットは、パソコン本体裏面のB-CASカードスロットカバーをはずしたところにあります。

B-CASカードをセットする

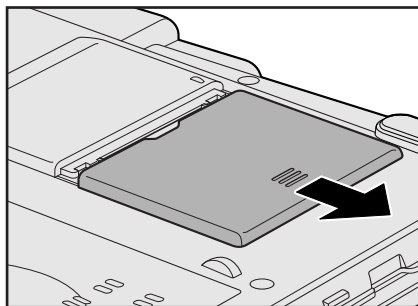
1 B-CASカードを台紙から取りはずす

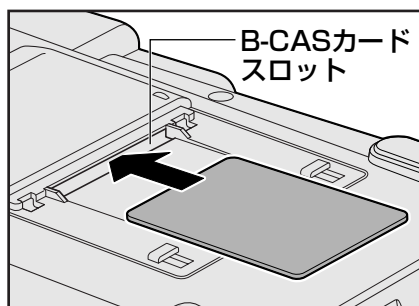
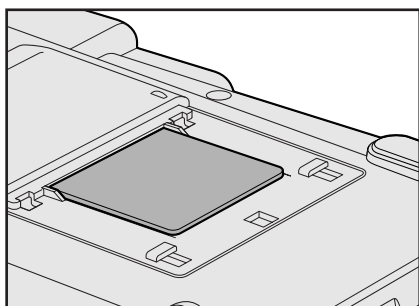
台紙には、「使用許諾契約約款」が記載されておりますので、ご使用前に必ず記載内容をご確認ください。

2 B-CASカードの番号を確認する

カードの裏面にバーコードとB-CASカードの番号が記載されています。

3 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを矢印の方向に引き抜きます。

4 B-CASカードに印刷されている「B-CAS」のロゴが見えるように上にしてからB-CASカードの示す矢印の方向にあわせ、B-CASカードをB-CASカードスロットの奥まで差し込む

B-CASカードは、前後や表裏を確認して差し込んでください。逆の向きで差し込まないでください。

5 B-CASカードが正しく差し込まれていることを確認する

上の図のようにB-CASカードがスロットの一番奥まで差し込まれていることを確認してください。正しくカードが差し込まれていないと、地上デジタル放送を受信できません。また、B-CASカードスロットカバーを取り付ける際に、B-CASカードが破損する恐れがあります。

6 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込みます。

役立つ操作集

B-CASカードをセットした後、カード番号を忘れてしまった場合は、「Qosmio AV Center」の［B-CASカード情報］画面で確認することができます。また、B-CASカードが正しくセットされていないと、［カードテスト結果］に「NG」が表示されますので、カードがセットされている状態についても確認できます。
詳しい操作手順については、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

B-CASカードの取りはずし

本製品を廃棄する場合は、次の手順でB-CASカードをB-CASカードスロットから取りはずし、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）にカードを返却してください。
地上デジタル放送視聴時は、取りはずさないでください。

参照 パソコンの廃棄『準備しよう 6章 4 捨てるとき／人に譲るとき』

1 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを引き抜きます。

2 B-CASカードを引き抜く

まっすぐ静かに引き抜きます。

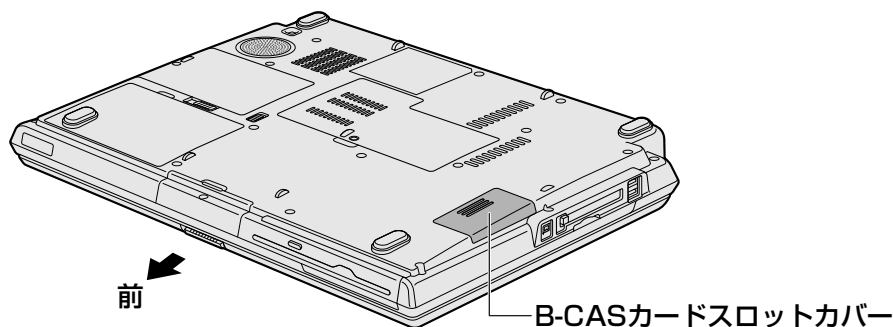
3 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込みます。

▲ G40シリーズの場合

▼ F40シリーズの場合

B-CASカードスロットの位置を確認する

B-CASカードスロットは、パソコン本体裏面のB-CASカードスロットカバーをはずしたところにあります。

B-CASカードをセットする

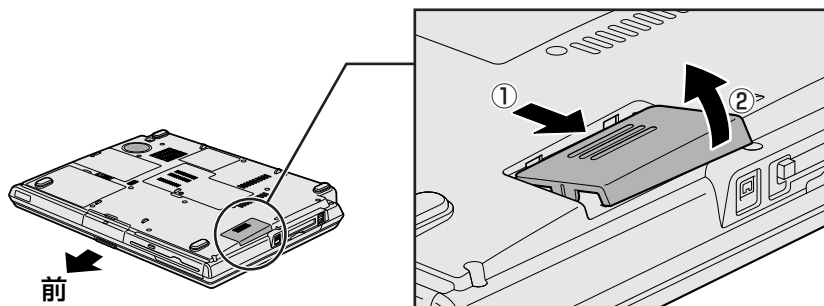
1 B-CASカードを台紙から取りはずす

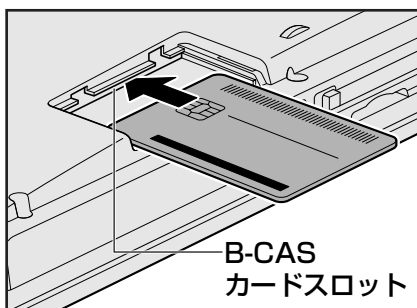
台紙には、「使用許諾契約約款」が記載されておりますので、ご使用前に必ず記載内容をご確認ください。

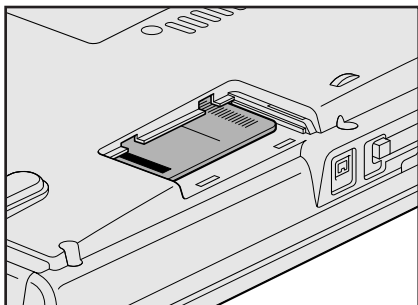
2 B-CASカードの番号を確認する

カードの裏面にバーコードとB-CASカードの番号が記載されています。

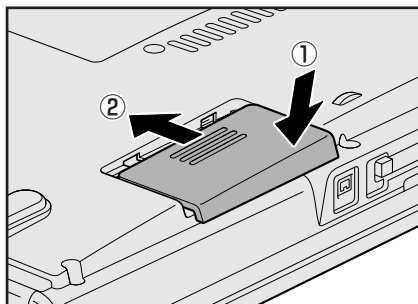
3 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを「カチッ」と音がするまで引き①、外側部分を斜めに持ち上げてはずします②。

4 B-CASカードに印刷されているバーコードが見えるように「B-CAS」のロゴを下にしてから金メッキ端子部を先頭にして、B-CASカードをB-CASカードスロットの奥まで差し込む

B-CASカードは、前後や表裏を確認して差し込んでください。逆の向きで差し込まないでください。

5 B-CASカードが正しく差し込まれていることを確認する

B-CASカードは、約25mm見えた状態です。

上の図のようにB-CASカードがスロットの一番奥まで差し込まれていることを確認してください。正しくカードが差し込まれていないと、地上デジタル放送を受信できません。また、B-CASカードスロットカバーを取り付ける際に、B-CASカードが破損する恐れがあります。

6 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードカバーを置き①、「カチッ」と音がするまで静かに差し込んでください②。

役立つ操作集

B-CASカードをセットした後、カード番号を忘れてしまった場合は、「Qosmio AV Center」の［B-CASカード情報］画面で確認することができます。また、B-CASカードが正しくセットされていないと、［カードテスト結果］に「NG」が表示されますので、カードがセットされている状態についても確認できます。
詳しい操作手順については、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

B-CASカードの取りはずし

本製品を廃棄する場合は、次の手順でB-CASカードをB-CASカードスロットから取りはずし、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）にカードを返却してください。
地上デジタル放送視聴時は、取りはずさないでください。

参照 パソコンの廃棄『準備しよう 6章 4 捨てるとき／人に譲るとき』

1 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを「カチッ」と音がするまで引き、外側部分を斜めに持ち上げてはずします。

2 B-CASカードを引き抜く

まっすぐ静かに引き抜きます。

3 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込んでください。

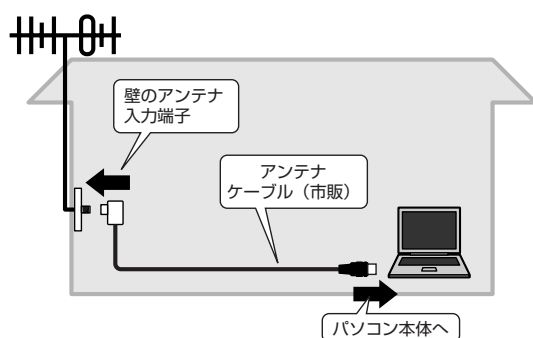
▲ F40シリーズの場合

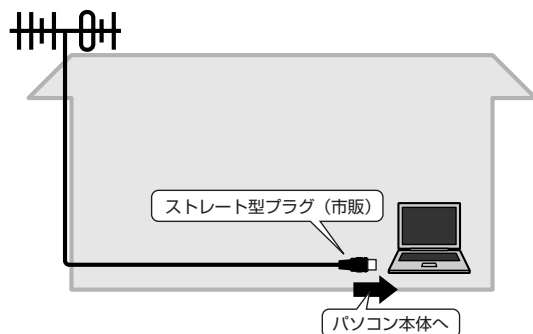
3 テレビアンテナを接続する

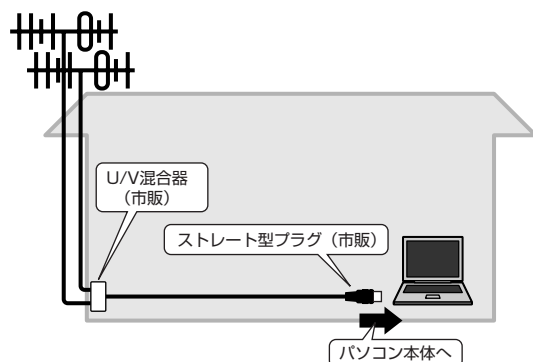
パソコンでテレビを見るには、テレビアンテナをパソコンに接続します。

アンテナの種類を確認する

ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）の種類を確認してください。
アンテナケーブルには、一方のプラグの形状が「ネジ型」になっているものがあります。「ネジ型」のアンテナケーブルは、接続できませんので、販売店などにご相談ください。

■壁面などにアンテナ入力端子があるとき

マンションなどで壁面にアンテナ入力端子だけがある場合は、市販のアンテナケーブルをお買い求めください。
これ以外にも壁側の端子とそれに適合するプラグの形状には、いくつかタイプがあります。販売店などにご相談ください。

■アンテナ線が1本（UHFのみ／VHFのみ／UHF/VHF混合）のとき

アンテナ線の先端に市販のストレート型プラグを取り付け、接続します。
アンテナ線の先端に市販のストレート型プラグを取り付ける方法は、いくつかあります。
取り付ける方法は販売店などにご相談ください。

■アンテナ線が2本（UHFとVHF）のとき

市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを1本にしてください。この際、パソコンに接続するほうをストレート型プラグにします。場合によっては、混合器と変換ケーブルなどが必要になる場合があります。詳しくは、販売店などにご相談ください。

参照 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様の場合
「本章 5 - 2 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ」

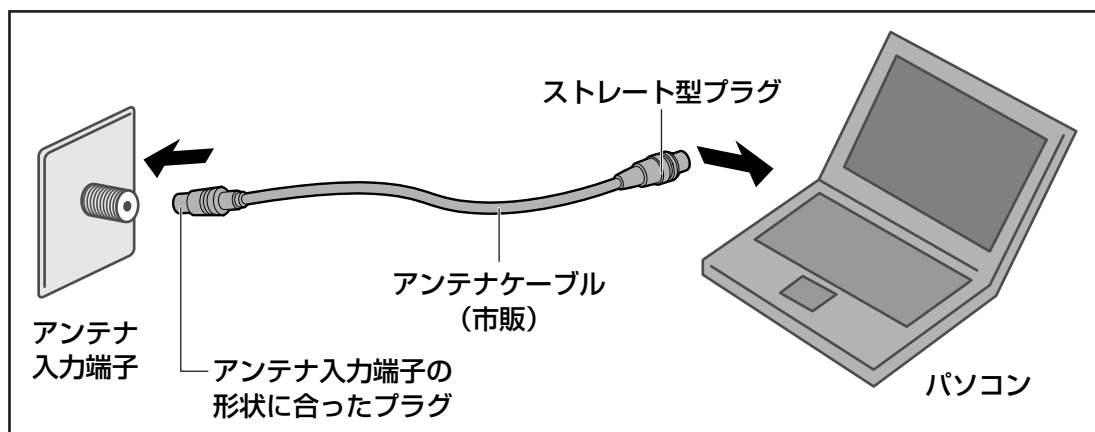
1 アンテナについて

- 画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 電波の受信状態が悪いときは、テレビの写りが悪くなりますので、アンテナの向きを調整したり、チャンネルを手動設定してチャンネルの調整を行ってください。それでもテレビの写りが良くならない場合は、市販のアンテナブースタやアッテネータを使用することで改善する場合があります。詳しくは販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

テレビ機能を使用する前に、「付録 1-1 大切な録画・録音・編集について」、「付録 1-2 テレビ視聴と録画について」、「付録 1-3 TVチューナに関するご注意」を、よくお読みください。

2 ケーブルの接続

パソコンのアンテナ入力端子とご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）をケーブルで接続します。

■ケーブル接続の一例

メモ

- アンテナケーブルをパソコン以外の機器（テレビやビデオなど）にも接続したい場合は、市販の分配器を使い、アンテナケーブルを2つに分けます。また、テレビやビデオなどにアンテナ出力端子がある場合は、アンテナケーブルをテレビやビデオに接続し、テレビまたはビデオのアンテナ出力端子とパソコンを接続します。
  アンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、パソコンの画面がちらつくことや、テレビの映像にコマ落ちが著しく発生して、きれいに映らないことがあります。
  この場合は、市販のアンテナブースタを接続してください。詳しくはお近くの販売店または、アンテナ工事業者にご相談ください。

お願い テレビアンテナの接続について

- あらかじめ、「付録 1-5 テレビアンテナの接続について」を確認してください。

役立つ操作集

電波の調節をする場合

電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合や、集合住宅などでTV電波を増幅していて、極端に電波が強い場合には、ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）に市販のアンテナブースタやアッテネータを接続してから、ケーブルを接続します。

1 アンテナケーブルの接続

⚠注 意

- **雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないこと**
  感電の原因となります。
- **アンテナがパソコン本体に接続されている間は、ACアダプタを必ずパソコン本体に接続すること**
  落雷により感電するおそれがあります。

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源を切る『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

2 ACアダプタと電源コードを接続する

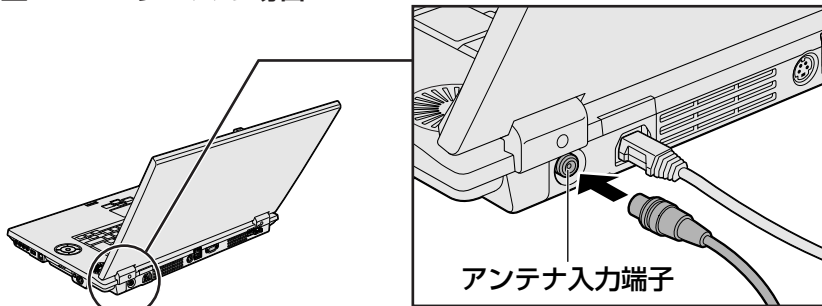
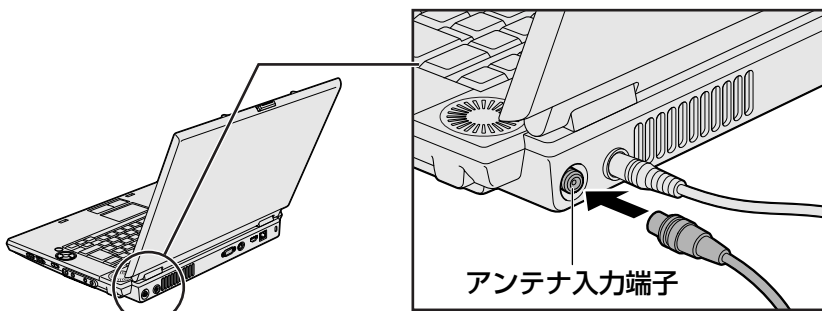
参照 接続方法『準備しよう 1章 パソコンの準備』

3 アンテナ入力端子に接続する

アンテナケーブルの芯線が折れないように、確認しながら接続してください。

■G40シリーズの場合

■F40シリーズの場合

4 リモコンを使うには

リモコンを使って、離れた場所からパソコンの機能の一部を操作することができます。

1 リモコンについて

お願い リモコンの操作にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 - リモコンの操作にあたって」を確認してください。

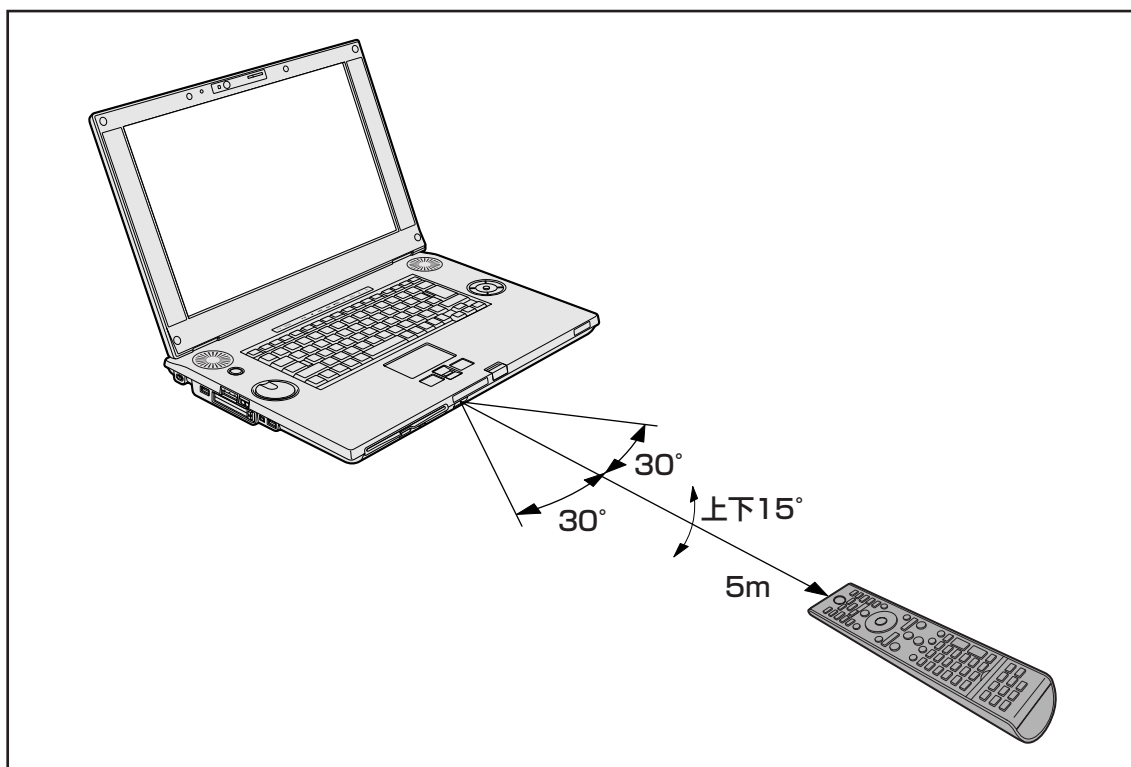
参照 「Qosmio AV Center」使用中のリモコン操作について
「Qosmio AV Center」のヘルプ、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

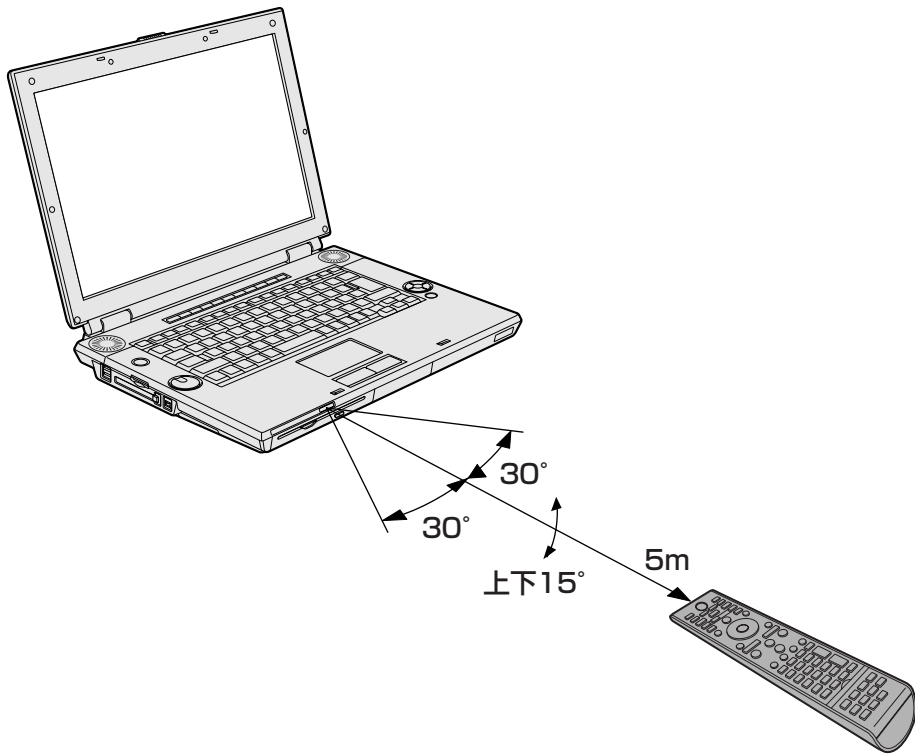
参照 Windows Vista使用中のリモコン操作について
《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

❑ 使用範囲

パソコン本体に向けてリモコンの操作ボタンを押します。使用範囲は、次の距離と角度を目安にしてください。

■ G40シリーズの場合

距 離	リモコン受光窓正面より約5m以内
角 度	リモコン受光窓正面より左右約30度以内、上下に約15度以内

■F40シリーズの場合

距 離	リモコン受光窓正面より約5m以内
角 度	リモコン受光窓正面より左右約30度以内、上下約15度以内

■使用時の注意

使用範囲内でも、次のような場合はリモコンが誤動作したり操作できない場合があります。

- パソコン本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯の強い光があたっているとき
- リモコン受光窓、またはリモコンの発光部が汚れているとき
- 本製品とリモコンが複数台あるとき
- 電池が消耗したとき

2 電池の取り付け／取りはずし

リモコンをご使用になる前に、付属の乾電池を取り付けてください。

⚠警告

- **リモコンに使用している電池は、幼児の手の届くところに置かないこと**
  誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注意

- **リモコンに使用している電池の取り扱いについては、次のことを必ず守ること**
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・極性表示［(＋) と (－)］を間違えて挿入しない
  - ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
  - ・乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに使用しない
  - ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない
  - ・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない
  - ・使用済みの乾電池は、電極［(＋) と (－)］にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って保管、廃棄すること

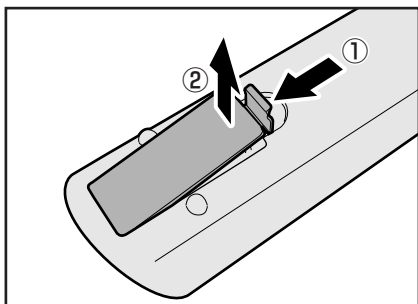
  これらを守らないと、発熱・液もれ・破裂などにより、やけど、けがの原因となります。
  もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
  液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

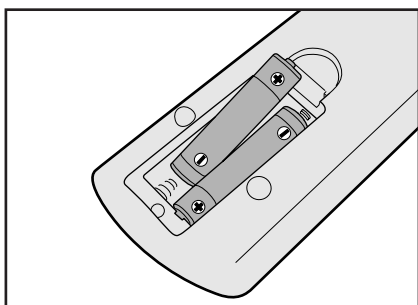
■使用できる乾電池

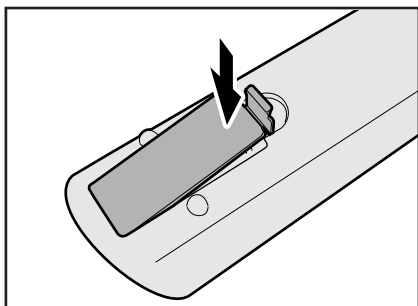
付属されている乾電池が消耗した場合は、市販の電池と交換してください。使用できる電池は、単4形マンガン電池、単4形アルカリ電池（2本）です。その他の電池は使用できません。

1 取り付け／取りはずし

初めてリモコンを使用するときには、付属の乾電池を取り付けてください。
リモコンに使用している電池が消耗すると、リモコン操作ができなかったり、到達距離が短くなります。その場合は、使用できる乾電池をお確かめのうえ購入いただき、次のように電池を取りはずしてから、新しい電池を取り付けてください。

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

ツメ部分を矢印の方向に押しながら①、開けます②。

2 電池をセット／交換する

＋（プラス）、－（マイナス）をよく確認してセットしてください。

3 電池カバーを閉める

「カチッ」という音がするまで押してください。

メモ

- 長時間使用しないときは、電池を取りはずしてください。

5 チャンネル設定をする

初めてテレビを見る前に、テレビ映像を受信するチャンネル（放送局）をお住まいの地域に合わせて設定します。
本製品でテレビを見るには、「Qosmio AV Center（コスミオ エーブイ センター）」を使用します。

参照 「Qosmio AV Center」について「巻頭 Qosmio AV Centerとは」

1 チャンネル設定をする

地上デジタル放送と地上アナログ放送のチャンネル設定は個別に行います。

お願い 「Qosmio AV Center」を初めて起動したとき

- あらかじめ、「付録 1 - 9 - 「Qosmio AV Center」全般に関すること」を確認してください。

セキュリティに関する警告メッセージが表示されたときは

「ウイルスバスター」をインストールしている場合は、「Qosmio AV Center」を起動すると、次のようなメッセージ画面が表示されます。

（表示例）

警告の内容を確認し、メッセージの中に次の「Qosmio AV Center」のプログラムに対するものがあれば、メッセージ画面で「許可」を設定してください。

- Qosmio AV Center Application
- Qosmio AV Center Launcher
- Qosmio AV Center Scheduler Service
- TOSHIBA Home Network Player
- TOSHIBA Home Network Server DMS
- TOSHIBA Home Network Server Media Transfer

これらのプログラムに対して「拒否」を設定すると、電子番組表など「Qosmio AV Center」の機能の一部をご利用になれない場合があります。この場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。また、ホームネットワーク機能が正常に動作しない場合も、ファイアウォールの設定を確認してください。

参照 ファイアウォールの設定「Qosmio AV Center」のヘルプ

1 地上デジタル放送のチャンネル設定をする

『地上デジタル放送局一覧』でお住まいの地域で地上デジタル放送が受信できることをご確認のうえ、地上デジタル放送をご利用ください。
チャンネルの設定は、お住まいの地域の地域名を指定してチャンネルスキャン操作を行うことで自動的に行われます。
地上デジタル放送をご利用になる場合は、必ず設定してください。

準備

あらかじめ、『地上デジタル放送局一覧』でお住まいの地域の地域名を確認してください。

メモ

- 『地上デジタル放送局一覧』を表示するには、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Qosmio AV Center］→［地上デジタル放送局一覧］をクリックします。

1 「Qosmio AV Center」を起動する

① リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

② タッチパッドまたはマウスで［設定］をクリック

［設定］画面が表示されます。

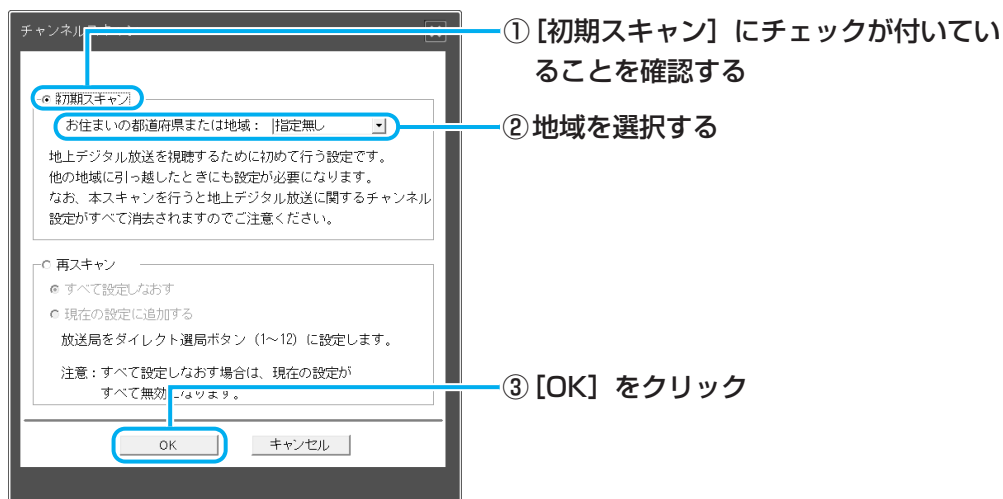
2 [地域チャンネル設定]をクリックする

地デジモデルの場合は手順 4 へ進んでください。

3 地デジ/アナログモデルのみ

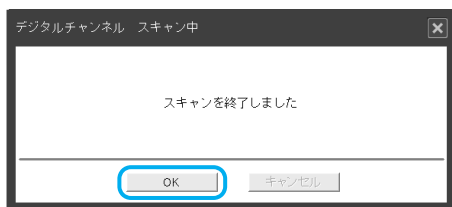
[地上デジタル放送設定]タブをクリックする

4 [チャンネルスキャン]をクリックする

5 ［お住まいの都道府県または地域］を設定する

チャンネルのスキャンが開始され、スキャン中のメッセージが表示されます。
終了すると、終了のメッセージが表示されます。

メモ

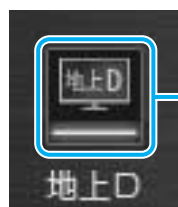
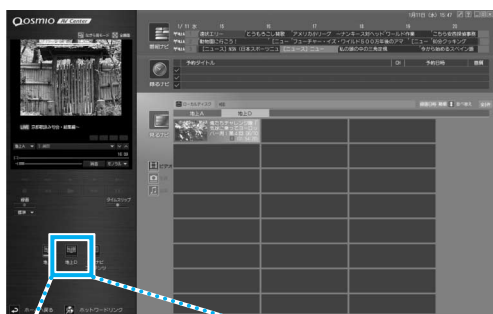
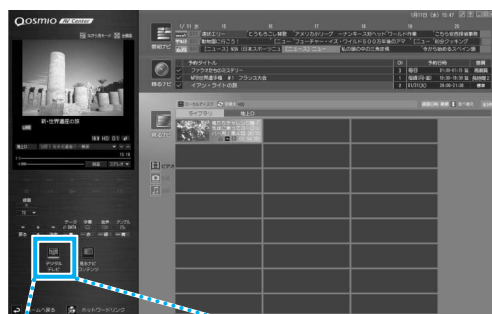
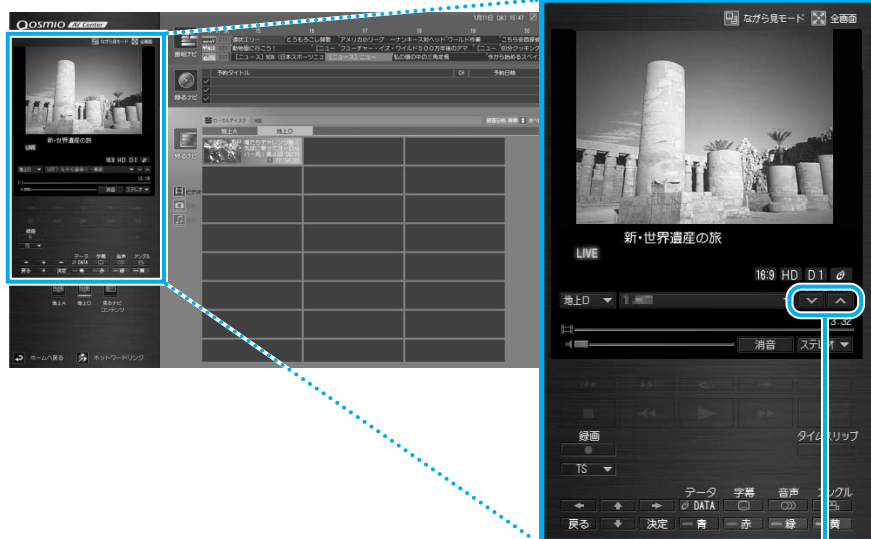
- 使わないチャンネルを画面に表示しないようにするには、チャンネルスキャンを行った後で、［チャンネルスキップ設定］をクリックして表示される［チャンネルスキップ］画面でチャンネルのスキップ設定を行います。
- 手動でチャンネルを設定したい場合は、チャンネルスキャンを行った後で、［手動設定］をクリックして表示される［手動設定］画面で設定を行います。
  詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。
- 地上デジタル放送の放送局は追加・更新されることがあります。このようなときは、定期的に放送局のスキャンを行い、設定に追加するなどしましょう。
  ［チャンネルスキャン］画面の［再スキャン］で設定します。
  詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

6 ［OK］をクリックする

［設定］画面に戻ります。

7 ［OK］をクリックする

「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。
実際にテレビを視聴して、チャンネルの設定ができているか確認します。

8 地上デジタル放送が受信できているか確認する

■地デジ/アナログモデルの場合

■地デジモデルの場合

② クリックして、チャンネルを選択する

地上デジタル放送が受信できていることを確認してください。

参照 「Qosmio AV Center」のヘルプ

地上デジタル放送の受信が確認できなかった場合は、次ページの「地上デジタル放送が受信できなかった場合」を確認してください。

❏ 地上デジタル放送が受信できなかった場合

地上デジタル放送が受信できなかった場合は、次の内容を確認し、正しく設定しなおしてください。

- **B-CASカードの情報を表示する**
  B-CASカードが使用できるかを確認します。
- **アンテナ、アンテナケーブルを確認する**
  アンテナの向きの調節や、アンテナケーブルの接続を確認してください。正しく接続されていなかった場合は接続しなおし、再度チャンネル設定を行います。
- **お住まいの地域が地上デジタル放送の受信エリアかどうかを確認する**
  社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページで、確認します。
  URL：http://www.dpa.or.jp

参照 それぞれの確認方法について「Qosmio AV Center」のヘルプ
アンテナ、アンテナケーブルの接続について「本章 3 テレビアンテナを接続する」

2 地上アナログ放送のチャンネル設定をする

▼地デジ/アナログモデルの場合

チャンネルの設定は、お住まいの地域の地域名を設定することで自動的に行われます。
また、チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。

準備

あらかじめ、『地域名と東芝チャンネルコード一覧』を参照して、お住まいの地域の「地域名」を確認しておいてください。
『地域名と東芝チャンネルコード一覧』に、お住まいの地域名がないときは、アンテナが向いている近くの「地域名」か、テレビに映る放送局が多い地域の「地域名」を選んで設定してください。その後で、手動でチャンネルを調整してください。

メモ

- 『地域名と東芝チャンネルコード一覧』を表示するには、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Qosmio AV Center］→［地域名と東芝チャンネルコード一覧］をクリックします。

1 「Qosmio AV Center」を起動する

① リモコンの［HOME］ボタンを押す

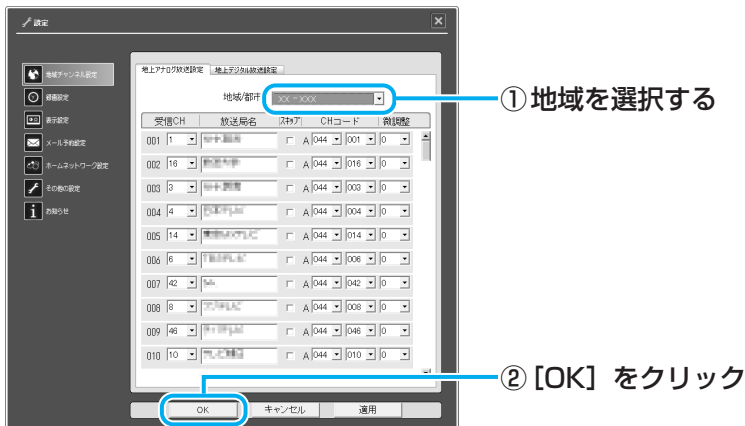
「Qosmio AV Center」が起動します。

② タッチパッドまたはマウスで［設定］をクリック

［設定］画面が表示されます。

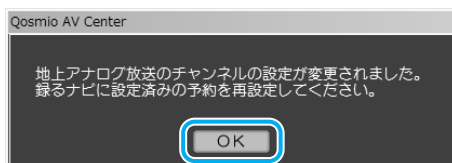
2 ［地域チャンネル設定］をクリックする

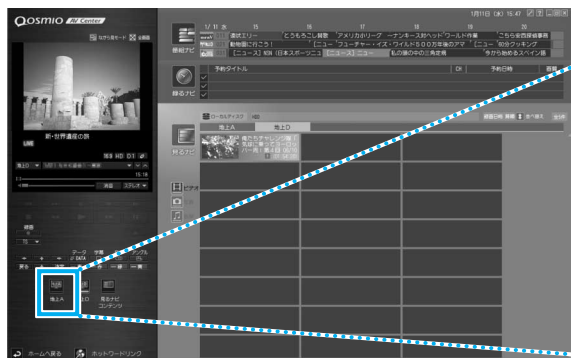
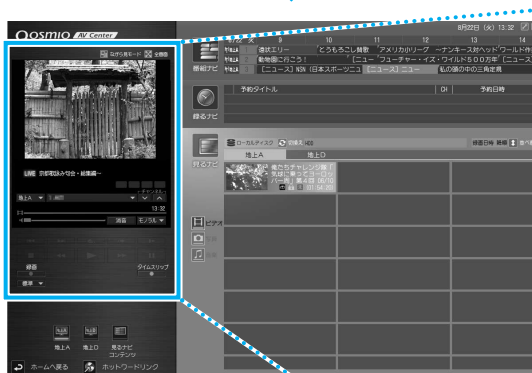
3 ［地上アナログ放送設定］タブをクリックする

4 ［地域/都市］を設定する

手動でチャンネルを調整する場合は、手順①で地域名を選択した後に、調整したいチャンネルの［受信CH］欄で受信チャンネルを選択してから、手順②を行ってください。

地域名に合わせて、チャンネルが設定されました。
次のメッセージが表示された場合は、［OK］をクリックしてください。

「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。
実際にテレビを視聴して、チャンネルの設定ができているか確認します。

メモ

- 地上アナログ放送で電子番組表を利用する場合は東芝チャンネルコードの設定が必要です。地域名を選択すると、それに対応した東芝チャンネルコードが［CHコード］欄に自動的に設定されます。通常は変更する必要はありません。
  東芝チャンネルコードの詳細や、手動で設定したい場合は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。
- 使わないチャンネルを画面に表示しないようにするには、使わないチャンネルの［スキップ］欄をチェック（☑）します。

5 地上アナログ放送が受信できているか確認する

①［地上A］をクリック

②クリックして、チャンネルを選択する

地上アナログ放送が受信できていることを確認してください。

お願い 地上アナログ放送のチャンネル設定について

- あらかじめ、「付録 1 - 7 地上アナログ放送のチャンネル設定について」を確認してください。

▲ 地デジ/アナログモデルの場合

2 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ

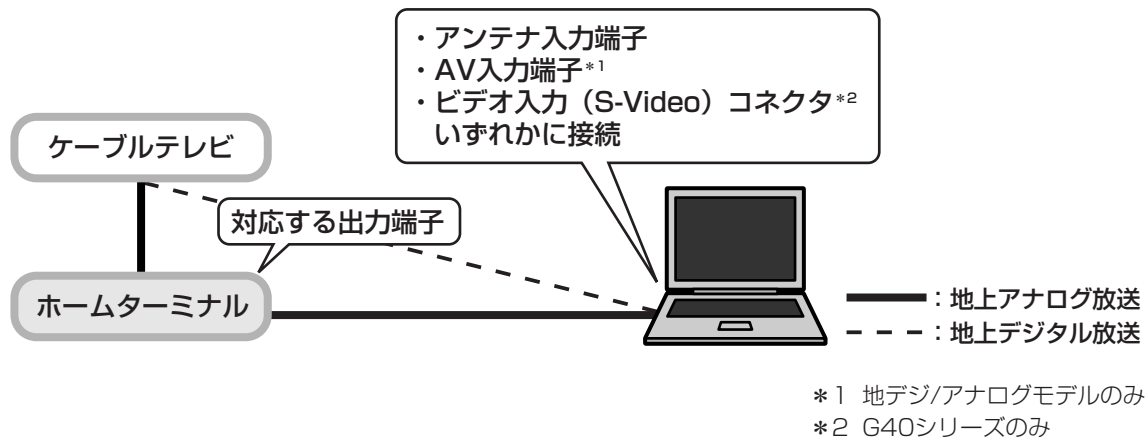
CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様が、本製品でCATV番組を見るには、ホームターミナル（アダプタ、セットトップボックスなど、名称はCATV会社によって異なります）と、パソコン本体を接続します。

CATV番組の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
詳しくは、各CATV会社にお問い合わせください。

■ CATVでの地上デジタル放送受信について

CATVから地上デジタル放送を受信できるかどうかは、CATV会社によって異なります。
ご契約のCATVがパススルー方式の場合、CATVの端子とパソコン本体のアンテナ入力端子を接続すれば視聴できます（CATVパススルー対応）。本製品は、同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式の場合は受信できません。
詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

＊1 地デジ/アナログモデルのみ
＊2 G40シリーズのみ

メモ

- ホームターミナル側の出力端子は、『ホームターミナルに付属の説明書』を確認してください。
- パソコン本体の各コネクタへの接続方法は、次の説明を確認してください。

参照 「本章 3-2-1 アンテナケーブルの接続」

参照 「3章 1-4-1 機器を接続する」

接続するコネクタによって、使用できる機能が異なります。

○：できる　×：できない

テレビ機能	Qosmio AV Center			
			DVD MovieWriter（直接録画）*1	
できること	電子番組表の利用	チャンネル設定	チャンネルの切替え	有料チャンネルの視聴
アンテナ入力端子	○*2	必要	○	×
AV入力端子*3	×	不要	×*4	○*5
ビデオ入力（S-Video）コネクタ*6	×	不要	×*4	○*5

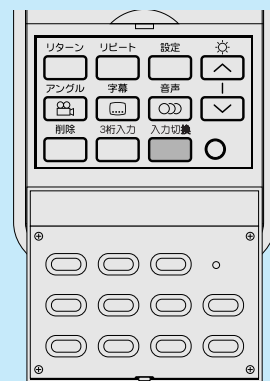
＊1 地上アナログ放送のみ対応しています。

＊2 電子番組表で提供されるのは、地上アナログ放送と地上デジタル放送の番組のみです。なお、地上デジタル放送が受信できるかどうかは、CATV会社によって異なります。

＊3 地デジ/アナログモデルのみ

＊4 チャンネルの切替えは、ホームターミナル側で操作してください。
また、パソコンに映像を表示するには次の操作を行います。
「Qosmio AV Center」：リモコンの［入力切換］ボタンを押して、［コンポジット］または［S-Video］に切り替える
「DVD MovieWriter」：「DVD MovieWriter」の操作画面の［詳細設定］→［ビデオのプロパティ］をクリックして表示される画面で、［ソースを入力］タブの［ソースを入力］を［コンポジット］または［S-Video］に切り替える

＊5 お客様が視聴契約を結んでいて、視聴可能な番組が対象です。
著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、地上アナログ放送または外部入力からの番組に関しては「録画1回可能」なものでも、パソコンでの視聴や録画はできません。

＊6 G40シリーズのみ

1 チャンネル設定をする

アンテナ入力端子を使って接続した場合は、接続後に、チャンネル設定を行ってください。
次のように操作してください。

■地デジ/アナログモデルの場合

①「Qosmio AV Center」を起動し、[設定]をクリックする

②[地域チャンネル設定]をクリックする

③[地上アナログ放送設定]タブをクリックする

④[地域/都市]で[指定無し]を選択する

ポジション001〜113すべての[スキップ]欄のチェックがはずれます。

⑤ポジション001から順次、[受信CH]欄でCATVの受信チャンネルを選択する

CATVのC13〜C63が、「Qosmio AV Center」の受信チャンネル63(CBL13)〜113(CBL63)に割り当てられています。
[放送局名]欄は、受信チャンネルの放送局名に変更できます。
受信チャンネルが複数ある場合は、受信チャンネルごとにポジションを割り当てて、操作をくり返してください。
なお、電子番組表を利用する場合は、東芝チャンネルコードの設定が必要です。

参照 東芝チャンネルコードの設定について
「Qosmio AV Center」のヘルプの「手動でチャンネルを変更する」

⑥[OK]ボタンをクリックする

チャンネルが設定されます。

⑦「チャンネルの設定が変更されました。」というメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックする

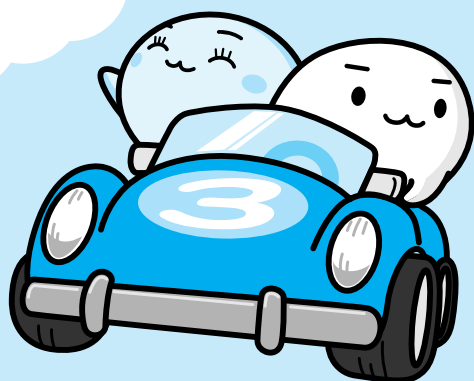
⑧地上デジタル放送が受信できる場合は、地上デジタル放送のチャンネル設定を行う

⑨放送が受信できているか確認する

「本節- 1 チャンネル設定をする」と同様です。

■地デジモデルの場合

①地上デジタル放送のチャンネル設定を行う

参照 地上デジタル放送のチャンネル設定について
「本節 1 - 1 地上デジタル放送のチャンネル設定をする」

1章 テレビを見る準備をする

2 章

テレビを見る・録画する・再生する

テレビを見たり、録画したり、録画した映像ファイルを再生する方法について説明しています。

1 テレビを見る

インターネットやメールなど、パソコンで作業をしているときでも、テレビを見ることができます。また、地デジ/アナログモデルでは地上アナログ放送と地上デジタル放送の両方を、地デジモデルでは地上デジタル放送のみを受信することができます。ナビ画面では、テレビ機能のほか本製品に用意されているAV機能を簡単に起動できます。

1 テレビを見る

テレビを見るときは、次の視聴方法から選ぶことができます。

- **リモコンモードのテレビ視聴画面**
  テレビ映像が画面全体に表示されます。おもにリモコンで操作します。

  参照 リモコンモードで見る「本項- 1 テレビ視聴画面の起動／終了」

- **マウスモードのプレイヤー画面**
  テレビ映像がプレイヤー画面（テレビやコンテンツを視聴／再生する画面）に表示されます。おもにタッチパッドまたはマウスで操作します。

  参照 マウスモードで見る「Qosmio AV Center」のヘルプ

- **ながら見モード**
  プレイヤー画面部分を最前面に表示させるモードです。おもにタッチパッドまたはマウスで操作します。
  Windows上でホームページやメールをチェックしたり、文書作成をしたりしながら、テレビを見ることができます。

  参照 ながら見モードで見る「Qosmio AV Center」のヘルプ

1 テレビ視聴画面の起動／終了

ここでは、リモコンモードのテレビ視聴画面でテレビを見る方法を説明します。
テレビを見たり録画する前に、「付録 1 - 9 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

起動

1 起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

②リモコンの方向ボタンで［TV］を選択し、［決定］ボタンを押す

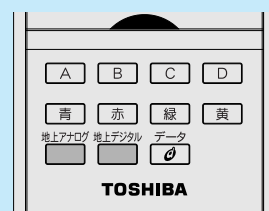
「テレビ視聴」画面が表示されます。
このとき、直前に視聴していた放送チャンネルの番組が表示されます。

▼地デジ/アナログモデルのみ

■放送形式を切り替える

地デジ/アナログモデルで地上アナログと地上デジタル放送を切り替える方法は、次のとおりです。

①リモコンの［地上アナログ］ボタンまたは［地上デジタル］ボタンを押す

地上アナログ放送の番組を見たい場合は［地上アナログ］ボタンを、地上デジタル放送の番組を見たい場合は［地上デジタル］ボタンを押します。

「テレビ視聴」画面

■地上デジタル放送の場合

画面全体に地上デジタル放送の「テレビ視聴」画面が表示されます。
画面には、番組についての情報を表すアイコンなどが表示されます。これらを表示しないように設定することもできます。

5.1chサラウンド放送の音声は、2chに変換されて出力されます。

参照 画面に表示されるアイコンなどの表示情報について「Qosmio AV Center」のヘルプ

リモコンのボタンを使って、チャンネルの変更（切替え）、音量の調整、音声多重の切替え、音声の切替え、字幕の表示、データ放送の利用ができます。

参照 データ放送について「Qosmio AV Center」のヘルプ

役立つ操作集

「データ放送」について
地上デジタル放送では、テレビを視聴しながら、天気予報や交通情報、ニュースなど、地上デジタル放送局が提供する情報を画面に表示することができます。
情報を見るだけでなく、アンケートや投票、クイズへの回答などが可能なデータ放送を、放送局が提供することがあります。

なお、放送局や番組によって、データ放送が行われていない場合があります。

お願い 「データ放送」について

- あらかじめ、「付録 1 - 9 -「データ放送」について」を確認してください。

■地上アナログ放送の場合

画面全体に地上アナログ放送の「テレビ視聴」画面が表示されます。

リモコンのボタンを使って、チャンネルの変更（切替え）、音声多重の切替え、音量の調整ができます。

メモ

- リモコンの［TV］ボタンを押して、「テレビ視聴」画面を起動することもできます。
- 電波の受信状態が悪いときは、テレビの写りが悪くなりますので、アンテナの向きを調整したり、チャンネルを手動設定してチャンネルの調整を行ってください。それでもテレビの写りが良くならない場合は、市販のアンテナブースタやアッテネータを使用することで改善する場合があります。詳しくは販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

参照 リモコン操作について
「Qosmio AV Center」のヘルプ、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

- 電話や来客などで見逃したシーンを後から見ることができる「お好み再生」や、シーンをさかのぼって録画する「プレイバック録画」を使用することができます。

参照 「お好み再生」「プレイバック録画」「本章 5 地上アナログ放送での便利な操作」

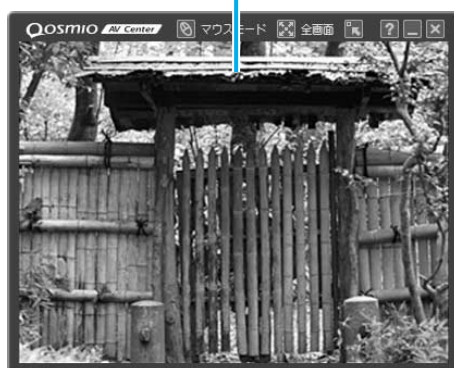
役立つ操作集

「ながら見モード」でテレビを見る

「ながら見モード」にすると、他のWindowsアプリケーションが起動している場合でも、プレイヤー画面（テレビやコンテンツを視聴／再生する画面）部分を最前面に表示するため、ホームページやメールをチェックしたり、文書を作成したりしながら、気になるテレビ番組を見ることができます。

ながら見モードの画面は「映像表示ウィンドウ」と「コントロールウィンドウ」とに分かれます。それぞれ個別に画面を移動することができます。また、「映像表示ウィンドウ」はウィンドウの大きさを変えることができます。

詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

映像表示ウィンドウ

コントロールウィンドウ

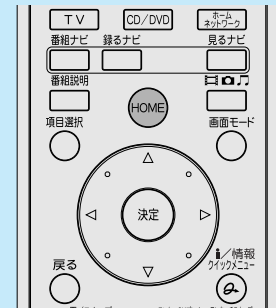
お願い 「ながら見モード」について

● あらかじめ、「付録 1 - 9 -「ながら見モード」について」を確認してください。

終了

視聴しているテレビを消して、「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻る方法を説明します。

1 リモコンの［HOME］ボタンを押す

テレビ視聴を終了し、「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻ります。

2 チャンネルを変える

視聴しているテレビのチャンネルを変えましょう。

地上デジタル放送の場合

地上デジタル放送のチャンネル番号については、『地上デジタル放送局一覧』を確認してください。

メモ

- 『地上デジタル放送局一覧』を表示するには、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Qosmio AV Center］→［地上デジタル放送局一覧］をクリックします。

1 テレビ（地上デジタル放送）を表示する

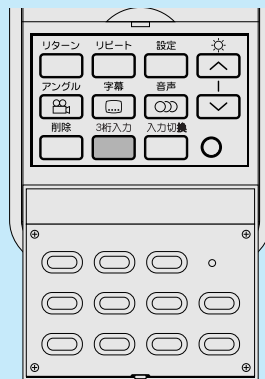
参照 テレビを見る「本項 1 テレビ視聴画面の起動／終了」

2 リモコンで、チャンネルの番号の数字ボタンを押す

数字ボタンで変更できるチャンネルは、CH1～CH12までです。
または、リモコンの［チャンネル∧］または［チャンネル∨］ボタンを押します。

チャンネルが切り替わります。

- **3桁チャンネル番号で切り替える**
  地上デジタル放送では、1つのチャンネル番号に対して放送局が複数の番組を提供することができます。
  各々の番組には3桁のチャンネル番号が割り付けられます。
  （例）チャンネル番号「2」の場合
  　　各番組に対して、3桁チャンネル番号「021」や「022」などが割り付けられる

  3桁チャンネル番号で切り替える場合は、リモコンの［3桁入力］ボタンを押した後、チャンネル番号の数字ボタンを押します。
  （例）011チャンネルに切り替えたい場合
  　　①リモコンで［3桁入力］、［0］、［1］、［1］の順にボタンを押す

お願い　テレビ視聴と録画について

- あらかじめ、「付録 1 - 2 テレビ視聴と録画について」を確認してください。

▼地デジ/アナログモデルのみ

地上アナログ放送の場合

1 テレビ（地上アナログ放送）を表示する

参照 テレビを見る「本項 1 テレビ視聴画面の起動／終了」

2 リモコンで、チャンネルの番号の数字ボタンを押す

数字ボタンで変更できるチャンネルは、CH1～CH12までです。
または、リモコンの［チャンネル∧］または［チャンネル∨］ボタンを押します。

チャンネルが切り替わります。

お願い テレビ視聴と録画について

- あらかじめ、「付録 1 - 2 テレビ視聴と録画について」を確認してください。

▲地デジ/アナログモデルのみ

役立つ操作集

話題の言葉を調べる

「Qosmio AV Center」では、テレビや新聞で話題になっている最新の言葉（キーワード）をわかりやすく一覧表示し、簡単な操作により、インターネットで調べることができます。
テレビ番組を見たり録画したりする合間に気になるキーワードをクリックして、さまざまな情報を閲覧して楽しむことができます。この機能を、「ホットワードリンク」と呼びます。
ホットワードリンクは、iNET電子番組表を利用できる状態と同じ設定で、次のように操作してください。

参照 電子番組表について「本章 2 - 2 - 1 録画予約する準備」

① **リモコンの［HOME］ボタンを押す**
「Qosmio AV Center」が起動します。
② **リモコンの方向ボタンで［ホットワードリンク］を選択し、［決定］ボタンを押す**
ホットワードリンクの説明画面が表示されます。
内容をお読みになり、詳細ページに進んでください。

ホットワードリンク画面から連動するWebサイト「テレビサーフ」へのリンクをクリックすると、より多くの情報が表示されます。

2 テレビ番組を録画する

本製品でテレビ番組を録画するには、2つの方法があります。お好みで使い分けてください。

■ハードディスク録画する「Qosmio AV Center」

放送中のテレビ番組を見ながら録画できます。また、予約録画や、プレイバック録画もできます。

■DVDに直接録画する「DVD MovieWriter」

＊地上アナログ放送のみ

放送中のテレビ番組を見ながら、DVDに録画できます。
「Ulead DVD MovieWriter® for TOSHIBA」を使います。

ここでは、ハードディスク録画する「Qosmio AV Center」での録画方法を説明します。
DVDへの直接録画については、「3章 2 - 1 DVDに直接録画（DVDダイレクト録画）する」を参照してください。

1 見ているテレビ番組を録画する

「Qosmio AV Center」では次の録画方法を選んで使うことができます。

- **通常録画**
  現在見ている番組をすぐに録画できます。録画した番組のデータはハードディスクに保存されます。
  参照 通常録画「本項- 1 放送中のテレビ番組を録画する」
- **「番組ナビ」で録画予約する**
  「番組ナビ」の電子番組表や、「おすすめサービス」の番組リストから番組を選んで録画予約できます。「番組名」や「録画時間帯」がわからなくても、「番組ナビ」から簡単に予約できます。
  参照 「番組ナビ」「本章 2 - 2 番組ナビで録画予約する」
- **マニュアル予約で録画予約する**
  「予約詳細」画面に、チャンネルや放送日、録画開始時刻／終了時刻を直接入力・設定し、手動で録画予約します。
  参照 マニュアル予約「Qosmio AV Center」のヘルプ
- **メールで録画予約する**
  外出先で「録画予約を忘れた！」というときに便利なのが「メール録画予約」機能です。携帯電話やパソコンからメールを送って録画予約できます。
  参照 メールで録画予約「Qosmio AV Center」のヘルプ

ここでは、「通常録画」を行う方法を説明します。
「Qosmio AV Center」でテレビを見たり録画したりする前に、「付録 1 - 9 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

❏ 録画について

■地上デジタル放送の場合

録画したテレビ番組は、パソコンのハードディスクに保存されます。放送される番組データをそのまま録画するため、録画品質（ビットレートなど）の設定はできません。また、番組内に含まれる複数の音声ストリーム（吹き替えなど）や映像ストリーム（アングルなど）、二ヶ国語放送についても、再生したときに番組放送時と同じ動作で再生できるように録画されます。
ハードディスクに空き容量がないと、録画や予約録画の実行はできません。録画が途中であっても、空き容量がなくなると録画を自動的に終了します。
「Qosmio AV Center」で1時間録画するのに必要なハードディスク容量（目安）は次のとおりです。放送の種類やビットレート、解像度、容量は番組によって異なります。

放送の種類	画質	1時間録画するのに必要なハードディスク容量
地上デジタルハイビジョンテレビ放送（17Mbps）	高	約7.1GB
デジタル標準放送	標準	約3.6GB

なお、「録るナビ」画面下部に表示される録画可能時間も、あくまで目安であり、実際の録画ファイル容量／録画時間とは異なる場合があります。

お願い 地上デジタル放送の録画について

- あらかじめ、「付録 1-8 地上デジタル放送の録画について」を確認してください。

▼ 地デジ/アナログモデルのみ

■地上アナログ放送の場合

録画したテレビ番組は、パソコンのハードディスクに保存されます。録画するときに「画質」を選択することができます（4モード対応録画）。同じ番組でも選択した「画質」によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。
ハードディスクに空き容量がないと、録画や予約録画の実行はできません。録画が途中であっても、空き容量がなくなると録画を自動的に終了します。

参照 録画画質の設定「Qosmio AV Center」のヘルプ

設定できる画質と1時間録画するのに必要なハードディスク容量（目安）は次のとおりです。
購入時の録画画質の設定は、「標準」です。

録画品質	ビットレート	解像度	画質	1時間録画するのに必要なハードディスク容量
高画質	約8.0Mbps	720×480	高	約3.5GB
標準	約4.0Mbps	720×480	↓	約1.8GB
長時間1	約2.0Mbps	352×480		約0.9GB
長時間2	約1.4Mbps	352×480	低	約0.6GB

▲ 地デジ/アナログモデルのみ

■ ご購入時の録画に関する設定

- 録画品質 ： 標準
- 録画した番組データの保存場所 ： C:¥Users¥Public¥Videos

参照 録画に関する設定項目「Qosmio AV Center」のヘルプ

お願い 「Qosmio AV Center」での録画にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 9 -「Qosmio AV Center」ご利用にあたって」を確認してください。

1 放送中のテレビ番組を録画する

放送中のテレビ番組を見ながら録画する方法（通常録画）を説明します。

1 テレビ視聴画面を表示する

参照 「本章 1 - 1 テレビを見る」

2 番組を見ながら、録画したいシーンでリモコンの［録画］ボタンを押す

録画が開始されます。
録画中の画面は、画面左上隅に「●」と表示されます。
また、録画中はシステムインジケータの録画状態LEDが赤色に点灯します。

参照 システムインジケータ
『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』

録画状態LEDは点灯しないように設定することもできます。

参照 録画状態LEDについて「Qosmio AV Center」のヘルプ

録画中にチャンネルを変更して別の番組を録画するには、1度、録画を停止します。詳細は「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

■ 地デジ/アナログモデルの場合

- **地上デジタル放送の番組を録画しているとき**

  録画中は、他の地上デジタル放送の番組を見ることができませんが、地上アナログ放送の番組を見ることができます。
  また、地上アナログ放送の番組を同時に録画することもできます。

  参照 録画中に地上アナログ放送の番組を見る／地上アナログ放送の番組を同時録画する
  「Qosmio AV Center」のヘルプ

- **地上アナログ放送の番組を録画しているとき**

  録画中は、他の地上アナログ放送の番組を見ることはできませんが、地上デジタル放送の番組を見ることができます。
  また、地上デジタル放送の番組を同時に録画することもできます。

参照 録画中に地上デジタル放送の番組を見る／地上デジタル放送の番組を同時録画する
「Qosmio AV Center」のヘルプ

■ 地デジモデルの場合

録画中は、他の地上デジタル放送の番組を見ることができません。

3 **録画を停止したいシーンで、リモコンの［停止］ボタンを押す**

録画を停止します。

2 番組ナビで録画予約する

1 録画予約する準備

「番組ナビ」で録画予約する前に、次の準備が必要です。

電子番組表を利用する設定をする

「電子番組表」とは、画面上で見られる「番組データ」の表です。あらかじめ、電子番組表を利用できるように設定しておきます。購入時は、利用できるように設定されています。利用できないように設定を変更した場合は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照し、設定を戻してください。

お願い **電子番組表を利用するにあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 9 - 電子番組表利用時の注意事項」を確認してください。

■ 地上デジタル放送の場合

地上デジタル放送の場合、「電子番組表」は放送電波の中に入って送られてきます。電波が受信できれば、番組表は自動更新されます。

▼ 地デジ/アナログモデルのみ

■ 地上アナログ放送の場合

地上アナログ放送の場合、「iNET」を使ってインターネットから「電子番組表」をダウンロードします。
「iNET」は最大8日分の「電子番組表」を取り込むことができます。「Qosmio AV Center」では、iNETを使って取得できるチャンネル数は最大で32チャンネルです。
ダウンロードした「電子番組表」を「番組ナビ」で利用します。

メモ

- iNET
  東芝提供のインターネット接続型番組情報提供サービスデータの提供元：株式会社日刊編集センター（2007年4月現在）
- 「iNET」を利用して電子番組表を使う場合は、インターネットに常時接続する環境が必要です。あらかじめ、インターネット接続の環境をお客様自身でご用意ください。

▲ 地デジ/アナログモデルのみ

電子番組表の更新と表示について

購入時は、電子番組表が利用できるように設定されています。利用できないように設定を変更する場合や設定を確認する場合は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

❑ 電子番組表はいつ更新されるの？

■地上デジタル放送の電子番組表の場合

地上デジタル放送の電子番組表は、地上デジタル放送の電波が受信できれば自動更新されますが、地上デジタル放送を視聴中または録画中は、視聴／録画しているチャンネル以外のデータを取得できないことがあります。「Qosmio AV Center」では、あらかじめ設定された時刻に、自動的にデータをダウンロードすることができます。「設定」の「その他の設定」画面で「電子番組表の定期取得」を「する」に設定すると、「電子番組表の取得開始時刻」で設定された時刻に、パソコンが自動的に起動し、データ取得を開始します。パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態でも、パソコンが自動的に起動してデータを取得します。

■地上アナログ放送の電子番組表の場合

「Qosmio AV Center」の「設定」の［その他の設定］画面で「電子番組表」の設定が「ON」に設定されると、「地域チャンネル設定」画面で指定されたチャンネル情報を使用してiNETのサーバへアクセスし、情報をダウンロードします。チャンネルが正しく設定されていないとダウンロードされません。
ダウンロードの際、次回の「更新予定日時」をサーバから知らされます。以降、「Qosmio AV Center」が起動したとき、またはパソコンにログオン中に、この時刻を過ぎていると、自動的にiNETのサーバへアクセスし、情報をダウンロード（更新）します。「更新予定日時」はiNETのサーバへアクセスするたびに、サーバから知らされますので、この更新動作を繰り返します。

メモ

- 地上デジタル放送の場合、パソコンの時計（日付と時刻）と放送波の時計が大きくずれていると、電子番組表が正しく表示されなかったり、予約録画に失敗することがあります。「設定」の［その他の設定］画面の「システム時刻設定」を「地上デジタル放送波で調整する」に設定しておくことをおすすめします。
- 地上アナログ放送の場合、サーバへのアクセス時や電子番組表情報のダウンロード時には、インターネットに接続します。接続している間の通信料金やプロバイダ使用料などの費用はお客様の負担となります。

Windowsログオンパスワードの登録

予約録画の実行時に、パソコンの電源を切った状態またはログオフ状態時でも自動起動して録画を開始できるように、あらかじめ「Windowsログオンパスワード」と「アカウント（ユーザ）名」を「Qosmio AV Center」に登録しておきます。

■Windowsのログオンパスワードについて

Windowsのログオンパスワードは、Windowsセットアップ時に設定することを強くおすすめしていますが、設定していない場合は、[コントロールパネル] の [ユーザー アカウントと家族のための安全設定] で設定してください。

参照 ログオンパスワードの設定方法『準備しよう 1章 パソコンの準備』

■ログオンパスワードと録画予約について

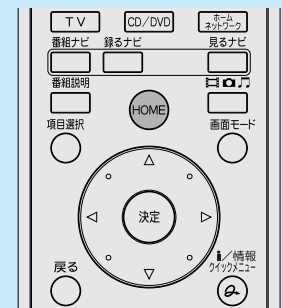
- パソコンが休止状態やスリープ状態時には、「ログオンパスワードの設定」を行っていなくても予約録画を実行（自動起動して録画を開始）します。
- 「録画設定」画面で登録できる「ログオンパスワード」の設定は、「Qosmio AV Center」で1ユーザ分だけです。パソコンを複数のユーザでお使いのかたは、どなたか1人に決めていただき、そのユーザ名とパスワードを登録するようにしてください。

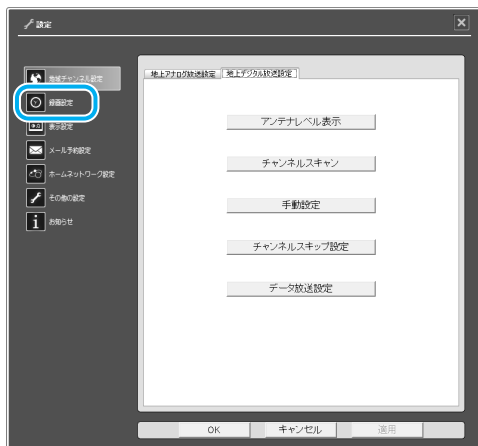
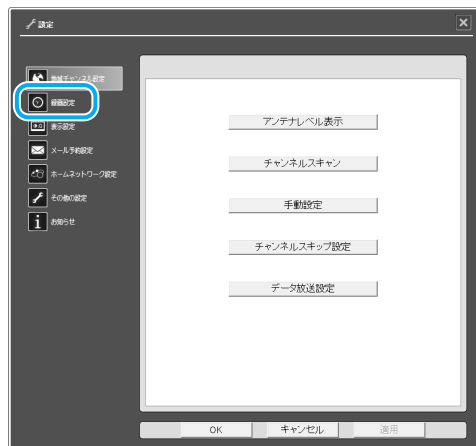
1 「Qosmio AV Center」を起動する

① リモコンの [HOME] ボタンを押す

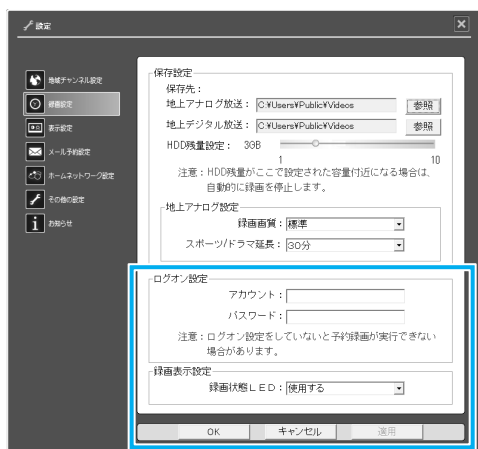
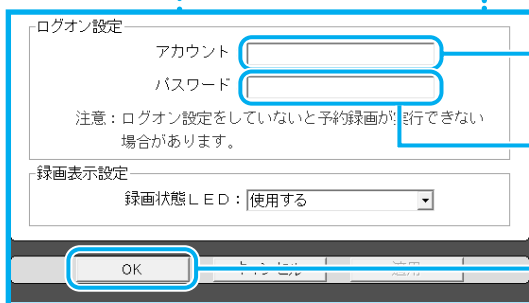
「Qosmio AV Center」が起動します。

② タッチパッドまたはマウスで [設定] をクリック

[設定] 画面が表示されます。

2 ［録画設定］をクリックする

■地デジ/アナログモデルの場合

■地デジモデルの場合

3 ［アカウント］と［パスワード］を設定する

■地デジ/アナログモデルの場合

■地デジモデルの場合

これでログオンパスワードの設定ができました。
「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。

2 「番組ナビ」で録画予約する

「番組ナビ」は、電子番組表から番組を選んで録画予約ができる画面です。

メモ

- 地上アナログ放送と地上デジタル放送で表示される画面の詳細が異なる場合がありますが、基本的な設定手順は同じです。

お願い　電子番組表から録画するにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 9 - 電子番組表から録画予約する」を確認してください。

1 起動する

① リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

② リモコンの方向ボタンで［番組ナビ］を選択し、［決定］ボタンを押す

［番組ナビ］画面が表示されます。

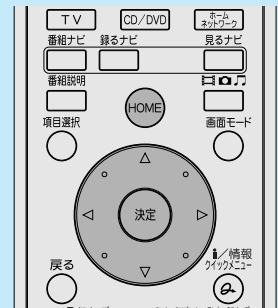
メモ

- 手順 1 の②で、リモコンの［番組ナビ］ボタンを押して、［番組ナビ］画面を起動することもできます。

［番組ナビ］画面には、「全チャンネルの一覧」と「チャンネル別」の2種類の表示形式があります。
番組の「タイトル」「ジャンル」「キーワード」「出演者」＊1 から番組内容を検索することもできます。

＊1 地上アナログ放送の場合

参照 ［番組ナビ］の詳細「Qosmio AV Center」のヘルプ

地デジモデルの場合は、手順 3 へ進んでください。

2

地デジ/アナログモデルのみ

地デジ/アナログモデルでは、地上アナログ放送用の番組表と地上デジタル放送用の番組表が個別に用意されています。番組表の切替えは次のとおりです。

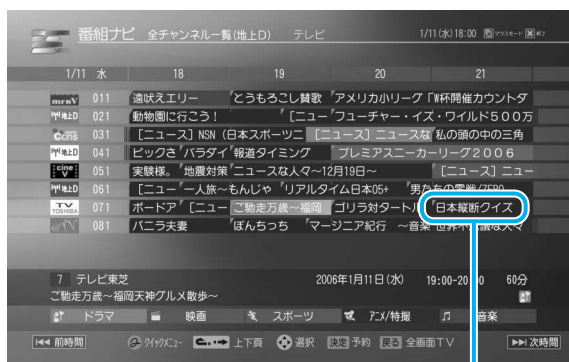
リモコンの［地上アナログ］ボタンまたは［地上デジタル］ボタンを押す

地上アナログ放送用の番組表を表示したい場合は［地上アナログ］ボタンを、地上デジタル放送用の番組表を表示したい場合は［地上デジタル］ボタンを押します。

3

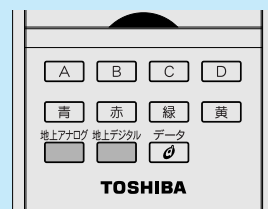
録画したい番組を選択する

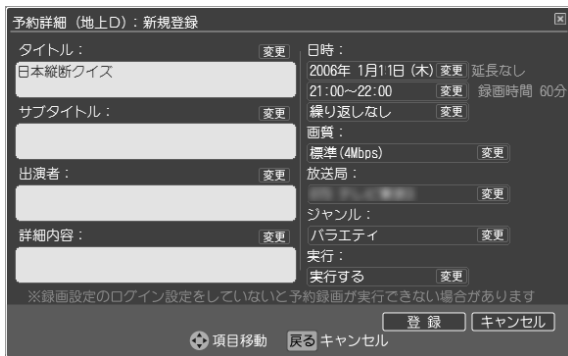
リモコンの［頁（前）スキップ］ボタン／［頁（次）スキップ］ボタンを押すと、表示される時間を切り替えます。

リモコンの［ワンタッチリプレイ］ボタンを押すとページの上に、［ワンタッチスキップ］ボタンを押すとページの下にスクロールします。

①リモコンの方向ボタンを押して番組を選択し、［決定］ボタンを押す

番組を選択すると、画面に番組情報が表示されます。さらに詳細な番組情報を確認することもできます。

参照 ［番組ナビ］画面の詳細
「Qosmio AV Center」のヘルプ

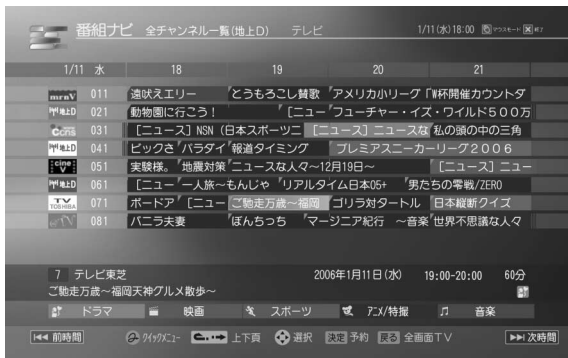
［予約詳細］画面が表示されます。

4 予約内容を確認し、リモコンの［決定］ボタンを押す

内容を変更したい項目がある場合は、［決定］ボタンを押す前に変更してください。

「録画予約を受け付けました。」というメッセージが表示されます。
予約録画が1件以上登録されているとき、システムインジケータの録画状態LEDがオレンジ色に点灯します。

参照 システムインジケータ
『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』

録画状態LEDは点灯しないように設定することもできます。

参照 録画状態LEDについて「Qosmio AV Center」のヘルプ

5 リモコンの［決定］ボタンを押す

［番組ナビ］画面に戻ります。
録画予約した番組の色が赤に変わります。

引き続き、他の番組の録画を予約したい場合は、手順 3 ～ 5 をくり返してください。
これで予約ができました。

メモ

- 予約できる番組数は地上アナログ放送／地上デジタル放送それぞれ50番組までです。
  録画予約は録画開始日が62日先までできます。予約できる番組数は、メール予約など、他の方法で録画予約した番組数も含みます。

6 予約したい番組の設定がすべて終わったら、リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻ります。

■録画予約が終わった後は

録画予約の入力が終わったら、「Qosmio AV Center」を終了しておくこともできます。
また、パソコンをスリープ、休止状態、電源オフの状態にした場合は、予約録画の開始時刻になると自動的にパソコンが起動して録画を実行します。
あらかじめWindowsのログオンパスワードを「Qosmio AV Center」に登録している場合は、電源オフ状態またはログオフ状態のときも、自動的にパソコンを起動して録画を実行します。

3 「おすすめサービス」で録画予約する

「おすすめサービス」とはインターネットに接続することで番組録画予約をより簡単に楽しく使っていただくための機能です。
全国のQosmioと東芝製HDD&DVDレコーダのユーザが録画予約している番組を集計して、ジャンル別や時間帯別に録画予約ランキングを番組リストで表示し、録画予約することができます。

＊「おすすめサービス」の画面で表示される番組に地上デジタル放送にて放送される番組の候補がある場合、地上デジタル放送の番組を録画予約することができます。

お願い　おすすめサービスに関する注意事項

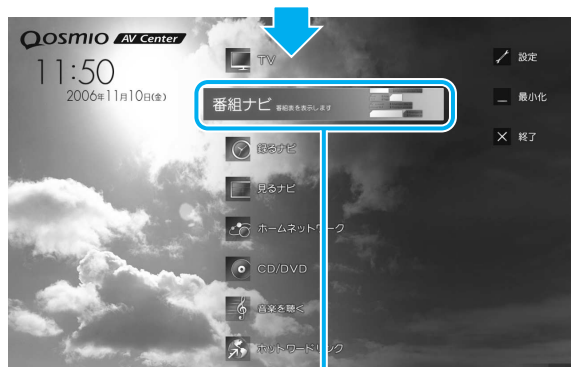
- あらかじめ、「付録 1 - 9 - おすすめサービスに関する注意事項」を確認してください。

「おすすめサービス」で録画予約する準備

「おすすめサービス」を使用するには、あらかじめ登録が必要です。
また、あらかじめ電子番組表を利用する設定を行っておく必要があります。

参照 「おすすめサービス」の設定「Qosmio AV Center」のヘルプ

「おすすめサービス」で録画予約する

1 「Qosmio AV Center」を起動する

① リモコンの［HOME］ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。

② リモコンの方向ボタンで［番組ナビ］を選択し、［決定］ボタンを押す

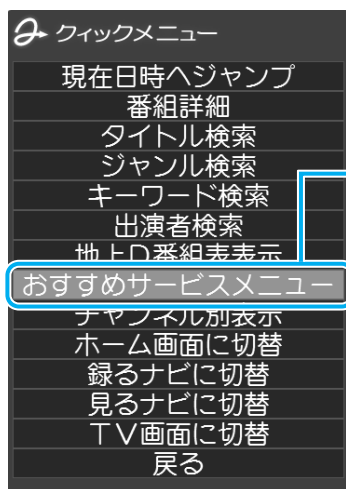
［番組ナビ］画面が表示されます。

メモ

- 手順 1 の②で、リモコンの［番組ナビ］ボタンを押して、［番組ナビ］画面を起動することもできます。

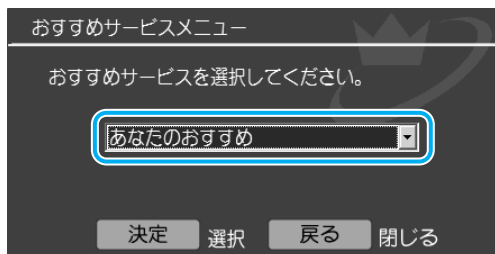
2 ［おすすめサービスメニュー］を表示する

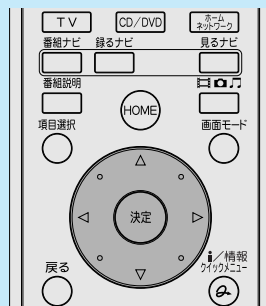
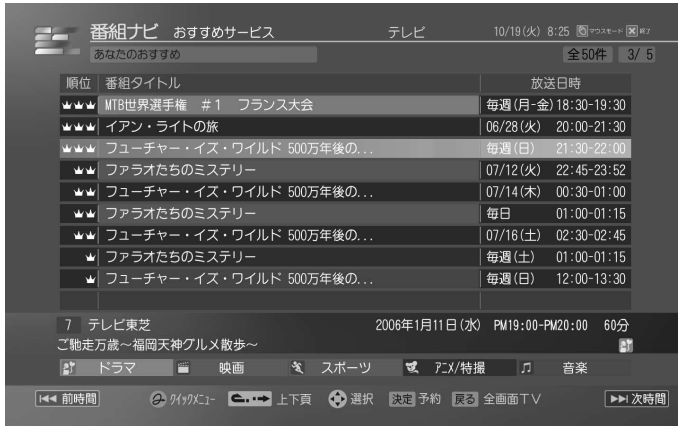
① リモコンの［クイックメニュー］ボタンを押す
「クイックメニュー」が表示されます。

（表示例）

② リモコンの方向ボタンで［おすすめサービスメニュー］を選択し、［決定］ボタンを押す

［おすすめサービスメニュー］画面が表示されます。

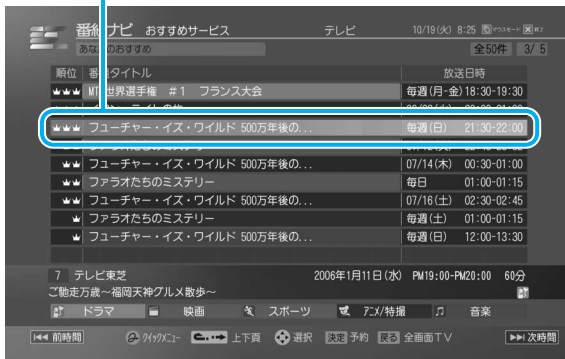
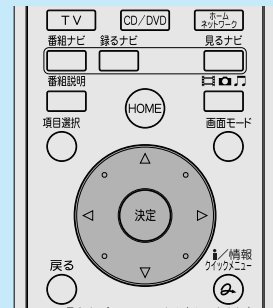
3 「おすすめサービス」を表示する

① リモコンの方向ボタンで表示したいメニューを選択し、［決定］ボタンを押す

「おすすめサービス」にはいろいろなメニューがあります。これらは、インターネットに接続して番組録画予約をより簡単に楽しく使用していただくための機能です。毎日、サーバから次のようなサービスをご提供しています。

- **録画予約ランキング**
  iNET電子番組表を利用している全国のお客さまが録画予約している番組を集計し、最新のランキングを表示します。
- **あなたのおすすめ**
  毎日の録画履歴などを元にしてお客さまの好まれる番組の傾向を学習し、お客さまだけのおすすめ順に番組を検索して表示します。
  ＊ 本機能は、予約録画の履歴がない場合は表示されません。
- **みんなからのおすすめ**
  iNET電子番組表を利用している全国のお客さまの予約状況を集計・比較し、お客さまのお好みと近い番組を検索して表示します。

「おすすめサービス」の、選択したメニューが表示されます。

「おすすめサービス」からの録画予約の方法は、地上アナログ放送と地上デジタル放送とで異なります。
地上アナログ放送の場合は、電子番組表から録画予約する方法と同じです。

参照 電子番組表の録画予約
「本項- 2 「番組ナビ」で録画予約する」

4 録画したい番組を選択する

① リモコンの方向ボタンを押して番組を選択し、[決定]ボタンを押す

[予約詳細] 画面が表示されます。

5 予約内容を確認し、録画したい放送の種類を選択する

■地上デジタル放送の場合

＊ 地デジモデルの場合は、［地上Aで登録］ボタンはありません。

■地上アナログ放送の場合

地上アナログ放送の場合は、ここまでで予約操作完了です。
地上デジタル放送の場合、地上デジタル放送で放送される番組の候補があるときは、次の画面が表示されます。続けて以降の操作を行ってください。

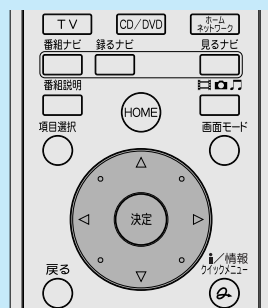
選択された番組の放送時間情報をもとに地上デジタル放送の電子番組表が検索され、対応する地上デジタル放送の番組が表示されます。
表示される地上デジタル放送の番組情報がもとの番組と異なる場合があります。番組情報を確認してから予約してください。

6 予約内容を確認し、リモコンの［決定］ボタンを押す

これで地上デジタル放送の予約ができました。

「おすすめサービス」のランキングに表示されている地上アナログ放送の番組の放送時間情報を元に、地上デジタル放送の電子番組表を検索します。そのため、「地上Dで登録」を選択しても、番組情報を取得できなかったり同一の番組が取得できなかった場合は、地上デジタル放送の番組を予約できないことがあります。

■録画予約が終わった後は

録画予約の入力が終わったら、「Qosmio AV Center」を終了しておくこともできます。
また、パソコンをスリープ、休止状態、電源オフの状態にした場合は、予約録画の開始時刻になると自動的にパソコンが起動して録画を実行します。
あらかじめWindowsのログオンパスワードを「Qosmio AV Center」に登録している場合は、電源オフまたはログオフ状態のときも、自動的にパソコンを起動して録画を実行します。

役立つ操作集

テレビサーフ連携

テレビサーフとは、東芝がご提供するデジタル家電とネットワークサービスに連携した、テレビ番組の情報提供と録画予約をサポートするポータルサイトサービスです。
テレビサーフでは、ご利用中の携帯電話やパソコンからも、「Qosmio AV Center」に配信されるあなただけのおすすめ番組メニューや、録画予約ランキングをチェックできます。
テレビサーフについての詳しい情報は、テレビサーフWebサイト（http://tvsurf.jp/）をご覧ください。

3 録画予約した内容を確認する

録画予約された番組は、「録るナビ」で確認できます。
地デジ/アナログモデルでは、地上アナログ放送用の録画予約を表示する画面と、地上デジタル放送用の録画予約を表示する画面が、個別に用意されています。
「録るナビ」で、録画予約の変更や取り消しもできます。

1 「Qosmio AV Center」を起動する

① リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

② リモコンの方向ボタンで［録るナビ］を選択し、［決定］ボタンを押す

［録るナビ］画面が表示されます。

メモ

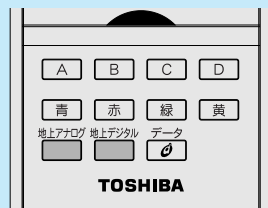
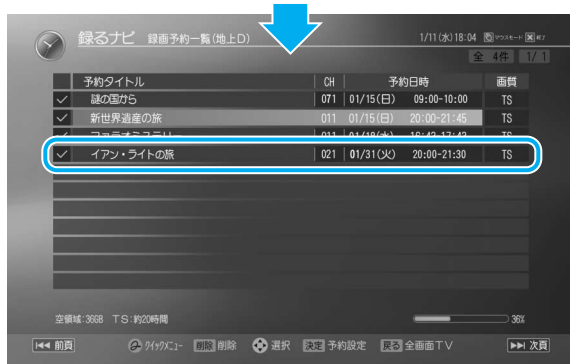
- 手順 1 の②で、リモコンの［録るナビ］ボタンを押して、［録るナビ］画面を起動することもできます。

地デジモデルの場合は、手順 3 へ進んでください。

2

地デジ/アナログモデルのみ

リモコンの［地上アナログ］ボタンまたは［地上デジタル］ボタンを押す

地上アナログ放送用の画面を表示したい場合は［地上アナログ］ボタンを、地上デジタル放送用の画面を表示したい場合は［地上デジタル］ボタンを押します。

［録るナビ］画面では、録画予約した番組を一覧で確認できます。

■録画予約が重複した場合

録画時刻の重複する予約があるときは、録画開始時刻が優先されます。「Qosmio AV Center」は、録画予約の「録画開始時刻」を見て次の録画を開始します。録画時刻が重複していると、番組が最後まで終了していなくても、次の予約録画の開始30秒前になると、今録画している番組の録画を終了し、次の録画を開始します。「録るナビ」などで録画予約の状況を確認し、録画時刻が重複しないようにしてください。
「録画開始時刻」が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。
なお、地上アナログ放送の番組と地上デジタル放送の番組の予約録画時刻が重複していても、両方の番組を同時に録画できます（W録）。

参照 録画予約の変更、取り消しについて
「Qosmio AV Center」のヘルプ

3

確認が終わったら、リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻ります。

3 録画した番組を再生する

ここでは、「Qosmio AV Center」で録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。

1 見るナビから再生する

録画したテレビ番組は、「見るナビ」画面から探すことができます。
地デジ/アナログモデルの「見るナビ」では、地上アナログ放送で録画した番組と地上デジタル放送で録画した番組を個別に管理しています。
地デジモデルの「見るナビ」では、地上デジタル放送で録画した番組とホームネットワーク上から登録するなどした映像ファイル（MPEG）を個別に管理しています。

1 「Qosmio AV Center」を起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

②リモコンの方向ボタンで［見るナビ］を選択し、［決定］ボタンを押す

［見るナビ］画面が表示されます。

メモ

● 手順 1 の②で、リモコンの［見るナビ］ボタンを押して、［見るナビ］画面を起動することもできます。

2 表示する画面を切り替える

■地デジ/アナログモデルの場合

①リモコンの［地上アナログ］ボタンまたは［地上デジタル］ボタンを押す

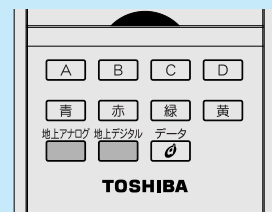
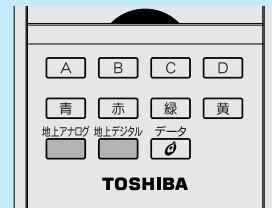
地上アナログ放送で録画した番組用の画面を表示したい場合は［地上アナログ］ボタンを、地上デジタル放送で録画した番組用の画面を表示したい場合は、［地上デジタル］ボタンを押します。

■地デジモデルの場合

①リモコンの［地上アナログ］ボタンまたは［地上デジタル］ボタンを押す

ホームネットワーク上から登録するなどした映像ファイル用の画面（ライブラリ）を表示したい場合は［地上アナログ］ボタンを、地上デジタル放送で録画した番組用の画面を表示したい場合は、［地上デジタル］ボタンを押します。

［見るナビ］画面では、録画予約した番組を一覧で確認できます。

参照 ［見るナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

3 リモコンの方向ボタンで録画番組を選択し、［決定］ボタンを押す

ページを切り替える場合は、リモコンの［頁（前）スキップ］または［頁（次）スキップ］を押してください。

画面全体に、録画した番組が再生されます。

役立つ操作集

約1.5倍速で再生する（早見早聞）

「Qosmio AV Center」の「早見早聞」機能を使うと、約1.5倍速で早送り再生ができます。このとき、音も約1.5倍で再生されます。
早見早聞機能を使って約1.5倍速の早送り再生をする場合は、手順 3 の後［早送り］ボタンを押してください。

■前回停止した位置から再生する（レジューム機能）

「Qosmio AV Center」では、録画番組（ビデオ）の再生を中断し、途中までしか再生していない状態のとき、中断した場所を覚えています。次回の再生時に、前回再生を停止した位置から再生を開始します。
ハードディスクへの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生が始まるなど、再生位置が異なることがあります。
レジューム機能を使わず、最初から見たいときは、「番組の頭だし」機能を使ってください。

参照 レジューム機能、番組の頭だし機能について「Qosmio AV Center」のヘルプ

4 録画した地上デジタル放送の映像をDVDに移す

地上デジタル放送を録画したデータを、DVD-RAMに保存（移動／ムーブ）することができます。
地上デジタル放送以外の映像データをDVDにする方法は、「3章 1 - 2 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」を参照してください。

1 録画した映像をDVDに移す

CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応したDVD-RAMにのみ、移動（ムーブ）ができます。
Qosmio AV Centerでは、地上デジタル放送の著作権が保護されたデータ（コピーワンス）を、通常のテレビと同じSD解像度（720×480）に変換してDVD-RAMに記録します。作成したDVD-RAMはDVD-VR形式になります。

メモ

- DVDへの移動を行うと、ハードディスクに録画したデータは削除され、元に戻すことはできません。
- 移動（ムーブ）機能を実行する前に、「付録 1 - 8 地上デジタル放送の録画について」、「付録 1 - 9 - 地上デジタル放送の録画ファイルのDVD移動に関する注意事項」をよくお読みください。

1 マウスモードで［見るナビ］画面を表示する

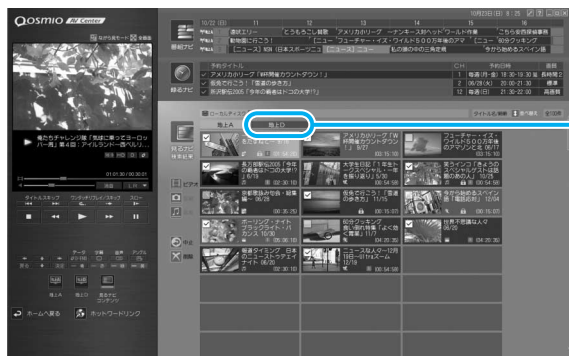
① リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

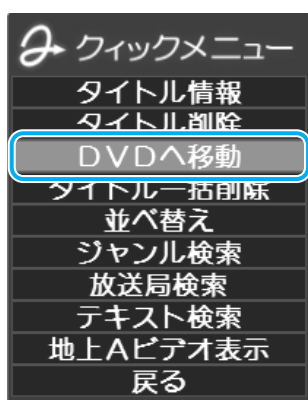
② タッチパッドまたはマウスで［見るナビ］をクリック

［見るナビ］画面が表示されます。
［見るナビ］画面では、録画した番組の一覧が表示されています。

参照 ［見るナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

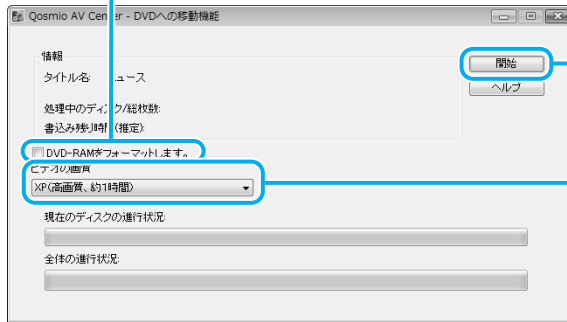
2 ［地上デジタル］を選択する

① ［地上D］をクリック

「見るナビ」（ビデオ）が表示されていない場合は、（見るナビ）の［ビデオ］をクリックしてください。

3 保存したい録画番組上で右クリックし、表示されたクイックメニューから［DVDへ移動］をクリックする

［DVDへ移動］をクリック

（表示例）

［本機能の説明と使用する上でのご注意］画面が表示されます。必ず画面の内容をよくお読みのうえ、［OK］をクリックしてください。

クイックメニューの［DVDへ移動］を実行すると、「見るナビ」から番組データが削除されます。録画データの移動（DVDへの書き込み作業）を開始しなかった場合は、表示は元に戻ります。
HD DVD-Rドライブを内蔵したモデルでは、HD DVD-Rに移動することもできます。詳しくは、HD DVD-Rドライブ内蔵モデルに付属している『HD DVDを楽しもう』を参照してください。

4 画質を選択する

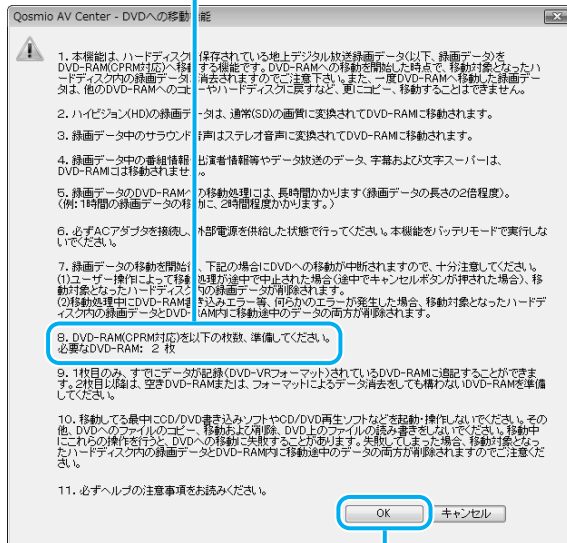
ビデオの画質は、次の中から選択できます。

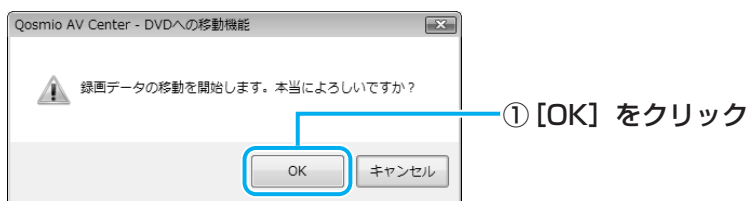
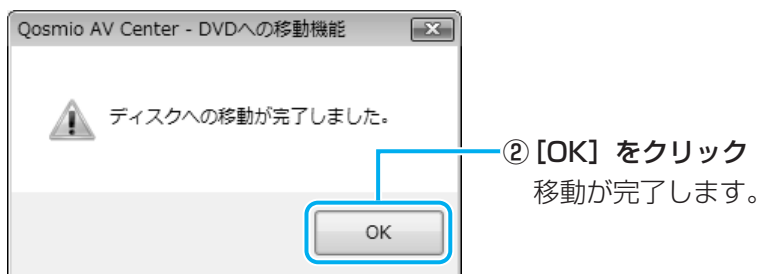
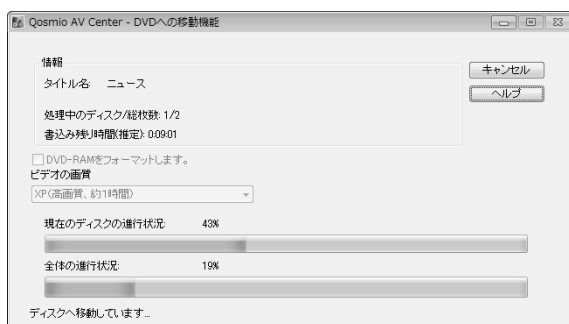
XP（高画質、約1時間）　：一番高画質で、1枚のディスクに約1時間収録が可能
SP（標準画質、約2時間）　：標準的な画質で、1枚のディスクに約2時間収録が可能
LP（長時間、約3時間30分）：画質を落とし、1枚のディスクに約3時間30分収録が可能

メモ

- 画面上の［ヘルプ］ボタンをクリックするとヘルプが表示され、操作の詳細を確認することができます。

5 DVDの枚数を確認する

表示された画面の内容をよくお読みください。

6 データをDVDに移す

移動（ムーブ）開始の確認画面が表示されます。

移動中の状態を示す画面が表示されます。

移動（ムーブ）機能でDVDへ移したデータは、「TOSHIBA DVD PLAYER」で再生してください。

5 地上アナログ放送での便利な操作

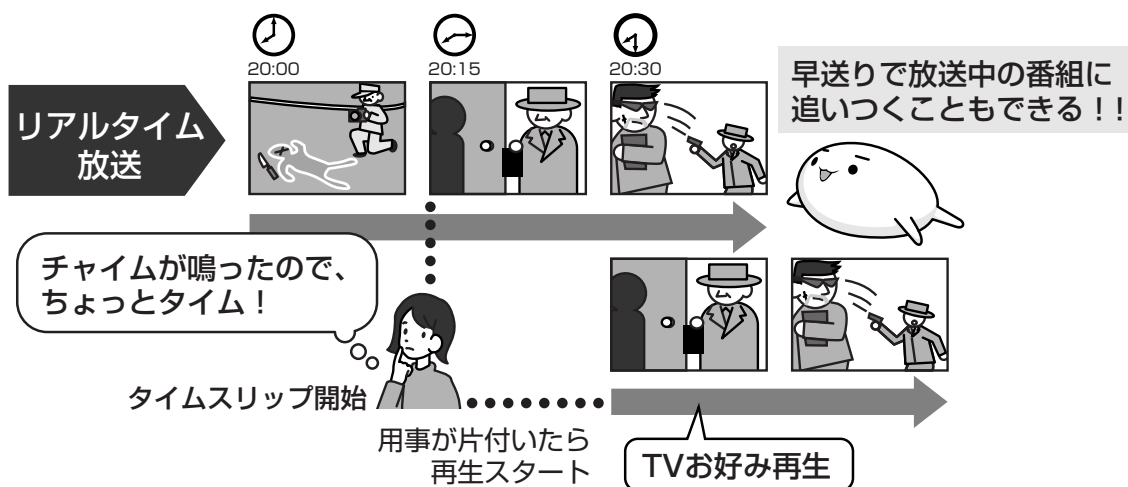
▼地デジ/アナログモデルのみ

ここでは、「Qosmio AV Center」の地上アナログ放送で録画・再生するうえでの便利な操作について説明します。

1 お好み再生

放送中の番組を見ているときに電話や来客などがあって視聴を中断する場合、あらかじめ「タイムスリップ機能」を使うと、見逃したシーンの続きを、用事が終わった後から見ることができます。

メモ

- タイムスリップできる時間は最大9時間です。ハードディスクに番組内容を保存しますので、ハードディスクの空き容量によってタイムスリップできる時間は異なります。

「お好み再生」をするときには、あらかじめタイムスリップを開始しておくことが必要です。タイムスリップが動作中のときは、録画をしていなくても一定の時間、番組のデータはハードディスクに保存されます。そのため、録画した番組を再生する要領で「早戻し」、「早送り」、「スロー再生」、「一時停止」、「再生」などを行い、番組を見ることができます。
「タイムスリップ」が動作中は、ハードディスクに番組が録画されている状態になります。
ハードディスクの空き容量を確認してください。

参照 録画とハードディスクの容量の関係について「本章 2 - 1 - 録画について」

お願い お好み再生について

- あらかじめ、「付録 1 - 9 - お好み再生について」を確認してください。

タイムスリップ開始

1 番組を見ているときに、リモコンの［タイムスリップ］ボタンを押し、すぐに［一時停止］ボタンを押す

［タイムスリップ］ボタンを押してからの放送内容は、ハードディスクに一時的に録画されます。
［一時停止］ボタンを押すと、映像を一時停止します。

用事が終わりました。中断していたテレビの視聴を再開します。［タイムスリップ］ボタンを押してからの放送内容を見てみましょう。

メモ

- タイムスリップを開始した後、一時停止をしなくても、「早戻し」、「早送り」などで好きな位置から再生を開始することもできます。

お好み再生開始

2 リモコンの［再生］ボタンを押す

番組の続きを視聴できます。

「早戻し」、「早送り」、「スロー再生」で好きな位置、お好みの速度で番組の視聴を楽しむことができます。
また、「一時停止」をすることもできます。

■お好み再生を止めるとき

お好み再生を止めるときは、リモコンの［タイムスリップ］ボタンを押してください。
ハードディスクへの記録が止まり、タイムスリップが終了します。書き込んだ内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
リモコンの方向ボタンで［はい］または［いいえ］を選択し、［決定］ボタンを押してください。

2 過去のシーンに戻って録画する（プレイバック録画）

テレビ番組を見ていて、「さっきのシーンを録画しておけばよかった。」と思ったときのために、「プレイバック録画（つまみ録り機能）」を行いましょう。プレイバック録画はタイムスリップを開始しておくことで、過去のシーンに戻って録画することができる機能です。タイムスリップ中は放送中のテレビ番組をハードディスクドライブ内に仮録画しておくため、過去のシーンに戻って、必要な部分や保存しておきたいシーンだけを「つまみ録り」録画することができます。

メモ

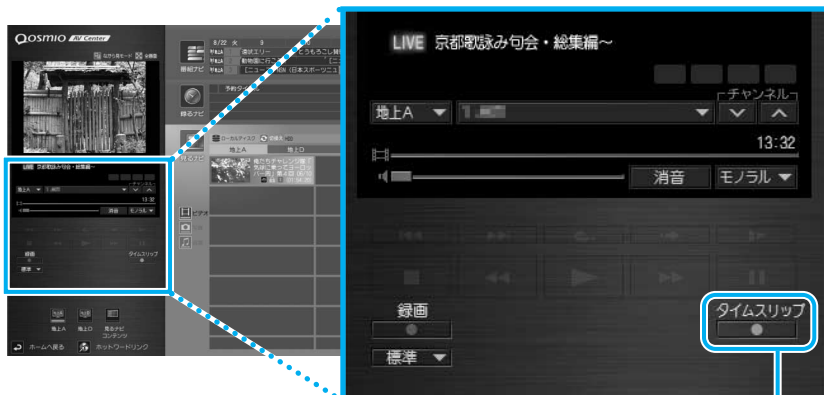
- タイムスリップできる時間は最大9時間です。ハードディスクに番組内容を保存しますので、ハードディスクの空き容量によってタイムスリップできる時間は異なります。

お願い プレイバック録画を行うにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 9 - プレイバック録画について」を確認してください。

1 「Qosmio AV Center」のマウスモードでテレビ視聴画面を表示する

参照 テレビ視聴画面の表示「本章 1 - 1 テレビを見る」

2 プレイバック録画（つまみ録り機能）を行う

①［タイムスリップ］をクリック
タイムスリップが開始されます。放送内容は、ハードディスクに一時的に録画されます。

②［早戻し］をクリック
タイムスリップを開始したシーンまで戻り、そこから自動的に番組が再生されます。

④録画したいシーンが終わったら［終了］をクリック
プレイバック録画の終了位置を指定します。

⑤［保存］をクリック
プレイバック録画が開始されます。

③録画を開始したいシーンが表示されている状態で、［開始］をクリック
プレイバック録画（つまみ録り機能）の開始位置を指定します。

メモ

- 早戻しができるのは、タイムスリップを開始してから見ていた番組に限ります。それまで視聴していなかった番組について巻き戻して見ることはできません。
- 手順②の後や③の後で、「早送り」、「スロー再生」、「一時停止」もできます。
- 「一時停止」をクリックしてスライダを操作し、開始位置や終了位置の映像を探すこともできます。
- つまみ録りしたいシーンが複数ある場合は、手順③～⑤をくり返してください。

3 ［タイムスリップ］をクリックする

タイムスリップを終了し、タイムスリップ中に書き込んだ番組データを保存するか、消去するかを選択するメッセージが表示されます。
保存する場合は［はい］、保存しない場合は［いいえ］をクリックしてください。

3 追っかけ再生

録画予約の録画実行中に用事が早く終わって帰宅したときなど、録画が終了するのを待たずに、番組の始めから録画内容の再生を始めたい。このようなときには、「追っかけ再生」ができます。録画をしながら、すでに録画したシーンの最初から再生できます。または、早送りして再生をして、リアルタイム（ライブ）の放送に追いつくこともできます。「録画」は、録画を停止するまで、または録画予約した番組の録画終了時刻になるまで、継続します。

お願い 追っかけ再生を行うにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 9 - 追っかけ再生について」を確認してください。

1 地上アナログ放送の番組を録画する

参照 「本章 2 テレビ番組を録画する」

追っかけ再生開始

2 録画中に、リモコンの［タイムスリップ］ボタンを押す

録画している番組の先頭から再生が始まります。
早戻しができるのは、現在録画中の番組に限ります。それまで視聴していなかった番組や、すでに録画した別の番組については、早戻しして見ることはできません。

「早戻し」、「早送り」、「スロー再生」、「一時停止」を行うこともできます。
早送りができるのは、録画している実際の放送の数秒前までです。

■追っかけ再生を終了するとき

追っかけ再生を終了するときは、リモコンの［タイムスリップ］ボタンを押してください。
画面が放送中のライブ映像（録画中）に戻ります。
「録画」は、録画を停止するまで、または録画予約した番組の録画終了時刻になるまで、継続します。

▲地デジ/アナログモデルのみ

3 章

映像をDVDに残す

録画したテレビ番組や、デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集してDVDにする方法を説明します。

1 映像を編集してDVDに残す

地上アナログ放送で録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。

1 DVDを作成する準備

映像を編集してDVDに残すには、「DVD MovieWriter」を使います。
「DVD MovieWriter」では、地上デジタル放送の番組を、DVDメディア等へ直接書き込んだり、コピー・移動したりすることはできません。
地上デジタル放送の録画データをDVDに移動する方法は、「2章 4 録画した地上デジタル放送の映像をDVDに移す」を参照してください。

DVDを用意する

「DVD MovieWriter」がサポートしているメディアとフォーマットを参考に、書き込み可能なDVDメディアを用意してください。なお、推奨するメーカのメディアを使用してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

❏ フォーマット

フォーマットとは、映像を書き込むときの記録形式のことです。フォーマットによって、作成したDVDを再生できる機器が異なります。それぞれ次の特徴があります。

■DVD-Videoフォーマット

もっとも一般的なDVD形式です。ほとんどの家庭用DVDビデオレコーダやパソコンと再生互換があります。DVDメニューの作成を行うことができます。

■-VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合があります。DVDメニューを作成することはできません。

■+VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。DVD+VRに対応した家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでのみ再生できます。DVDメニューを作成することができます。

メモ

- DVDメニューとは、DVDをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

「DVD MovieWriter」がサポートしているメディアとフォーマットは、次のとおりです。

○：使用できる　×：使用できない

	DVD-R *1	DVD-RW	DVD+R *2	DVD+RW	DVD-RAM
DVD-Videoフォーマット	○	○	○	○	×
-VRフォーマット	×	○	×	×	○
+VRフォーマット	×	×	×	○	×

＊1　DVD-R DLを含みます。
＊2　DVD+R DLを含みます。

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

メモ

- 映像を編集する前に、「付録 1-12 テレビ番組の取り込みについて」「付録 1-14 「DVD MovieWriter」の使用にあたって」をよくお読みください。
- 操作中にユーザ登録をおすすめする画面が表示される場合があります。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、［後で登録］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「DVD MovieWriter」についての詳細は、ヘルプを確認してください。メイン画面左下に起動するボタンがあります。

「DVD MovieWriter」のお問い合わせ先

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。

当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

TEL　　　　　：045-226-3899
FAX　　　　　：045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　　　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　　：月～金　9:30～17:00
（12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）

2 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする

ここでは、録画したテレビ番組や、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（テレビ番組やビデオ映像のファイルなど）を用意する

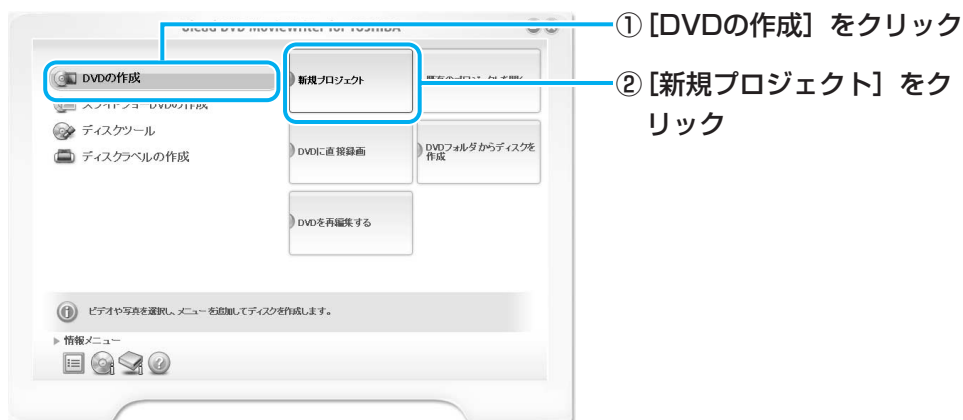
あらかじめ「Qosmio AV Center」などを使って映像ファイルを用意しておきます。

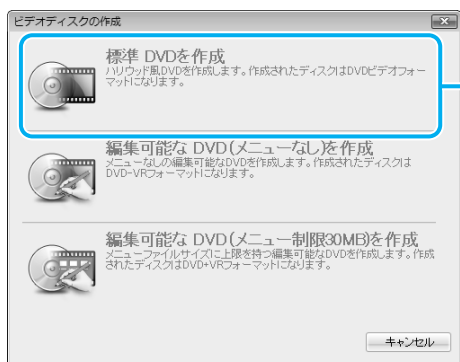
操作についての詳細は、「2章 2 テレビ番組を録画する」を参照してください。

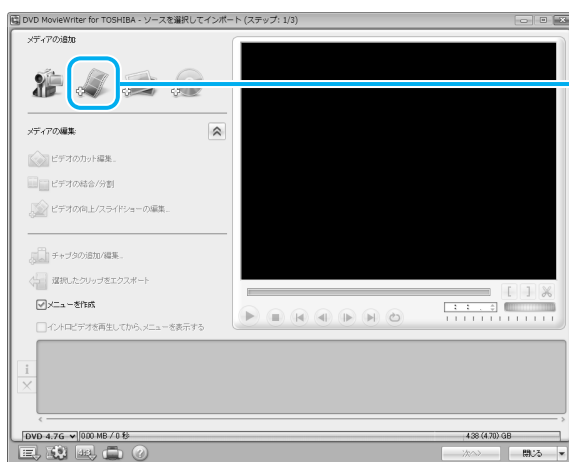
映像ファイルを取り込む

2 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［Ulead DVDMovieWriter for TOSHIBA Launcher］をクリックする

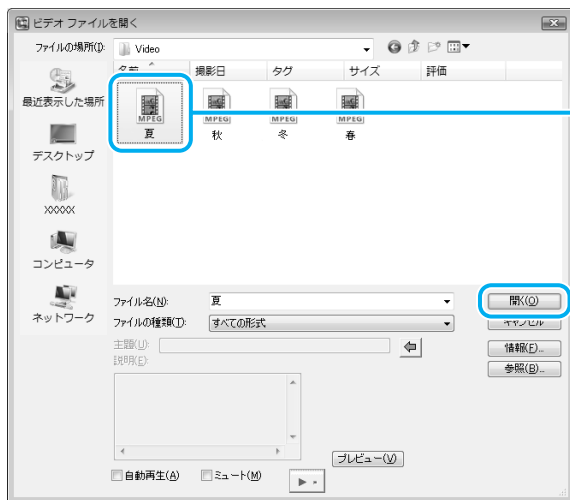
「DVD MovieWriter」が起動します。

3 やりたいことを選択する

4 作成したいDVDのタイプを選択する

ここでは、もっとも一般的なDVD形式であるDVD-Videoフォーマットで作成できる［標準DVDを作成］を選択した場合を例にして説明します。

①［標準DVDを作成］をクリック

5 編集したい映像ファイルを選択する

①［ビデオファイルを追加］をクリック

②［ファイルの場所］の ▾ をクリック

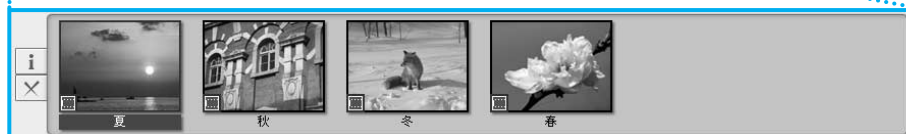
③ファイルを保存しているフォルダなどをクリック

複数のファイルを取り込む場合は、手順 5 を繰り返し実行してください。

役立つ操作集

「Qosmio AV Center」で録画した映像を編集する

「Qosmio AV Center」で「見るナビ」を起動すると、それまでに録画して保存しておいた映像ファイルの一覧が表示されます。編集したいファイルを選択して右クリックし、表示されたメニューで［編集・保存］をクリックすると、手順 6 の画面が表示されます。

6 映像ファイルが取り込まれる

［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3）］画面に戻り、画面下部の「メディアリスト」に編集したい映像ファイルが追加されます。

「メディアリスト」に表示される画面の1つ1つが、DVDのメニューに表示されるタイトルになります。

メモ

- 映像用DVDはタイトル、チャプタが一部を除いて、設定されています。
  DVD再生時に、各タイトルやチャプタから再生できます。

  DVDのタイトルとチャプタの構造（例）
  DVD（メディア）
  -タイトル1
  -チャプタ1
  -チャプタ2
  -タイトル2
  -チャプタ1…

役立つ操作集

映像ファイルを取り込む
「メディアの追加」に用意されている各ボタンをクリックすると、映像ファイルを取り込むことができます。

［ビデオ装置からビデオをキャプチャ］
デジタルビデオカメラやアナログのビデオやカメラから映像を取り込みます。

［ビデオファイルを追加］
「Qosmio AV Center」で録画した映像など、本製品で作成した映像ファイルをメディアリストに追加します。
＊ 一部サポートしていないファイルもあります。

［スライドショーを作成］
複数の画像などをスライドショーに加工して取り込みます。

［ディスクやハードドライブからDVD-VideoまたはDVD-VRファイルをインポート］
「DVD MovieWriter」で作成したDVDから映像を取り込みます。
タイトルやチャプタを選択して、取り込むこともできます。

参照 デジタルビデオカメラから映像を取り込む方法
「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」

参照 アナログのビデオやカメラから映像を取り込む方法
「本節 4 アナログのビデオやカメラの映像を取り込んで編集する」

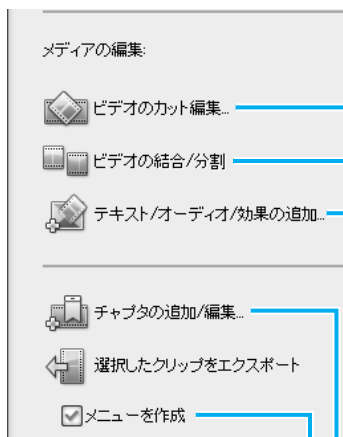
次は、編集を行います。

映像ファイルを編集する

7 クリップを並び替える

「メディアリスト」の映像ファイル（タイトル）が複数ある場合、左から順に再生されます。複数の映像ファイル（タイトル）を再生させたい順に並べ替えたい場合の手順を説明します。

次は、DVDのメニュー画面を作成します。

映像ファイルを加工する
取り込んだファイルの編集や加工には、「メディアの編集」のアイコンを使用します。

[ビデオのカット編集]
CMなど、映像の不要な部分を削除する場合に使用します。

[ビデオの結合/分割]
結合は、選択している2つ以上の取り込んだファイルを、1つのファイル（タイトル）に結合します。
分割は、結合したファイル（タイトル）を元に戻します。

[テキスト/オーディオ/効果の追加]
選択したファイルにタイトルを入れたり、マイク（市販）を使用して、音声を追加したりできます。

[チャプタの追加/編集]
選択した映像ファイル（タイトル）内にチャプタを設定することができます。

[メニューを作成]
チェックを付けると、DVDメニュー画面を作成することができます。

DVDメニューを作成する

8 DVDメニューを作成する

① [次へ] をクリック

[メニューを選択（ステップ：2/3）] 画面が表示されます。
ここではあらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

メモ

- DVDメニューの作成では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
  - ・音楽の追加
  - ・タイトルの追加
  - ・エフェクトの編集
  - ・DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更

  これらについての詳細は、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

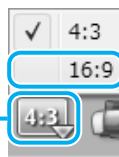
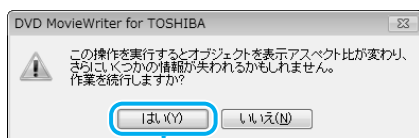
9 プレビュー画面で動作を確認する

DVDメニューの動作を確認することができます。

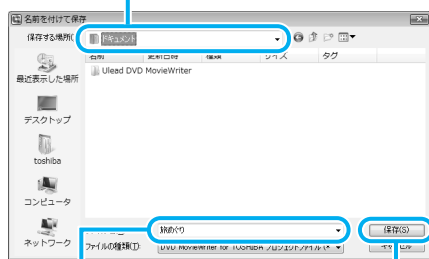
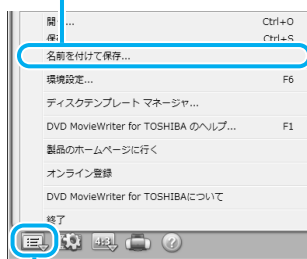
作成したDVDメニューを確認できる画面に切り替わります。

役立つ操作集

画面サイズを切り替える

購入時は4:3の画面サイズ用に作成する設定になっていますが、ワイド画面にも対応した設定に切り替えることができます。

確認画面が表示されます。

ワイド画面に対応した表示に切り替わります。

編集途中のデータを保存する

データの編集からDVDへの書き込みを一度に行うと、時間がかかります。DVDへの書き込みは中断することができませんが、編集中のデータを保存して、あとから再開することはできます。

保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。
データの編集を再開するときは次の手順でプロジェクトファイルを呼び出します。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA Launcher］をクリックする
② ［DVDの作成］→［既存のプロジェクトを開く］をクリックする
③ ファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックする

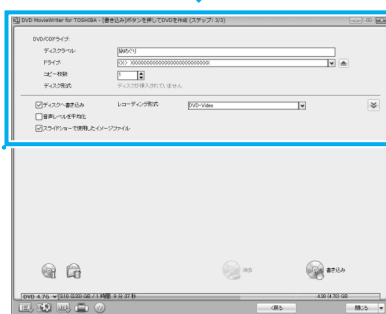
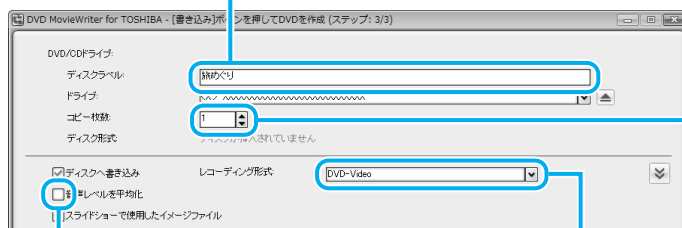
これで、編集したい映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。
次は、DVDに書き込みます。

DVDに書き込む

10 書き込むディスクを設定する

① [次へ] をクリック

② [次へ] をクリック

[[書き込み] ボタンを押してDVDを作成（ステップ：3/3)] 画面が表示されます。

② 作成するDVDの名前を入力する

③ 作成するDVDの枚数を指定する

④ レコーディング形式を選択する
メディアによってDVD-Video、DVD+VRから選択します。

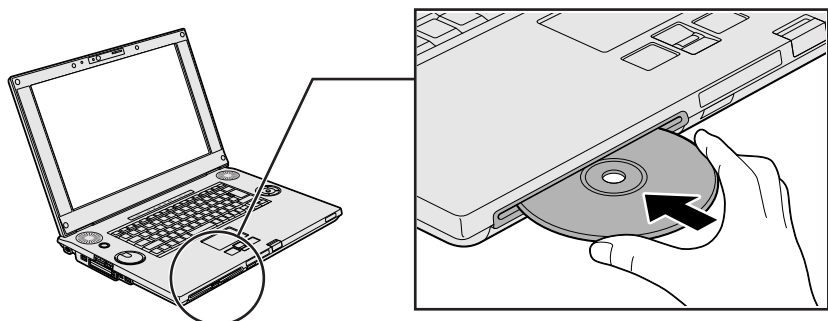
⑤ 必要に応じてチェックを付ける
音量の異なる複数の映像データを1つにまとめている場合、チェックを付けると全体を通してバランスのとれた音量に自動的に調整します。

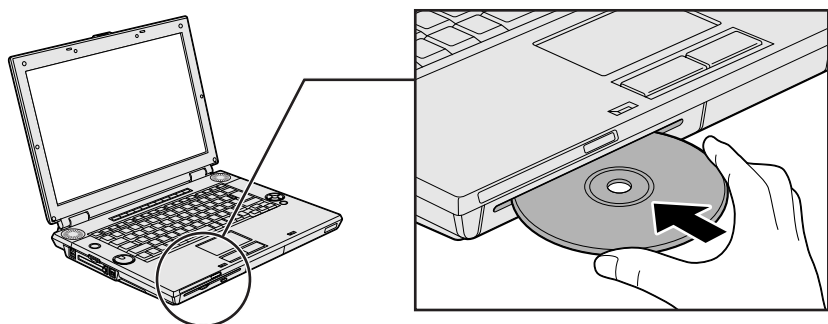
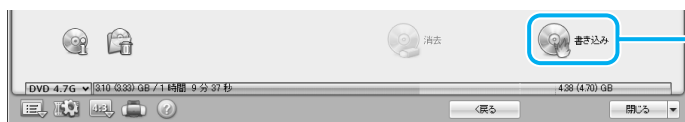
参照 レコーディング形式「本節-1 DVDを作成する準備」

メモ

- DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「付録 1-13 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

11 ドライブにDVDをセットする

DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

■G40シリーズの場合

■F40シリーズの場合

12 DVDに書き込む

① [書き込み] をクリック

メモ

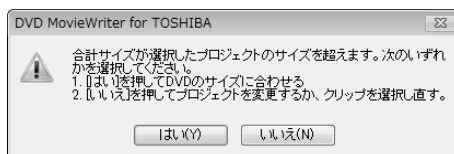
- 映像の書き込みには時間がかかる場合があります。

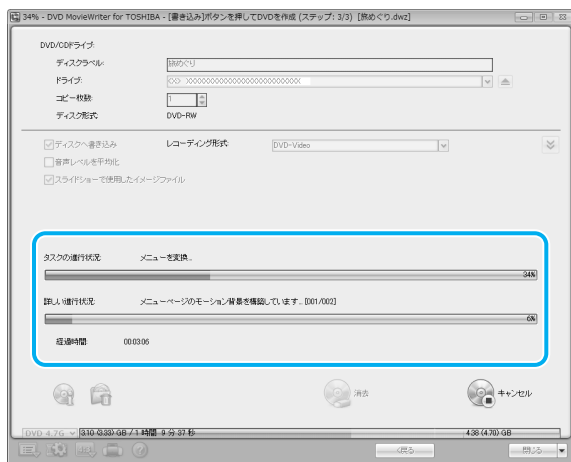
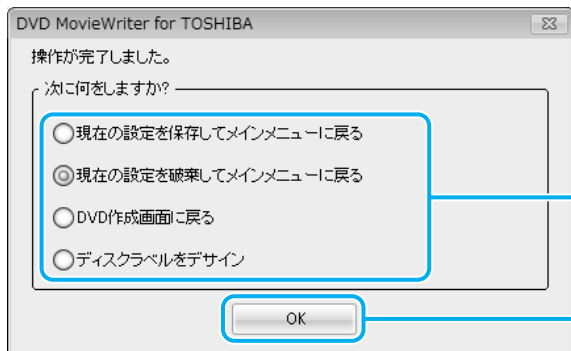
役立つ操作集

映像ファイルの長さを確認する

画面下部のメーターの色で、映像ファイルの長さがわかります。緑色の部分は1枚のDVDに保存できますが、黄色や赤色の部分は、1枚のDVDの容量を超えています。映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

また、メーターが超えている場合でも、映像の品質が落ちますが、長時間の映像ファイルを1枚のDVDに書き込むことが可能です（DVDピッタリ記録）。[書き込み] をクリックして、右のメッセージが表示されたときに [はい] をクリックしてください。

条件によりDVDに書き込めない場合もあります。書き込める条件の目安は、4.7GBのDVDの場合、DVD-EP（拡張再生）で録画した240分以下の映像ファイルです。

DVDの書き込みが始まります。

書き込みを開始すると画面に［タスクの進行状況］と［詳しい進行状況］が表示されます。

DVDの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。

DVDの書き込みが終了し、ドライブからディスクが半分くらい出てきます。

■②で［現在の設定を保存してメインメニューに戻る］を選択した場合

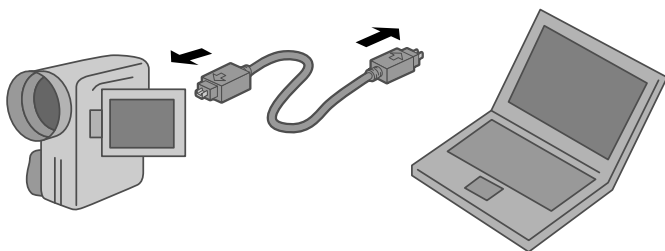
作成・編集したデータを保存していない場合は、［名前を付けて保存］画面が表示されますので、保存場所とファイル名を指定してください。
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。プロジェクトファイルは、あとから呼び出して、再編集することができます。プロジェクトファイルの呼び出し方法は、手順 9 の役立つ操作集を確認してください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法とお問い合わせ先は、「本章 1 - 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込む方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

参照 デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた
『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

2 [DVDを作成 -Ulead MovieWriter 使用］をクリックする

「DVD MovieWriter」が起動します。

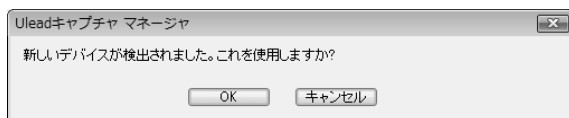
メモ

● HDV規格対応ビデオカメラをHDVの録画規格に設定して接続した場合は、［自動再生］画面は表示されません。「本節 4 - 2 映像を取り込む」の手順 1 から 2 の①と同じ操作を行ってください。

■はじめて接続した場合

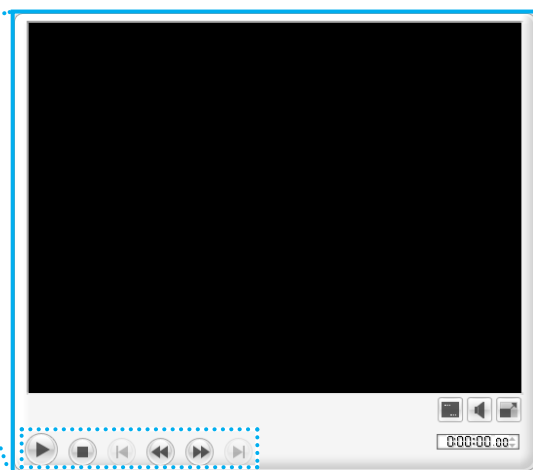
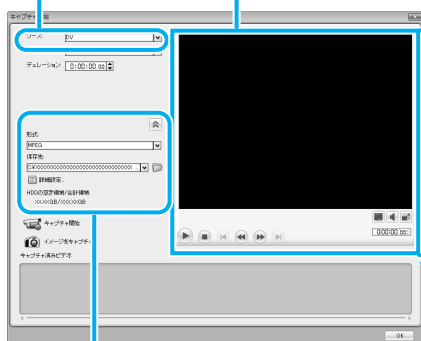
「DVD MovieWriter」起動後にはじめてデジタルビデオカメラを接続した場合、［Uleadキャプチャ マネージャ］画面が表示される場合があります。

［OK］をクリックしてください。

メモ

● デジタルビデオカメラやビデオデッキの映像を直接ダビングすることができます。手順 2 で［閉じる］ボタン（ ）をクリックし、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》の手順 2 に進んでください。

3 取り込む映像の設定をする

［ソース］
デジタルビデオカメラの場合は［DV］、HDV規格対応ビデオカメラの場合は［HDV］を選択してください。

［ナビゲーションコントロール］
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

取り込む映像の録画品質と保存先を設定できます。
これらが表示されていない場合は、［高度なキャプチャ設定を表示/非表示］ボタン（ ）をクリックしてください。

［形式］で次の録画品質を設定できます。HDV規格対応ビデオカメラの場合は、「MPEG」のみ設定できます。

・DVD-HQ（品質高）720×480 7.2Mbps
・DVD-GQ（品質良）720×480 5.5Mbps
・DVD-SP（標準再生）352×480 3.6Mbps
・DVD-LP（長時間再生）352×480 2.4Mbps
・DVD-EP（拡張再生）352×480 1.6Mbps
・MPEG
・AVI

①録画開始位置を確認する
［再生（一時停止）］、［停止］、［早送り］、［先送り］の各ボタンを操作してデジタルビデオカメラの映像を［ナビゲーションコントロール］に表示することができます。
録画を始めるところまで再生したら、［停止］または［一時停止］ボタンをクリックしてください。

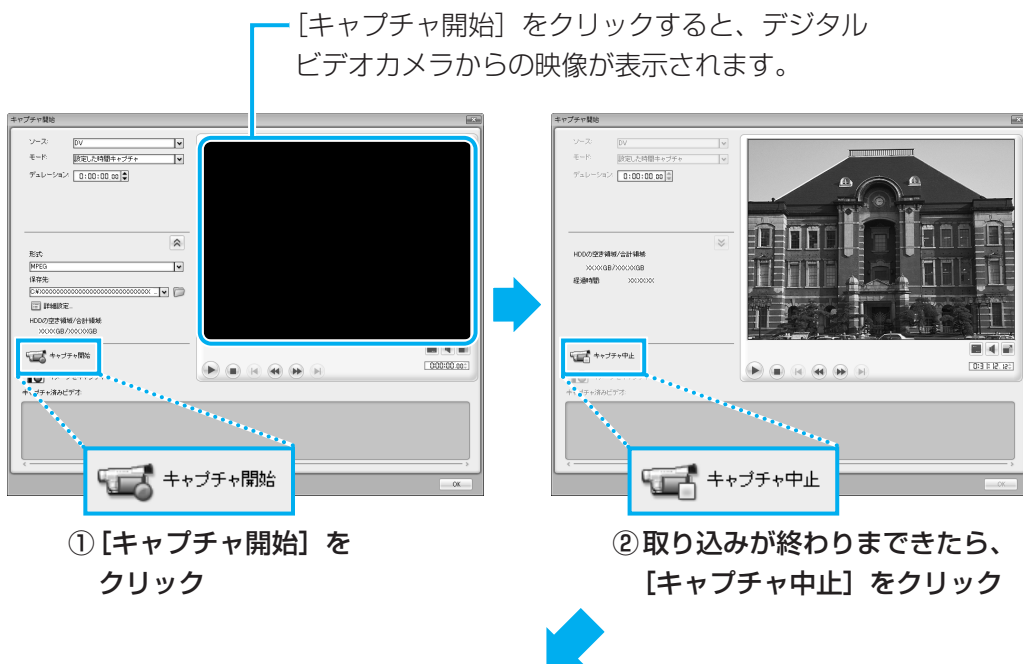
4 映像を取り込む

メモ

- アナログのビデオカメラやビデオデッキの映像を取り込みたい場合は、手順 4 -①で［キャプチャ開始］をクリックする前に、ビデオカメラやビデオデッキを操作して映像を再生してください。取り込みたい部分の少し前からビデオを再生し、［キャプチャ開始］をクリックしてください。

［キャプチャ開始］をクリックすると、デジタルビデオカメラからの映像が表示されます。

① ［キャプチャ開始］をクリック

② 取り込みが終わりまでできたら、［キャプチャ中止］をクリック

「キャプチャ済みビデオ」に映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。

複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順 3 ～ 4 をくり返してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

6 ［OK］をクリックする

［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3）］画面に切り替わります。
以降の操作は、「本節 2 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順 7 に進んでください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法とお問い合わせ先は、「本章 1 - 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

4 アナログのビデオやカメラの映像を取り込んで編集する

▼ 地デジ/アナログモデルのみ

本製品では、アナログのビデオデッキやビデオカメラの映像を取り込んで、本製品で録画したデータと同じように編集したりDVDに書き込んだりすることができます。
ここでは「DVD MovieWriter」を使用する方法を説明します。

■録画した映像ファイルについて

- 著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。
  また、アナログTVまたは外部入力からの番組に関しては、録画1回可能なものでも、パソコンでの視聴や録画はできません。
- 外部入力機器からコピープロテクトがかかった映像を録画すると録画データの映像が単色に塗りつぶされます。

■外部映像入力に関するご注意

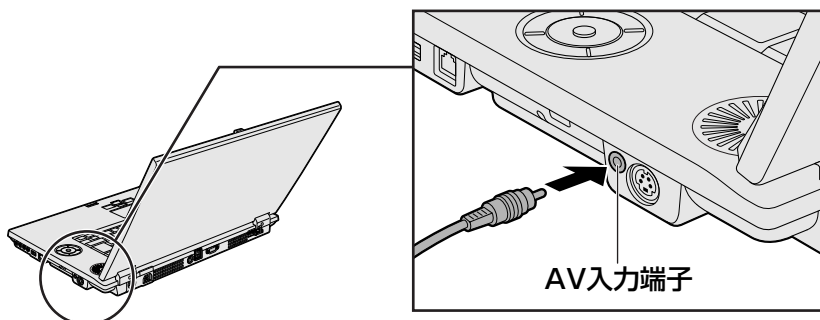
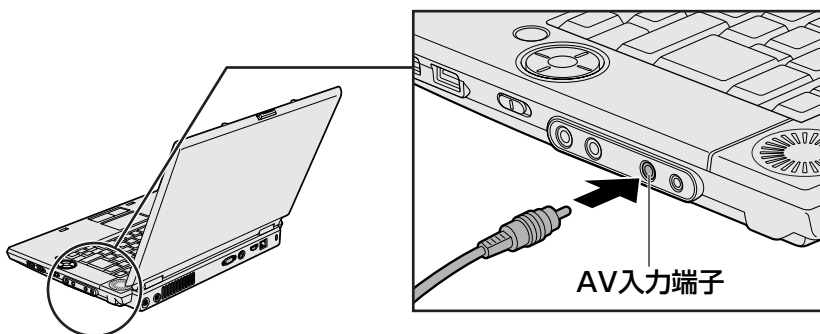
- 本製品は著作権保護技術を採用しています。このため、AV入力端子に地上デジタルチューナやBS／CSデジタルチューナなどの映像機器を接続した場合でも、録画禁止または録画1回可能なものなど、著作権保護信号が含まれている映像を視聴、録画することはできません。

1 機器を接続する

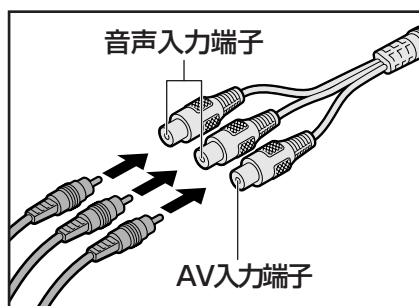
AV入力端子の場合

付属のビデオ入力ケーブルをAV入力端子に接続すると、外部機器の映像をパソコン本体のディスプレイに表示させることができます。

1 ビデオ入力ケーブルのプラグを、パソコン本体のAV入力端子に差し込む

■G40シリーズの場合

■F40シリーズの場合

取りはずすときは、AV入力端子からビデオ入力ケーブルのプラグを抜きます。

2 接続する機器用の出力ケーブルのプラグを、ビデオ入力ケーブルの音声入力端子とAV入力端子に差し込む

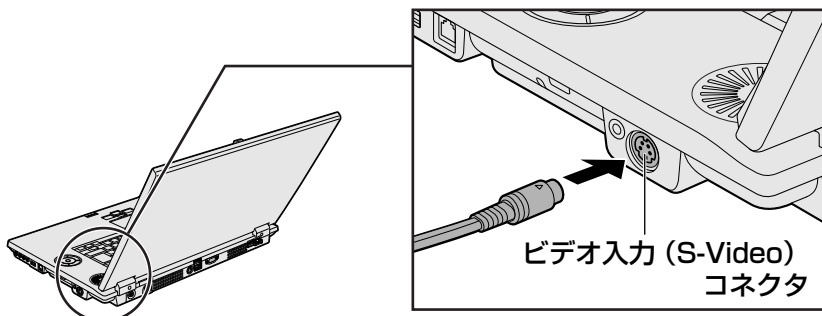
出力ケーブルのプラグは3色に色分けされています。

次のように対応させて差し込んでください
赤：音声右、白：音声左、黄：映像
出力ケーブルの名称は、ビデオケーブル、AVケーブル、TV出力ケーブルなど接続する機器によって異なります。接続する機器の説明書を確認してください。

3 接続する機器用の出力ケーブルのもう一方のプラグを、接続する機器の出力端子に差し込む

ビデオ入力（S-Video）コネクタの場合

＊ G40シリーズのみ

ビデオ入力（S-Video）コネクタに市販のS端子ケーブルを接続すると、外部機器の映像をパソコン本体のディスプレイに表示させることができます。

1 **S端子ケーブルのプラグを、パソコン本体のビデオ入力（S-Video）コネクタに差し込む**

取りはずすときは、ビデオ入力（S-Video）コネクタからS端子ケーブルのプラグを抜きます。

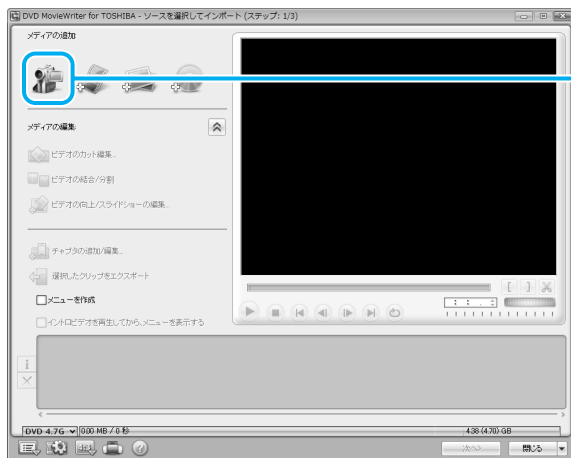
2 **S端子ケーブルのもう一方のプラグを接続する機器の出力端子に差し込む**

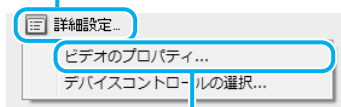
音声は、ビデオ入力ケーブルで音声入力端子（赤：音声右、白：音声左）に接続して聞いてください。

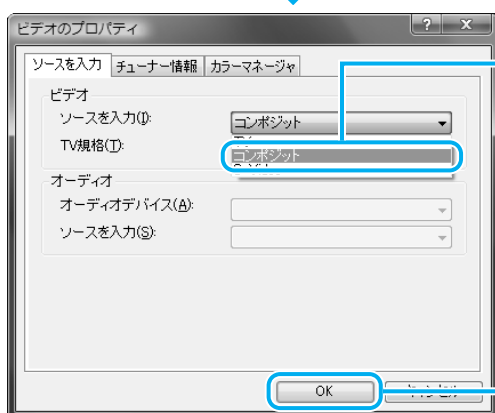
2 映像を取り込む

1 **「DVD MovieWriter」を起動し、書き込むDVDの設定を行う**

「本節 2 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順 2 から 4 と同じ操作を行ってください。

2 **入力装置を切り替える**

[詳細設定] が表示されていない場合は、[高度なキャプチャ設定を表示/非表示] ボタン（ ）をクリックしてください。

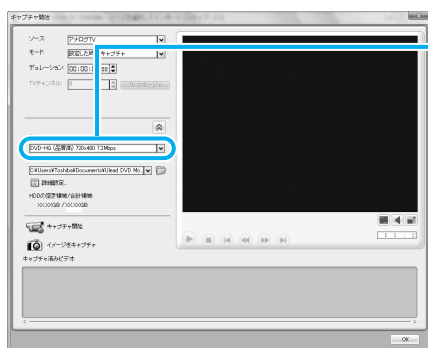
③ [詳細設定] をクリック

④表示されたメニューから［ビデオのプロパティ］をクリック

② [アナログTV] を選択する

⑤ [コンポジット] または [S-Video] を選択する

AV入力端子の場合は [コンポジット] を、ビデオ入力（S-Video）コネクタの場合は [S-Video] を選択してください。

＊ [S-Video] はG40シリーズのみ

⑥ [OK] をクリック

3 取り込む映像の設定をする

①録画品質を設定する

[形式] で録画品質を設定できます。

・DVD-HQ（品質高）720×480 7.2Mbps
・DVD-GQ（品質良）720×480 5.5Mbps
・DVD-SP（標準再生）352×480 3.6Mbps
・DVD-LP（長時間再生）352×480 2.4Mbps
・DVD-EP（拡張再生）352×480 1.6Mbps
・MPEG

このあとは「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」の手順 4 以降と同じ操作を行ってください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法とお問い合わせ先は、「本章 1 - 1 DVDを作成する準備」を参照してください。
- 「Qosmio AV Center」で映像を取り込むこともできます。
  詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

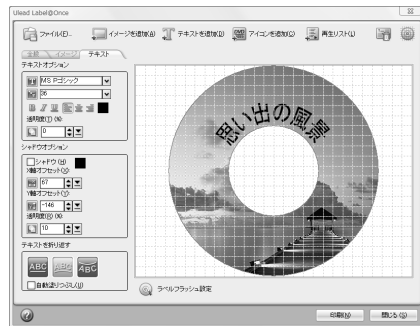
役立つ操作集

DVDに直接レーベルを印刷する

＊DVDスーパーマルチドライブモデルのみ

「DVD MovieWriter」を使ってディスクラベルを作成し、Labelflash対応のDVDメディアを使えば、あらかじめデータを保存したDVDに直接レーベルを印刷できます。

次のような手順で、操作します。

① ［スタートボタン］（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［Ulead DVDMovieWriter for TOSHIBA Launcher］をクリックする
　「DVD MovieWriter」が起動します。
② ［ディスクラベルの作成］をクリックする
③ ［ディスクラベルを作成する］をクリックする
　［Ulead Label@Once］画面が表示されます。
④ ［出力オプション］の［プリンタ］で、［<X：> XXXXXX］を選択する
　DVDスーパーマルチドライブを指定します。
⑤ ラベルを作成する
　ディスクラベルに写真やイラストを追加したり、文字を入力してタイトルを編集します。
⑥ データを保存したDVDをドライブにセットする
　DVDの描画面を下にして、ディスクを挿入してください。
⑦ ［印刷］ボタンをクリックする
　印刷が終わると、パソコン本体から自動的にディスクが出てきます。

詳しい操作方法については、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - ソフトの活用》や「DVD MovieWriter」のヘルプを参照してください。

Labelflash対応のDVDについては、推奨するメーカのメディアを使用してください。CD-R／CD-RWには印刷できません。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

2 DVDに直接録画する

1 DVDに直接録画（DVDダイレクト録画）する

＊DVDダイレクト録画ができるのは、地上アナログ放送のみです。

「DVD MovieWriter」では、パソコンでテレビを見ながら、番組をDVDに直接録画（DVDダイレクト録画）することができます。デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器の映像を直接ダビングすることもできます。

DVDへの直接録画について

- サポートしているメディアと、書き込みできるフォーマットは、「本章 1-1 DVDを作成する準備」を参照してください。
- 直接録画できる時間は、録画品質によって異なります。品質は、操作の途中で選択します。それぞれの品質で、4.7GBのDVDに録画できる時間の目安は次のとおりです。
  - ・DVD-HQ（品質高）　：最大約60分
  - ・DVD-GQ（品質良）　：最大約90分
  - ・DVD-SP（標準再生）：最大約120分
  - ・DVD-LP（長時間再生）：最大約180分
  - ・DVD-EP（拡張再生）：最大約240分

  ディスクがいっぱいになると録画は停止します。ディスク容量を超えるような長時間録画を行う場合は、「2章 2-1 見ているテレビ番組を録画する」を確認して「Qosmio AV Center」でハードディスクに録画してください。

参照 DVDダイレクト録画の操作方法
《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

4 章

もっと音楽と映像を楽しむ

DVDを見る方法や、音楽CDを聴く方法、写真データを見る方法について説明しています。

1 DVDの映画や映像を見る

本製品では、DVD-Videoの再生ができます。DVDを再生するには、DVDスーパーマルチドライブモデルでは、「TOSHIBA（トウシバ） DVD（ディーブイディー） PLAYER（プレーヤ）」を使います。HD DVD-Rドライブ内蔵モデルの場合は、『HD DVDを楽しもう』を参照してください。

用語について

本節では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、「DVD-Video」を示します。

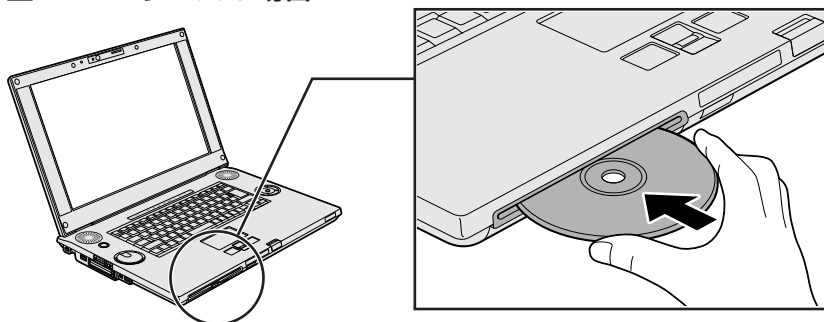
メモ

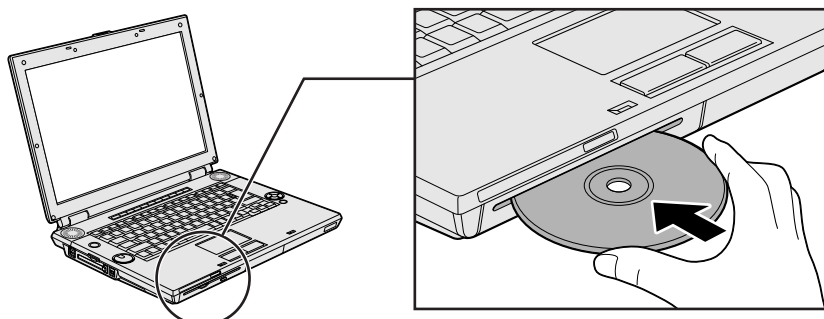
- DVD-Videoを再生する場合、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る

ここでは、「TOSHIBA DVD PLAYER」でDVD-Videoの映像を見る方法を説明します。
「TOSHIBA DVD PLAYER」を使う前に、「付録 1-11 DVD-Videoの再生にあたって」をよくお読みください。

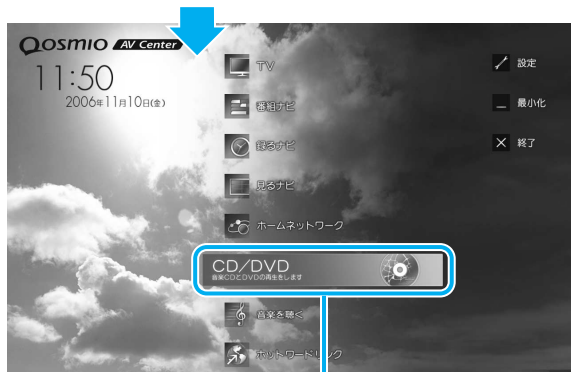
1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

■G40シリーズの場合

■F40シリーズの場合

［自動再生］画面が表示された場合は、［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

2 起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

②リモコンの方向ボタンで［CD/DVD］を選択し、［決定］ボタンを押す

「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。
詳細は、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプ、または《おたすけナビ》を参照してください。

■TOSHIBA DVD PLAYERについて

- 本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。
- 付属のリモコンを使って再生操作を行うことができます。詳細は《おたすけナビ》を確認してください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER］をクリックしても起動できます。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」は、手順 1 の後でリモコンの［CD/DVD］ボタンを押して起動することもできます。

「TOSHIBA DVD PLAYER」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

2 音楽を聴く

本製品で音楽CDを聴くために、2種類のアプリケーションが用意されています。

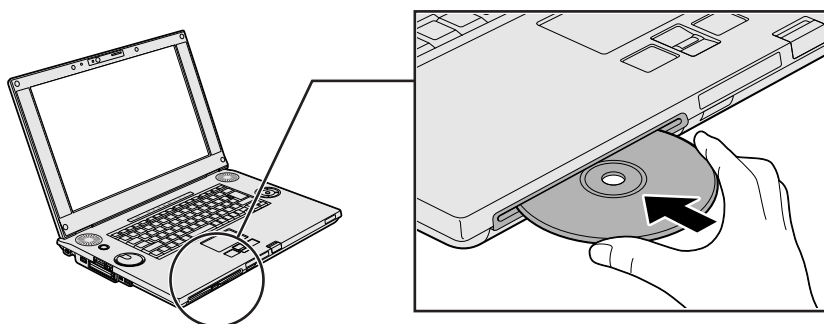
■Windows上で音楽CDが聴ける「RoomStylePlayer（ルームスタイルプレーヤ）」「BeatJam（ビートジャム）」

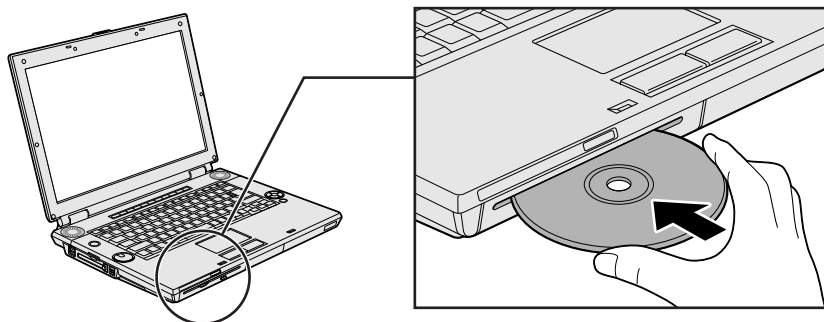
インターネットやメールなど、パソコンで作業をしているときでも、音楽CDを聴くことができます。「RoomStylePlayer」は音楽CDを聴くときに使用し、「BeatJam」は音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルのリストを作ったりすることができます。

1 音楽CDを聴く（RoomStylePlayer）

ここでは、リモコンで音楽CDを聴く方法を説明します。

1 ドライブに音楽CDをセットする

CDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

■G40シリーズの場合

■F40シリーズの場合

［自動再生］画面が表示された場合は、［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

2 起動する

① リモコンの［CD/DVD］ボタンを押す

「RoomStylePlayer」が起動します。

「ユーザアカウント制御」のメッセージに関する画面が表示されます。内容を確認後、［OK］ボタンをクリックしてください。
また、初めて起動したときは、［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。次に「バックアップツール」についての画面が表示されます。内容を確認後、［OK］ボタンをクリックしてください。
続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてください。

CDの音楽ファイルが一覧表示されます。曲は、「Track（トラック）」と表示されます。

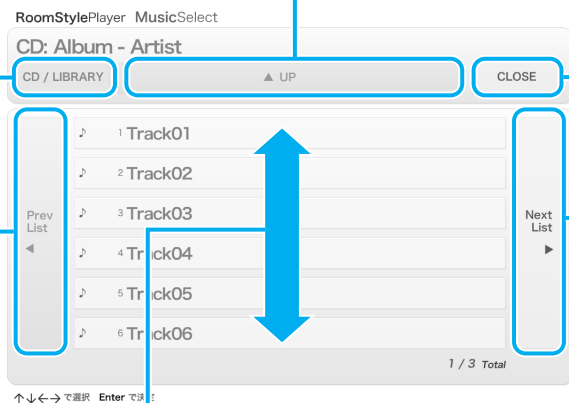
メモ

- リモコンの［CD/DVD］ボタンの代わりに、パソコン本体の［CD/DVD］ボタンを押して起動することもできます。

3 リモコンでリストから再生する曲を選択する

CD/LIBRARY
リストの表示をCD→ライブラリ→CD…と切り替えます。ライブラリは、パソコン本体に保存されている音楽ファイルのリストです。

CLOSE
リスト画面を終了します。
終了すると、「RoomStylePlayer」の再生画面と同じものが表示されますが、音楽ファイルが再生されるわけではありません。

▲UP
パソコン本体のライブラリを表示している場合、ひとつ上のフォルダ階層へ移動します。

① リモコンの方向ボタンで再生する曲を選び、[決定]ボタンを押す

Prev List
1画面に表示しきれなかったリストの、最初の方を表示します。

Next List
1画面に表示しきれなかったリストの続きを表示します。

選択した曲から再生が始まります。
再生中は、次のような画面が表示されます。

メモ

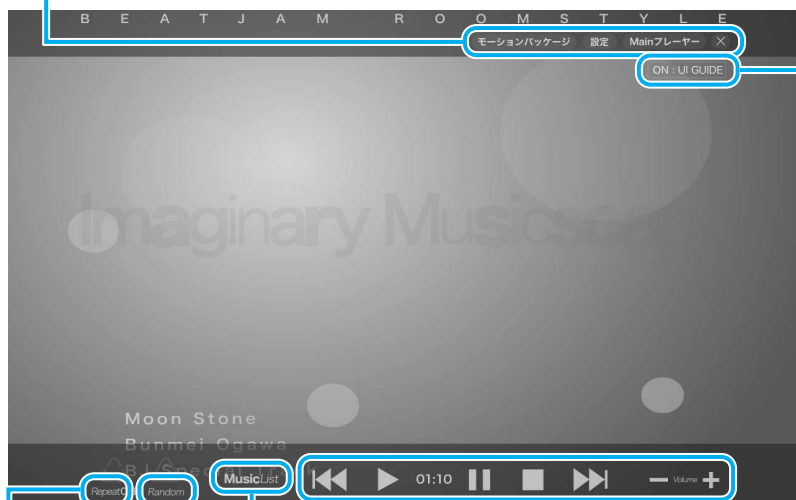
- 「RoomStylePlayer」は、［スタート］ボタン（　）→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［RoomStyleプレーヤー］をクリックしても起動できます。手順 3 の画面が表示されます。

4章 もっと音楽と映像を楽しむ

RoomStylePlayerの操作画面

左から順番に、

モーションパッケージ	設定	Mainプレーヤー	終了
再生時に表示させる画像を選べます。	再生時に表示させるタイトルとアーティスト名を設定します。	「BeatJam」のCDパネルが表示されます。	リスト画面に戻ります。

UI GUIDE
モーションパッケージが［Blue］の場合のみ表示されます。
各ボタンにカーソルを合わせたとき、ボタンの役割を表示する/しないを切り替えます。
「UI GUIDE」の隣に「ON」または「OFF」と表示され、設定状態が確認できます。

再生/一時停止、停止、音量、前の曲に戻る、次の曲に進むなどが、リモコンと同じように操作できます。

MusicList
音楽ファイルのリスト画面を表示します。

Random
クリックするごとに、通常再生→ランダム再生→通常再生と切り替わります。

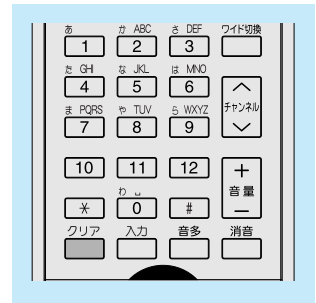
Repeat
クリックするごとに、リピートオフ（通常再生）→一曲リピート→全曲リピート→リピートオフ（通常再生）と切り替わります。
「Repeat」の隣に「OFF」「One」「ALL」のいずれかが表示され、設定状態が確認できます。

■RoomStylePlayerの終了方法

「RoomStylePlayer」の操作画面を終了する方法について説明します。

1 リモコンの［クリア］ボタンを押す

デスクトップ画面に戻ります。

メモ

- 音楽を聴くアプリケーションとして、「Windows Media Player」も用意されています。
  「Windows Media Player」についての詳細は、『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。
- 音楽ファイルを好きな順番に並べてまとめ、自分だけの演奏リストを作成できます。これを「プレイリスト」と呼びます。
  詳細は、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》を参照してください。

「BeatJam」「RoomStylePlayer」のお問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　：平日　10:00～19:00　土・日・祝日　10:00～17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-2624　大阪　06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間　：平日　10:00～19:00　土・日・祝日　10:00～17:00(特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-3980　大阪　06-6886-7160
ホームページ　：http://support.justsystem.co.jp/

3 オリジナル音楽CDを作る

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator（トウシバ ディスク クリエイタ）」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。推奨するメーカのCDを用意してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

メモ

- 音楽CDを作る前に、「付録 1-13 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」、「付録 1-15 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

1 オリジナル音楽CDを作る

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込む

▼

音楽ファイルの曲順を入れ替える

▼

CDに書き込む

本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

参照 「巻頭 6 著作権について」

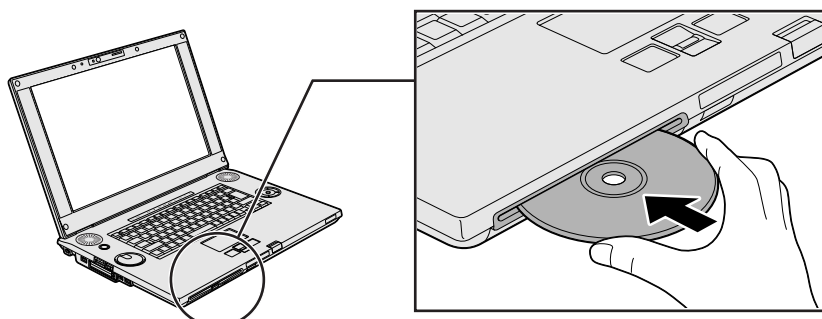
音楽ファイルを取り込む

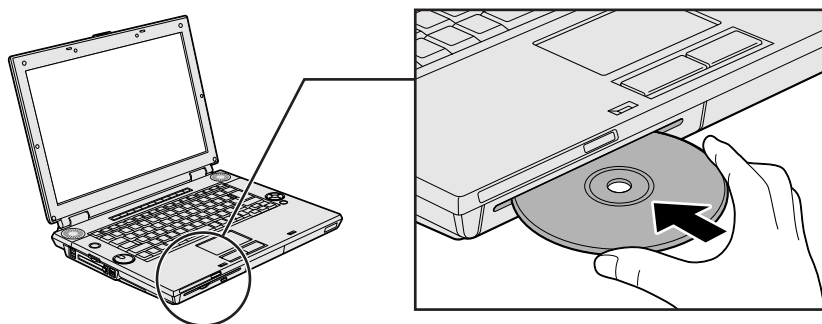
1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［CD&DVDアプリケーション］→［Disc Creator］をクリックする

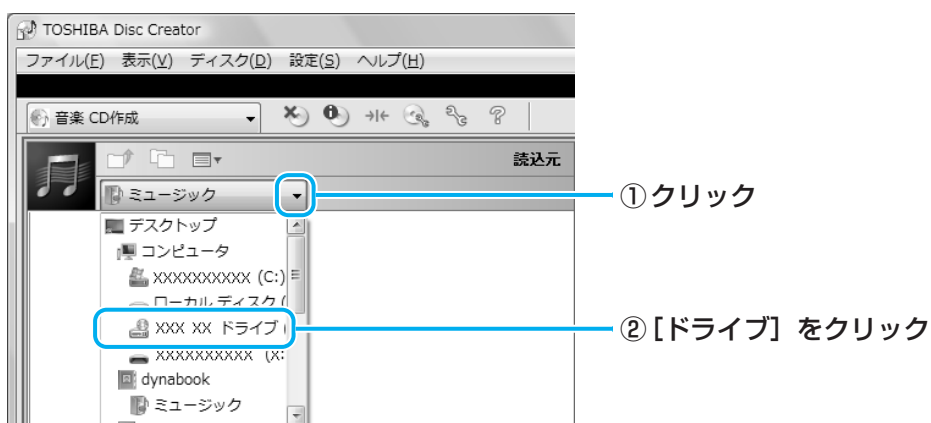
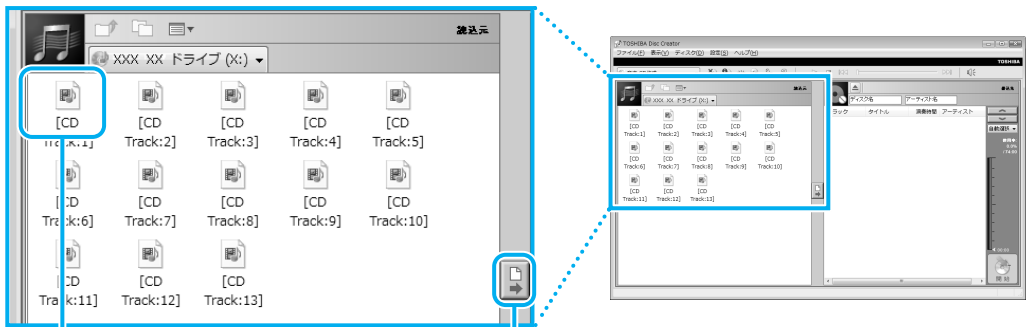
2 ［音楽CD作成］をクリックする

手順 2 のあと音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。

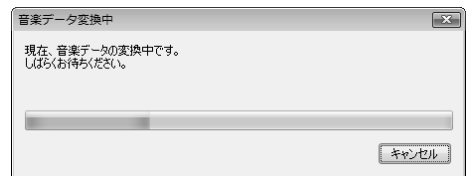
3 ドライブに音楽CDをセットする

CDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

■G40シリーズの場合

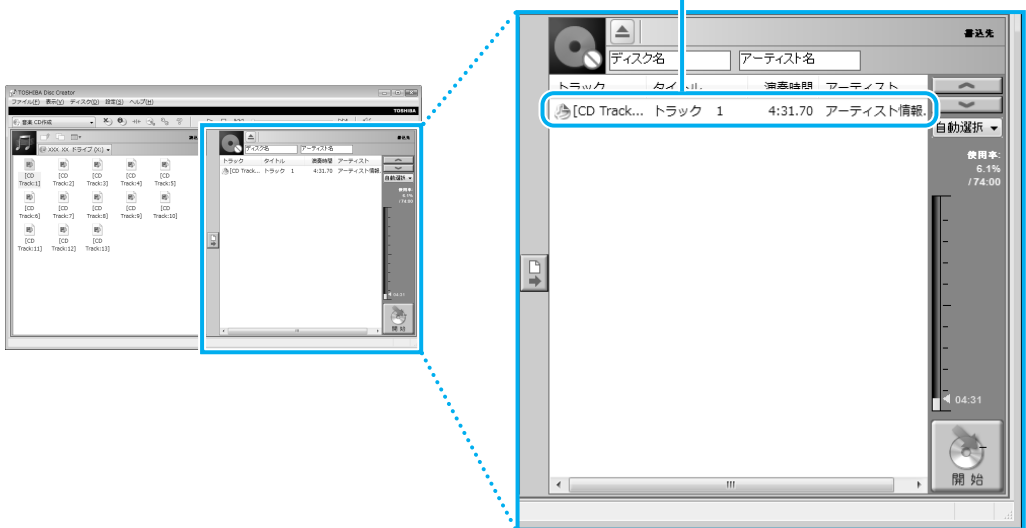
■F40シリーズの場合

［自動再生］画面が表示された場合は［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

4 ドライブを選択する

5 書き込みたい曲（トラック）を選択する

①曲を選択する

曲は、「Track」と表示されます。
曲を複数選択したい場合は、
CTRLキーを押したまま目的の
曲をクリックしてください。

②［書き込み先にデータを追加する］をクリック

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧

4章 もっと音楽と映像を楽しむ

6 音楽CDを入れ替え、手順 5 をくり返す

他の音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

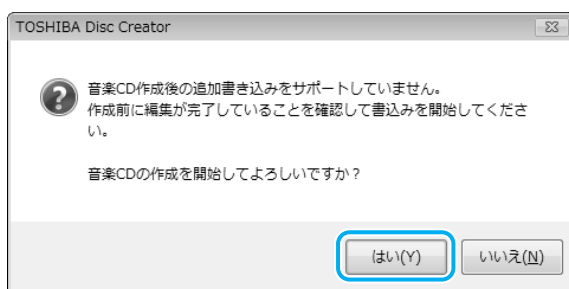
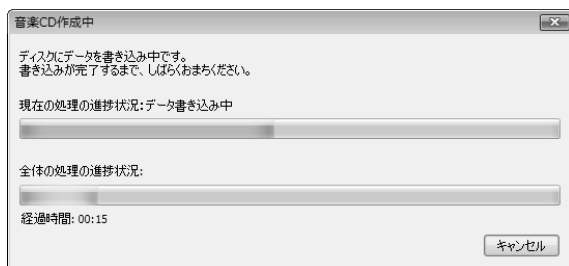
メモ

- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

CDに書き込む

7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

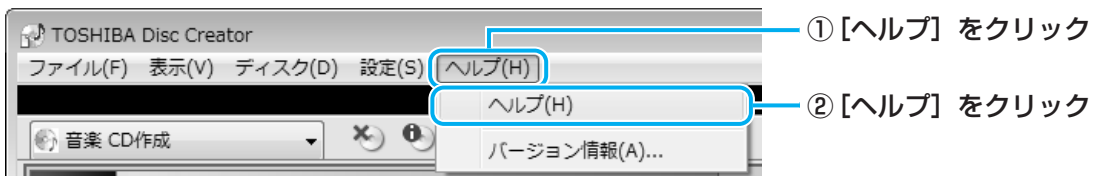
8 ［開始］ボタンをクリックする

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、自動的にドライブからディスクが半分くらい出てきます。

10 ［いいえ］ボタンをクリックする

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

「TOSHIBA Disc Creator」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

4 音楽や映像の環境を整える

本製品には、より良い状態でパソコンを楽しんでいただくために、画質や音質を調整する機能が用意されています。目的に合わせてご使用ください。

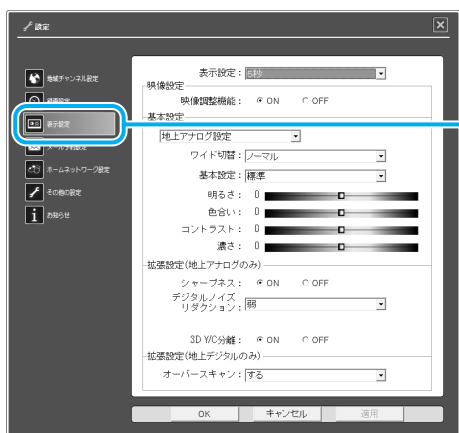
1 Qosmio AV Centerの映像を調整する

本製品には、Qosmio AV Center上でテレビを見たり録画映像を見たりする場合に、映像をより見やすく調整するための機能が用意されています。

1 起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

②リモコンの方向ボタンで［設定］を選択し、［決定］ボタンを押す

③タッチパッドまたはマウスで［表示設定］をクリック

（表示例）

画面は地デジ/アナログモデルの場合です。
そのほかのモデルでは、設定を変更できない項目があります。

2 各項目を、目的や好みに合わせて設定する

各項目の詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

1 状況に合わせて画質や音質、音量を調整する

本製品にはCD／DVDやテレビ、ビデオカメラの映像を再生するときなどに画質や音質を調整する機能が搭載されています。

- QosmioEngineで地上アナログ放送を高画質化処理する

参照 『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

＊地デジ/アナログモデルのみ

- 音楽CDを聴くときに、ドライブの動作音を小さくする

参照 《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

5 デジタルカメラの写真を見る

デジタルカメラで撮った写真などの画像を閲覧するには、「Corel Snapfire Plus SE（コーレル スナップファイアー プラス エスイー）」を使用します。スライドショー形式で見ることができたり、画像に情報を加えて管理しやすくすることもできます。

1 写真を見る

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの、画像を見る場合の手順について説明します。

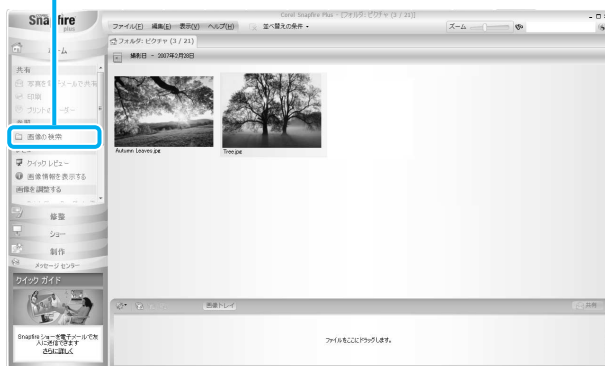
1 [スタート] ボタン（）→ [すべてのプログラム] → [Corel Snapfire Plus] → [Corel Snapfire Plus] をクリックする

「Corel Snapfire Plus」が起動します。

「Corel Snapfire Plus」では、すべての画像を一覧できるほか、フォルダ、撮影日、タグごとなどに分けて管理することができます。

2 画像が管理されているカテゴリを選択する

ここでは、パソコン本体に保存されているすべての画像を一覧表示します。

① [画像の検索] をクリックする

② [すべての画像] をクリックする

画像が表示されます。

3 目的の画像を拡大表示する

①目的の画像をダブルクリックする

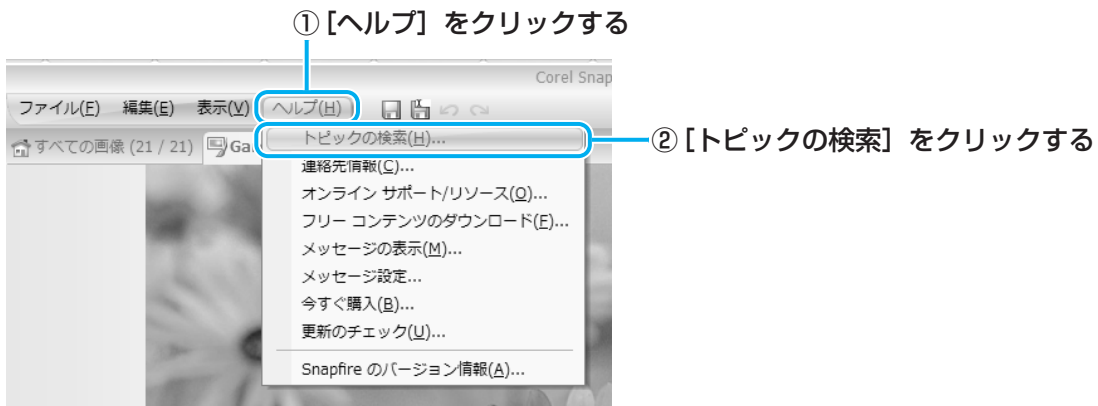
拡大表示画面に切り替わります。

続けて次の画像を拡大表示したい場合は、画面下部の［次の画像の選択］ボタン（▶）をクリックしてください。

 メモ

- 画像の表示や検索の他にも、画像の色や明るさなどを調整したり、トリミングすることができます。詳細はヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「Corel Snapfire Plus」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

「Corel Snapfire Plus ヘルプ」が起動します。

2 写真のデータをCD／DVDにコピーする

本製品に用意されている「TOSHIBA Disc Creator」を使用して、デジタルカメラで撮った写真のデータをCD／DVDにコピーすることができます。

参照 データをCD／DVDにコピーする
『準備しよう 4章 2 - 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

「Corel Snapfire Plus」のお問い合わせ先

◆コーレル テクニカルサポート

無料電話サポート　：初回お問合せ日から90日間のサポート
TEL　：0570-003-002　月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
10:00～17:00
無料メールサポート：専用のWEBメールフォームでのサポート
http://www.corel.jp/support/tech_mail.html
有料電話サポート　：下記のお客様に対して有料でのサポートを行っています。

・90日間の無料電話サポート期間終了後、引き続き電話でのサポートをご希望の場合
・無料電話サポート期間中、サポートセンターからの電話による時間指定でのサポートをご希望の場合

サポートに関する詳細は弊社サポートページをご覧いただくか、もしくはカスタマーセンターへお問い合せください。
http://www.corel.jp/support/

◆コーレル カスタマーセンター

(ご購入前のお問い合わせおよびサービスに関するお問い合わせ窓口)
TEL　：03-5977-3793　月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
10:00～17:00
コーレル ホームページ　：http://www.corel.jp/

6 エンターテイメントを楽しむ

「Windows Media Center」は、音楽を聴いたり、写真や映像を見たり、オンデマンドでゲームをしたりというような様々なエンターテイメント機能の入り口を1つまとめた機能です。

1 Windows Media Centerについて

メモ

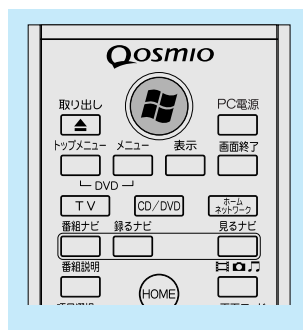
- 「Windows Media Center」を使用する前に、「付録 1-16 「Windows Media Center」の使用にあたって」をよくお読みください。
- 「Windows Media Center」の操作は、リモコンやQosmio AVコントローラを使うと便利です。
Qosmio AVコントローラの機能については、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》を参照してください。

1 起動方法

1 リモコンの［スタート］ボタンを押す

「Windows Media Center」が起動します。

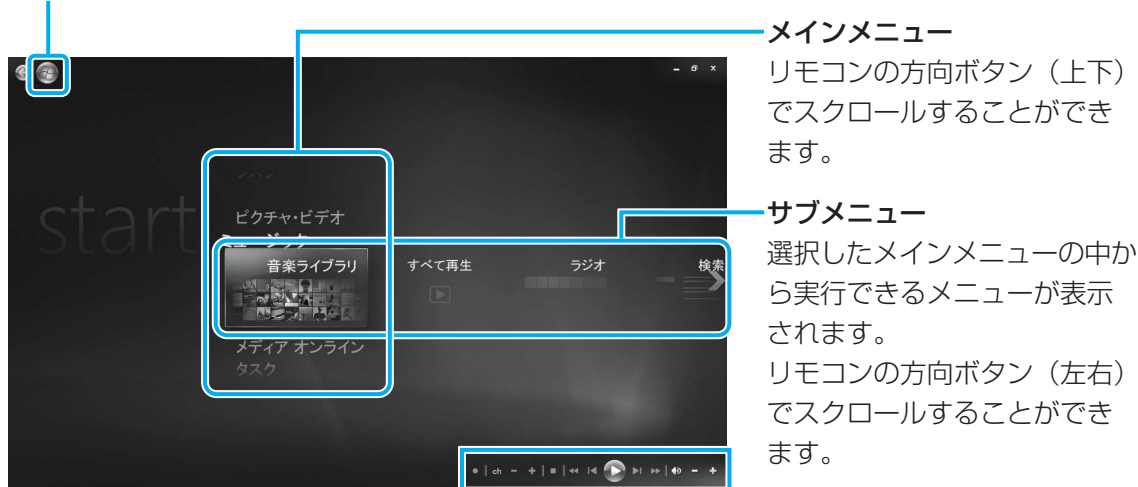
初めて起動したときは、［ようこそ］画面が表示されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。なお、後からセットアップを行うこともできます。
セットアップが終了すると、「Windows Media Center」のメインメニューが表示されます。

4章 もっと音楽と映像を楽しむ

2 Windows Media Centerの画面について

画面上部のボタン、トランスポートコントロールは、画面にポインタを合わせると表示されます。

クリックすると、［start］画面に戻ります。

メインメニュー
リモコンの方向ボタン（上下）でスクロールすることができます。

サブメニュー
選択したメインメニューの中から実行できるメニューが表示されます。
リモコンの方向ボタン（左右）でスクロールすることができます。

トランスポート コントロール

再生／一時停止、停止、前の項目に戻る、次の項目に進む、音量調整などが、リモコンと同じように操作できます。

メインメニューについて

メインメニューの項目は次のとおりです。

ピクチャ・ビデオ	フォルダに保存してある写真やデジタルビデオなどから取り込んだ映像を見ることができます。
ミュージック	音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを再生することができます。
メディア オンライン	「メディア オンライン」という専用サイトに用意されているプログラム（音楽・映画・ゲームなど）を利用することができます。
タスク	パソコンのシャットダウンやCD／DVDへの書き込みを行ったり、「Windows Media Center」の各種設定を行うことができます。

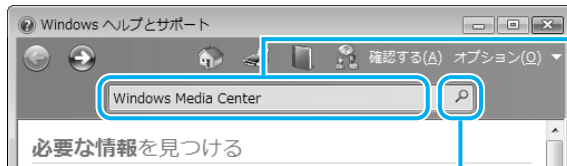
＊本製品では、「Windows Media Center」のテレビ機能はお使いになれません。

項目を選択するには、リモコンの方向ボタンを使用します。
選択した項目を実行するには、［決定］ボタンを押してください。
各項目のメイン画面が表示されます。
「Windows Media Center」についての詳細は『Windowsヘルプとサポート』を参照してください。

ヘルプの起動方法

「Windows Media Center」についての詳細は、『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。
起動方法は、次のとおりです。

1 [スタート]ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックする

2 知りたいことを検索する

①知りたい内容を入力する
ここでは例として「Windows Media Center」と入力します。

②［ヘルプの検索］をクリック

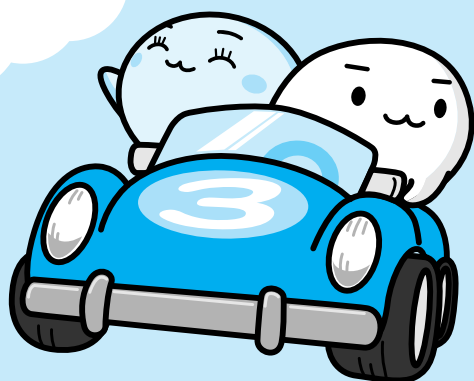
「Windows Media Center」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）
全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

付録

本製品を使用するにあたってのお願いと、アプリケーションの新バージョンの情報を取得する方法について説明しています。

1 ご使用にあたってのお願い

お願い　本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめてください。
- 放送チャンネルや番組によっては、音量オーバーすると音が割れたり、飛んだりすることがあります。必要に応じて調整してください。

2 テレビ視聴と録画について

- バッテリ駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ずACアダプタを接続して、使用してください。また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。

参照 省電力機能について《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

- 録画中や再生中にパソコン本体に振動や衝撃を加えると、映像がとぎれたり、停止したりしてしまうことがあります。
- ビデオデッキなどの映像を取り込んだとき、「垂直帰線区間（VBLANK）」と呼ばれるノイズも同時に取り込まれ、画面上部、または下部にノイズがのることがあります。これは、信号の同期をとるためにNTSCなどアナログテレビの映像信号の先頭に付与されているもので取り除くことができませんので、ご了承ください。
- ビデオデッキでビデオテープを再生して本製品に入力する場合、古いテープなどノイズが多いテープを使用すると、コピープロテクト機能が働いて正常に動作しない場合があります。
- 地上アナログ放送／地上デジタル放送のチャンネルを切り替えるときは、1秒以上の間隔を空けて操作してください。

3 TVチューナに関するご注意

- 本製品のTVチューナはステレオ、音声多重対応です。CS放送、BS放送のチャンネルは受信できません。
- CATV番組の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった番組（有料放送など）の視聴・録画にはホームターミナル（アダプタ）が必要になる場合があります。詳しくは、ホームターミナルに添付の説明書をご覧になるか、各CATV会社にお問い合わせください。
- 著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、アナログTVまたは外部入力からの番組に関しては、録画1回のみ可能なものも、パソコンでの視聴や録画はできません。
- 日本国外ではご使用になれません。日本国内でご使用ください。
- 本製品に搭載されているTVチューナは仕様上、韓国への持ち込みと使用は韓国の法令により禁止されています。

4 B-CASカードについて

B-CASカードを取り扱うときは、次の点を守ってください。

- カード裏面の金メッキ端子部分に手を触れないこと。
- カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりしないこと。

5 テレビアンテナの接続について

- ご家庭のアンテナ入力端子に接続するアンテナケーブルは、本製品に付属していません。ご家庭のアンテナ入力端子の形状にあった、ストレート型プラグの付いたアンテナケーブル（市販）をお買い求めいただき、ご準備ください。

6 リモコンの操作にあたって

- リモコンは本製品専用です。
- アプリケーションの中には、リモコン操作に対応していないものもあります。

7 地上アナログ放送のチャンネル設定について

- 地上デジタル放送開始にともない、地上アナログ放送の放送局のチャンネル変更があった場合は、手動で該当放送局名の受信チャンネルを変更してください。
- うまく受信できないときは、近隣の番号もお試しください。
- CATVなどによる難視聴対策を行っている地域では、［地上アナログ放送設定］画面で設定できる「地域/都市」を選択しても、うまく受信できない場合があります。
  UHFチャンネル（『地域名と東芝チャンネルコード一覧』の受信CHの欄が、13以上の数字が記入されているチャンネル）だけが映らない場合は、難視聴対策地域であることが考えられます。その場合は手動でチャンネルを設定してください。手動で設定する場合は、受信CHを1～12の間で変更して受信内容を確認するか、お使いのビデオまたはビデオデッキなどの設定を参考にして設定してください。
- マンションなどでCATV局から地上放送局を受信している場合、お住まいの環境で提供されている受信CH番組を確認のうえ、チャンネル設定（変更）からチャンネル別に受信CHを設定する必要があります。また、有料放送については、「Qosmio AV Center」では受信できません。外部入力で録画を行う必要があります。

8 地上デジタル放送の録画について

- 地上デジタル放送の番組は、パソコン本体の内蔵ハードディスクに録画できます。
  DVDメディア等へ直接書き込むことはできません。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは、録画したパソコンで「Qosmio AV Center」を使用した場合のみ再生できます。他の録画／再生機器や外付けHDD、パソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません（CPRM対応のDVD-RAMにDVD-VR形式で移動することはできます）。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは、「Qosmio AV Center」のムーブ機能でデータを移動する場合を除き、バックアップをとることはできません。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは編集できません。

9 「Qosmio AV Center」の使用にあたって

＊地上アナログ放送、外部入力、お好み再生、追っかけ再生に関する内容は、地デジ/アナログモデルのみ。

大切なお知らせ

■「Qosmio AV Center」ご利用にあたって

- 本製品では、セキュリティ保護などの性能向上のため、緊急にソフトウェアの更新を必要とすることがあります。その場合には、ソフトウェアのアップデートをお知らせするメッセージが表示されますので、表示にしたがってソフトウェアをダウンロードしてインストールを行ってください。メッセージに表示されている使用期限を過ぎると、ソフトウェアは使用できなくなりますので、期限までに新しいソフトウェアをダウンロードして、インストールしてください。なお、ソフトウェアをダウンロードするには、インターネットへの接続環境が必要です。
- 「Qosmio AV Center」で録画したテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 必ずACアダプタを接続してご使用ください。バッテリ駆動で使用すると、バッテリの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。

■著作権に関する注意事項

- 外部入力機器からコピープロテクトがかかった映像を録画すると録画データの映像が単色に塗りつぶされます。

■ホームネットワーク機能について

- ホームネットワーク対応機器には、コンテンツを送り出すサーバ機器（デジタルメディアサーバ）と、コンテンツを再生するプレーヤ機器（デジタルメディアプレーヤ）があります。
- ホームネットワーク機能でつながっているサーバ上にあるデジタル放送で著作権保護された番組のタイトルは再生できません。また、地上デジタル放送で著作権保護された番組を本製品から送り出すことはできません。
- コンテンツによっては他のホームネットワーク対応製品とは互換性がない可能性もあります。

使用上のお願い

■大切な録画・録音・編集について

- すべての動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 録画を予約した番組にコピープロテクトなどの録画制限があると予約録画が実行できない場合があります。録画予約の際には、録画制限がないことをお確かめください。

■Windowsの自動更新について

- Windowsの自動更新で、［更新プログラムを自動的にインストールする（推奨）］を選択している場合、スケジュールされた更新の時刻に新しい更新プログラムがインストールされます。更新プログラムの内容によっては、コンピュータが再起動されますが、「Qosmio AV Center」で、録画や予約録画、地上デジタル放送の録画データをDVDへ移動している場合は、「Qosmio AV Center」が強制終了されてしまうため、録画や予約録画、DVDへの移動に失敗することがあります。

「Qosmio AV Center」で録画や予約録画、DVDへの移動を行う場合には、あらかじめ自動更新によるコンピュータの再起動が行われないように、自動更新の［新しい更新プログラムのインストール］の設定時刻を変更してください。
Windowsの自動更新の設定は、［コントロールパネル］→［セキュリティ］→［Windows Update］→［設定の変更］で行います。

■「Qosmio AV Center」全般に関すること

⚠警告

- **パソコン本体を航空機に持ち込む場合には、録画予約などの設定を解除すること**
  航空機内でパソコンが自動的に起動し、計器に影響を与える場合があります。
  次の説明に従って、録画予約などの設定を解除してから、航空機へ持ち込んでください。
  「Qosmio AV Center」は、以下の場合、パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態でも自動的に起動します。航空機等へパソコンを持ち込む場合は、必ず設定内容をご確認ください。
  - 予約録画実行時
    「録るナビ」で、録画予約が登録されている場合は、「予約詳細」画面の「実行」を「しない」に変更してください。なお、本確認後にメール予約を行う場合は、録画の開始時刻に十分ご注意ください。
  - 地上デジタル放送の電子番組表の情報取得時
    「設定」「その他の設定」画面で、地上デジタル設定の「電子番組表の定期取得」を「しない」に変更する。
  - メール予約のためのメール取得時
    「設定」の「メール予約設定」画面で、「メール予約」を「OFF」にしてください。

- 初めて「Qosmio AV Center」を起動したときは、地上デジタル放送の初期化処理を行うため、「Qosmio AV Center」の画面が表示されるまでに数分かかります（時間がかかる旨をお知らせするメッセージが表示されます）。「初期設定が完了しました」というメッセージが表示されましたら、内容を確認して［OK］ボタンをクリックしてください。
- 他のアプリケーションが動作していると、音が飛んだり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- 電子番組表（地上アナログ放送の場合）、おすすめサービス、ホットワードリンク、メール予約、ホームネットワーク機能については、インターネットまたはホームネットワークへのアクセスを行います。Windows Vistaのファイアウォール機能や「ウイルスバスター」などのファイアウォールソフトをお使いの場合は、アプリケーション（Qosmio AV Center）の通信を許可する設定にしてください。
- ホーム画面から他のアプリケーションを起動する際や、ホームネットワーク設定ツールの起動時、「Qosmio AV Center」のアンインストール／インストール時などに、［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始されようとしている操作またはプログラムの名前が、開始しようとしたものであることを確認してください。
  管理者アカウントでお使いの場合は、［続行］をクリックしてください。管理者アカウントのパスワードの入力を要求された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。

- テレビ視聴や録画ファイル・映像ファイルの再生を「テレビ視聴」画面（全画面表示）で行っているときは、「テレビ視聴」画面が最前面に表示されるため、ヘルプやホットワードリンクの画面を表示することはできません。
- リモコンやフロントオペレーションパネルの［TV］ボタン、［CD/DVD］ボタンを押して起動したアプリケーションが最前面に表示されない場合は、デスクトップ画面下にあるタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンか、アプリケーションのウィンドウのタイトル付近に、タッチパッドまたはマウスのポインタを合わせてクリックし、アクティブ表示にしてください。
- リモコンやフロントオペレーションパネルの［TV］ボタン、［CD/DVD］ボタンを押してパソコンを起動後に、［ロックしています］画面のまま一定時間が過ぎてからログオンすると、「Qosmio AV Center」などからメッセージが表示される場合があります。その場合は、メッセージ画面を閉じると、「Qosmio AV Center」をご使用になれます。
- 「Qosmio AV Center」の画面を外部ディスプレイやテレビに出力させた場合、出力先で正しく表示されない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」はMicrosoft SQL Server 2005プログラムを使用しています。このプログラムをアンインストールしたり､関連するサービスを停止したりしないでください。
- 「Qosmio AV Center」は、以下のプログラムを使用しています。これらのサービスは停止しないでください。
  ・MSSQL$QOSMIOAVCENTER30 (SQL Server(QOSMIOAVCENTER30))、
  TAVScheduler(Qosmio AV Center Scheduler Servise)、
  TAVComplementService（Qosmio AV Center Complement Service）
- ホーム画面の［CD/DVD］、［音楽を聴く］、［AVコンテンツの活用］メニューを実行して、対応するアプリケーションを起動すると、「Qosmio AV Center」は終了します。
  次の場合は、ホーム画面でこれらのメニューを実行しても、対応するアプリケーションは起動されません。
  ・「Qosmio AV Center」で録画中および録画準備中
  ・地上デジタル放送で録画したデータをDVDへ移動中
- ウィンドウの色とデザインの設定（配色）は、Windows Aeroをご使用ください（購入時はWindows Aeroに設定されています）。その他の配色を設定した場合は、地上アナログ放送のテレビ視聴および録画ファイルの再生時に映像品質が劣化します。配色やWindows Aeroについては、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください＊1。
- 「Qosmio AV Center」は、地上デジタル放送の視聴／録画ファイル再生の開始時にWindows Aeroの設定をオフに変更し、視聴／再生の終了時にオンに戻します。このため、地上アナログ放送と地上デジタル放送の切替えを行うと、切替えに時間がかかったり、デスクトップが表示される場合があります＊1。
- 「Qosmio AV Center」は、地上デジタル放送の視聴／録画ファイル再生の開始時にWindows Aeroの設定をオフに変更します。「Qosmio AV Center」終了後は、起動前の状態に戻ります。Windows Aeroについては、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください＊2。
- 「DVD MovieWriter」でテレビを使用している場合は、「Qosmio AV Center」で地上アナログ放送の番組をご覧になることはできません。

付録

- 「DVD MovieWriter」など、地上アナログTVチューナを使用する他のアプリケーションでテレビを使用している場合は、「Qosmio AV Center」で地上アナログ放送の番組の録画や予約録画を行うことはできません。録画を行うときは「Qosmio AV Center」を起動する前に、予約録画を行うときは録画開始時刻の10分前までに、予約録画開始のメッセージが表示された場合はすみやかに、地上アナログTVチューナを使用する他のアプリケーションを終了させてください。
- 「DVD MovieWriter」でアナログTVチューナを使用中に「Qosmio AV Center」を起動すると、チャンネルなどアナログTVチューナの設定が、「Qosmio AV Center」の設定内容に変更されます。また「Qosmio AV Center」でアナログTVチューナを使用中に「DVD MovieWriter」を起動しキャプチャを選択した場合は、「DVD MovieWriter」の設定内容に変更されます。
  録画中などアナログTVチューナを用いて大切なデータを保存している間は、アナログTVチューナを使用する他のアプリケーションを起動しないでください。
- 「Qosmio AV Center」の起動中は、PRTSCキーによる画面のコピー機能が無効になります。
- CPU使用率やメモリ使用量、ハードディスクへのアクセス頻度が高い状態で録画や再生を行うと、録画したデータがコマ落ちしたり、再生画面がコマ落ちすることがあります。コマ落ちした映像データを修復することはできません。録画中や再生中は他のアプリケーションを使用しないようにするなど、負荷が高くならないようご配慮ください。

＊1：地デジ/アナログモデルの場合
＊2：地デジモデルの場合

■テレビの視聴と録画に関する注意事項

- テレビアンテナを正しく接続していないと、地上デジタル放送／地上アナログ放送ともに視聴／録画することはできません。詳しくは、「1章 3 テレビアンテナを接続する」をご覧ください。
- アンテナケーブルを接続する順番や組み合わせによっては、電波が弱くなり、映像がちらついたり、画像のコマ落ちが著しく発生するなど、きれいに映らなかったりすることがあります。このようなときには、市販のアンテナブースタを接続してください。
- ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードなど、電源投入時にパスワードを要求する環境下ではスリープからの予約録画が実行されません。
- 録画予約を設定する場合は、録画したデータの保存先（ハードディスク）の容量など、録画可能時間を確認してください。
- ハードディスクに録画用の空き容量がない場合はエラーメッセージが表示され、録画は開始されません。
- 「見るナビ」に登録できる動画ファイル数は、最大で「地上デジタル放送の録画ファイル200件」「地上アナログ放送の録画ファイルと取り込んだ映像ファイルの合計　400件」です。最大件数登録されている場合は、録画できません。
- 録画予約を行う場合は、必ずパソコン本体の時計（日付と時刻）が正しく設定されていることを確認してください。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」でテレビを視聴する、あるいは録画をするなどの動作中に、画面解像度や色数の設定変更は行わないでください。
- 地上アナログ放送の番組を録画する際、設定したビットレートによる圧縮を行うため、直接映像を視聴する場合と比べて映像が劣化する場合があります。

- 録画予約する際、録画時刻の重複する予約録画を実行すると、録画開始時刻が優先されます。録画時刻が重複していると、番組が最後まで終了していなくても、次の予約録画の開始30秒前になると、今録画している番組の録画を終了し、次の録画を開始します。
なお、「録画開始時刻」が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。また、地上アナログ放送の番組と地上デジタル放送の番組の予約録画時刻が重複していても、両方の番組を同時に録画できます。
- 「Qosmio AV Center」は予約録画実行時にパソコンが起動していない状態やログオフ状態でも、自動的に録画を開始します。ただし、パソコンの起動時にログオン画面やようこそ画面を表示する設定にしているときは、「Qosmio AV Center」の設定画面でログオン設定の「アカウント名」と「パスワード」を登録しておかないと予約録画が実行されません。
- 録画中および録画準備中は、「Qosmio AV Center」を終了することはできません。
「Qosmio AV Center」を終了させる場合には、録画を停止または録画予約をキャンセルしてから終了してください。また、録画中および録画準備中にWindowsの終了を行わないでください。
- 視聴中や再生中にスリープ／休止状態に移行した場合は、「Qosmio AV Center」は終了します。
- 録画中、録画準備中、追っかけ再生中、お好み再生中にスリープにした場合、退席中モードに移行して録画を継続します（退席中モードでは、画面表示や音声出力がオフの状態になります）。ただし、バッテリ駆動時にスリープにした場合は、録画を停止し「Qosmio AV Center」が終了してからスリープに移行します。休止状態にした場合は、録画を停止し「Qosmio AV Center」が終了してから、休止状態に移行します（パソコン本体の電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに休止状態にする設定にしている場合も同様です）。
これらの操作を行った場合は、録画が中断されたり録画が実行されない場合がありますので、ご注意ください。録画中、録画準備中、追っかけ再生中、お好み再生中は、バッテリ駆動にしたり、休止状態に移行したりしないでください。休止状態にしたい場合は、録画を停止するか録画予約をキャンセルし、「Qosmio AV Center」を終了してから、休止状態にしてください。
- スリープへの移行時間（[コントロールパネル] → [システムとメンテナンス] → [電源オプション] →利用する電源プランを選択し [プラン設定の変更] をクリック→ [コンピュータをスリープ状態にする]）を購入時の設定から変更する場合は、「なし」または10分以上に設定してください。
これより短い時間に設定した場合は、「Qosmio AV Center」のモジュールが起動する前にスリープに移行してしまい、「Qosmio AV Center」が正しく動作しない場合があります。
- 再生するコンテンツによっては「早戻し」や「早送り」、「スロー再生」などの再生が正しくできない場合があります（タイムスタンプが不連続なものや、ネットワークのコンテンツなど）。
- 録画予約が入っているときにチャンネルの設定を変更すると、正常に録画できなくなるおそれがあります。
- 録画中にウイルス対策ソフトの予約検索が実行されると、正常に録画できないことがあります。録画や予約録画中に予約検索が実行されないよう、ウイルス対策ソフトの設定時刻などをご確認ください。

■地上デジタル放送全般と設定に関する注意事項

- 付属のB-CASカードを正しく装着していないと、地上デジタル放送を視聴／録画することはできません。詳しくは、「1章 2 B-CASカードをセットする」をご覧ください。
- お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアでない場合、もしくは、受信可能エリアであっても電波が弱い場合や受信状態が悪い場合は、地上デジタル放送を視聴できない場合があります。詳しくは、「1章 5 - 1 - 地上デジタル放送が受信できなかった場合」をご覧ください。
- 周波数に変更があった場合は、チャンネルスキャン（再スキャン）が必要です。詳しくは「Qosmio AV Center」のヘルプをご覧ください。
- イベントリレー*1には対応していません。
- マルチビュー番組*2には対応していません。
- デジタルラジオ放送には対応していません（地上デジタル放送では、ラジオ放送は行われておりません）。
- ワンセグ（携帯電話・移動体端末向けのサービス）には対応していません。
- 緊急警報放送*3には対応していません。
- 臨時サービス*4には対応していません。
- 放送局によっては、データ放送を行っていない場合があります。
- データ放送表示中のキー操作は、番組によって異なる場合があります。
- データ放送の印刷には対応していません。
- 電話回線を使ったデータ放送の双方向サービスには対応していません。LAN、もしくはダイヤルアップによるインターネット接続にて対応しています。
- データ放送で双方向通信を行う場合、番組によってはルート証明書が必要になる場合があり、証明書のダウンロードが自動的に行われます。このとき、ポップアップメッセージが表示され音がします。
- データ放送で早押しゲームなどを行う場合、素早いボタン操作が要求されるコンテンツでは、お客様の意図した操作が行えず、意図したボタン操作とゲームなどの結果が合わないことがあります。
- データ放送で音声ファイルの再生を行うようなコンテンツがある場合、その音声ファイルの再生ができない場合があります。
- 地上デジタル放送の全画面表示に切替えを行うと、画面左上に正方形が数秒間表示され、その後、地上デジタル放送の映像に切り替わることがあります。
- TOSHIBA DVD PLAYERなどの他のアプリケーションでビデオ機能を使用している場合は、地上デジタル放送を視聴／再生できない場合があります。他のアプリケーションでビデオ機能を使用していないか確認してください。

＊1：高校野球中継のように、番組の途中でその続きを別のチャンネルで継続して放送する場合に、自動的にチャンネルを切り替えて視聴を継続する機能。
＊2：同一チャンネルの放送波に複数の映像／音声が流され、放送局が意図する映像音声の組み合わせ単位で切替えができる番組。
＊3：災害時の放送。緊急時に、放送中の番組を中断して放送される。
＊4：通常の編成チャンネルとは別のチャンネルにおいて、臨時に放送される番組。

■地上デジタル放送の視聴と録画に関する注意事項

- 放送休止状態もしくは番組情報が正常に取得できない場合は、地上デジタル放送を視聴／録画できない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」で録画した地上デジタル放送の番組は、録画を行ったパソコンでのみ再生可能です。他の機種にファイルをコピーしても再生することはできません。
- タイムスリップ機能には対応していません。
- 9時間以上の連続録画はできません。
- 録画されたデータ放送は、番組によっては無意味な場合があります（クイズやアンケートの回答などリアルタイム性の要求される内容の場合）。
- 予約録画準備中（録画開始時刻の約30秒前から録画開始までの間）は、「Qosmio AV Center」を終了したり、予約録画をキャンセルしたりすることはできません。
- 5.1chサラウンド放送の音声は、2chに変換されて出力されます。
- AVアンプ等に対して、音声ストリームをAACのコーデックのまま出力を行うことはできません。5.1ch音声は2chに変換されてPCMで出力されます。
- 地上デジタル放送の番組や録画ファイルを、テレビや外部ディスプレイに出力する場合、出力可能な端子は番組によって異なります。また、番組によっては出力できない場合があります。
- 地上デジタル放送の番組や録画ファイルをテレビなどの外部機器に出力する場合、外部機器とパソコン本体のディスプレイの解像度が異なる場合は、画像の出力先を切り替えると正しく表示されないことがあります。
- パソコンがスリープ／休止状態のとき、リモコンやフロントオペレーションパネルの［TV］ボタンから地上デジタル放送の視聴を開始すると、「TV視聴できない状態にあります。アプリケーションを終了してディスプレイの設定を確認してください。」とメッセージが表示されることがあります。この場合は、「Qosmio AV Center」をいったん終了した後、再度起動してください。
  ただし、外部映像出力しているときは、「Qosmio AV Center」を終了・起動してもメッセージが表示されますので、ディスプレイの設定を確認してください。詳細は「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。
- 録画や予約録画を行う際、録画開始時に放送が休止されていた場合や、放送波の受信レベルが低い場合、テレビアンテナが抜けていた場合は、正常に録画できないことがあります。また、録画や予約録画の開始後に、テレビアンテナが抜けたときや、電波状況の悪化により放送波を受信できなかった場合は、受信できなかった部分は静止画（音声なし）で録画されます。また、「見るナビ」に表示される録画時間が予定されていた時間より短くなることがあります。地上デジタル放送の録画や予約録画を行う場合は、地上デジタル放送を受信できていること、テレビアンテナが正しく接続されていることを確認してください。
- 複雑なデータ放送を表示しているときは、映像がコマ落ちしたり乱れる場合があります。そのような場合は、データ放送を非表示にしてご覧ください。

■「データ放送」について

- 複雑なデータ放送を表示しているときは、映像がコマ落ちしたり乱れる場合があります。そのような場合は、データ放送を非表示にしてご覧ください。

■「ながら見モード」について

- 「ながら見モード」でテレビを視聴しているときに他のアプリケーションが動作していると、音が飛んだり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。

電子番組表利用時の注意事項

▼ 地デジ/アナログモデルのみ

■地上アナログ放送の「番組ナビ」ご利用に関する注意事項

- 「番組ナビ」で地上アナログ放送の番組表を利用するには、インターネット常時接続が必要です。
- 番組表の内容は突発的な事件や緊急番組、スポーツ中継の延長などによって時間の変更や延期・放送中止、内容が変更になる場合があり、正しく録画できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 「Qosmio AV Center」は「番組ナビ」に番組内容を表示する機能を提供するもので、表示する内容に関しての責任は一切とることはできません。
- 番組表は、あるタイミングで自動的にサーバからダウンロードしたときに更新されるため、リアルタイムに番組情報を更新することはできません。
- 番組説明やキーワード検索は、番組表に表示される結果と異なる場合があります。
- 番組表などに利用するチャンネル設定については、地域や住居の放送事情によって固有の設定が必要となります。他地域のチャンネル受信、CATVの影響で受信チャンネルが変更となる場合やすでに変更済みの場合など、番組ナビ設定の変更と表示・動作内容の確認が必要となります。
- 「番組ナビ」などのネットワークサービスを前提とするデータの提供は、その継続を永久保証するものではなく、予告なく終了される場合があります。
- 「番組ナビ」ご利用時は、サーバにアクセスしてデータを取得します。サーバ側では、お使いの機器で設定されたチャンネルやキーワードに基づき、番組名、番組情報などの番組データを機器に送信し、番組ナビ内の表示を行い、サーバ側にはアクセスログとして履歴が蓄積されますが、個人を特定することはありません。
- サーバ側で取得した情報は、お客様のさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。情報の取り扱いについては、東芝個人情報保護方針（http://www.toshiba.co.jp/privacy/）をご覧ください。
- 番組情報サーバから取得して表示する「番組名」「番組説明」は可能な限りすべてを表示する仕様ですが、取得後に本体に保存された文字数や表示領域の関係で表示できる範囲が異なります。
- 「番組ナビ」（地上アナログ）で表示できるのは地上アナログ放送の番組表のみです。
- 番組表を取得できるチャンネル数は最大32です。
- 東芝チャンネルコードが正しく設定されていないと、電子番組表は取得できません。
- 電子番組表に過去の番組は表示されません。
- 「スキップ」に設定されているチャンネルの番組は表示できません。
- パソコンの時計（日付と時刻）を正しく設定していないと、番組表は取得できません。

▲ 地デジ/アナログモデルのみ

■地上デジタル放送の「番組ナビ」ご利用に関する注意事項

- 地上デジタル放送の電子番組表は、放送波のみ対応しています。インターネットなどで提供される番組表には対応していません。
- 電子番組表の情報取得の設定時刻は、購入時の設定で午前0時20分です。パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態の場合でも、パソコンが自動的に起動し、音が鳴ります。購入時の設定時刻は、最新の情報を取得できる時間帯です。ご利用状況に合わせて設定時刻を変更してください。
- パソコンの時計（日付と時刻）と放送波の時計が大きくずれていると、予約録画に失敗することがあります。「設定」の「その他の設定」画面の「システム時刻設定」を「地上デジタル放送波で調整する」に設定しておくことをおすすめします。
- 地上デジタル放送の場合、番組についての情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中に入って送られてきます。「Qosmio AV Center」は、その番組情報を取得して、番組表表示やジャンル検索、録画予約などに利用します。そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されない場合があります。
- 臨時サービス、エンジニアリングダウンロードサービス、部分受信サービスなどは番組表に表示されません。
- 番組表で表示できるのは最大7日後までですが、放送局やチャンネルによって異なる場合があります。これは、電子番組表の情報取得時刻に、地上デジタル放送のテレビ視聴や予約録画で「Qosmio AV Center」が動作していると、番組表のデータが取得できないことがあるためです。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の情報が実際の番組と異なってしまうことがあります。

付録

■iNETご利用時の制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 「Qosmio AV Center」の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信エラーが発生する場合があります。
- プロバイダ（インターネット接続業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください（携帯電話によるメール予約の送受信費用も含む）。
  なお、プロバイダ指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に10BASE-Tまたは100BASE-TXのLANポートがない場合は、接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約借款などによって、「Qosmio AV Center」をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります（契約が1台に制限される場合、すでに接続されている別のパソコンがあると、「Qosmio AV Center」搭載のパソコンを2台目として接続することが認められないことがあります）。
- プロバイダによってはルータの使用を禁止、あるいは制限している場合があります。
- ネットワークの通信状況によっては、番組情報が更新あるいは取得できない場合があります。

- 番組データは以下の場合に、一度空の状態になります。次回番組表や番組リストを表示するときにデータを取得し、再表示ができます（再表示できるまで数分かかります。待ち時間は環境によって異なります）。
  ・「番組ナビ」に表示する「表示チャンネル」を追加／変更した場合
  ・「番組ナビ」でチャンネルの表示順序を変更した場合
  ・パソコンの時計（日付と時刻）を変更した場合
  ・「地域・チャンネル設定」で地域設定を変更した場合
  ・「Qosmio AV Center」を再インストールした場合

▼ 地デジ/アナログモデルのみ

■地上アナログ放送の電子番組表を利用するにあたって

- iNETを利用する場合は、インターネットに常時接続する環境が必要です。あらかじめ、インターネット接続の環境をお客様自身でご用意ください。
- インターネット接続環境の中でご使用になっているルータのDHCP機能がうまく働かない場合（その場合、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバのIPアドレスが取得できずにエラーになります。）は、ルータのメーカにお問い合わせください。
- インターネット接続ファイアウォールやセキュリティソフトが制限をかけていると、電子番組表のダウンロードがうまくできない（失敗する）ことがあります。この場合は、「Qosmio AC Center」のヘルプを参照して、ファイアウォールやセキュリティソフトの設定を変更してください。
- お客様がインターネット接続するためにプロキシサーバを使用する場合は、プロキシサーバの設定も必要となります。
- インターネットに接続するための通信料やプロバイダ料金はお客様の負担となります。
- パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態の場合、およびログオフ状態の場合は、電子番組表をダウンロード（更新）することはできません。

▲ 地デジ/アナログモデルのみ

■地上デジタル放送の電子番組表を利用するにあたって

- 「設定」の「その他の設定」画面で地上デジタル設定の「電子番組表の定期取得」が「する」に設定されている場合は、「電子番組表の取得開始時刻」で設定された時刻に、番組表のデータ取得（ダウンロード）を開始します。パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態でも、自動的に起動してデータを取得します。
  パソコンを自動的に起動させたくない場合は、「電子番組表の定期取得」を「しない」に設定してください。「しない」に設定した場合、定期的なデータ取得は行われませんが、地上デジタル放送の放送波からデータを取得可能です。
- 電子番組表の全データを取得するために最大で2時間程度かかることがあります。
  電子番組表のデータは、地上デジタル放送の電波が受信できれば自動更新されますが、地上デジタル放送を視聴中または録画中は、視聴／録画しているチャンネル以外のデータを取得できないことがあります。また、「設定」の「その他の設定」画面で「電子番組表の定期取得」が「する」に設定されている場合は、電子番組表の情報取得開始時刻に、地上デジタル放送のテレビ視聴や予約録画で「Qosmio AV Center」が動作していると、番組表のデータが取得できないことがあります。

電子番組表の全データを取得したい場合や、電子番組表の情報取得開始時刻に「Qosmio AV Center」を起動している場合は、地上デジタル放送のテレビ視聴や録画を行わない状態（ホーム画面、地上アナログ放送の視聴／録画、ビデオ再生、写真表示、音楽再生など）で、2時間程度お待ちください。

- 電子番組表の情報取得の設定時刻には、必ずテレビアンテナを接続しておいてください。テレビアンテナが抜けた場合など、放送波の受信レベルが低い場合は、電子番組表を更新できないため、予約録画が正しく行えないことがあります。

■電子番組表から録画予約する

- 予約録画を行うときは、パソコンの時計（日付と時刻）を正しく設定してください。
  また、録画予約の実行中に、パソコンの時計を変更しないでください。

■おすすめサービスに関する注意事項

- 本サービスをご利用になるには、インターネットの常時接続環境が必要です。
- 本サービスをご利用になるには、iNET電子番組表をご利用いただく必要があります。
- 本サービスでは地上アナログ放送番組がおすすめ表示の対象となります（2007年4月現在）。
- 「おすすめサービス」の画面から地上デジタル放送の番組を録画予約する場合、「おすすめサービス」の画面に表示されている番組の放送時間をもとに、地上デジタル放送の電子番組表を検索します。そのため、番組情報を取得できなかったり同一の番組が取得できない場合があります。
- 本サービスは、iNET電子番組表を利用されているお客さまが予約、録画された番組名や番組説明情報（地上アナログ放送、地上デジタル放送とも）などを集計し、毎日更新される全国の予約ランキング情報や、お客さまの好みに合わせた推薦番組の情報を、サーバで集計のうえ、お使いの録画機器に配信するものです。
  なお、集計および番組の推薦は、サーバへのアクセス数、およびソフトウェアが生成した機器固有のID番号のみから行いますので、本サービスのご利用により、お客さまのお名前等、個人情報が特定されることはありません。これらの情報は、お客さまのさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。
- 本サービスメニューは予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本サービスは、お客さまへの予告無く一時停止したり、終了する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 「予約ランキング」は本サービス設定の後、iNET電子番組表更新後に表示されます。
- 「あなたのおすすめ」「みんなからのおすすめ」は利用設定後に録画予約、録画を行うと、数日程度でiNET電子番組表更新後に表示されるようになります。
- お客さまのおすすめサービス情報をリセットするには「おすすめ設定」の「おすすめサービス」を「利用しない」に設定してください。
  情報をリセット後、改めてサービスの利用を開始するには、再び「おすすめ設定」の「おすすめサービス」を「利用する」に設定し、録画予約、録画を行ってください。数日程度で「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」が表示されるようになります。
- 本サービスを2カ月以上ご利用されなかった場合、お客さまのおすすめサービス情報は自動的にリセットされ「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」は表示されません。
- 「Qosmio AV Center」をアンインストールした場合、お客さまのおすすめサービス情報は自動的にリセットされ、お客さまの好みに合わせた「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」は表示されません。

- チャンネル設定で選択した地域によって、表示される番組が異なります（その地域で視聴可能な番組を表示するためです）。
- 本パソコンの録画や予約状況によっては、番組リストに番組が表示されない場合や、表示されるまで数日かかる場合があります。
- 本サービスはインターネットを介してデータの取得を行います。ネットワークの通信状況によっては、最新データを取得できない場合があります。その場合は、メッセージが表示され定期的に取得したデータを表示します。最新データを取得できないことが多い場合は、「設定」の「その他の設定」画面で「おすすめデータ取得設定」を「定期的に取得したデータを表示」に変更してください。
- おすすめサービスの設定を「利用する」から「利用しない」に変更した場合、サービスご利用時に蓄積された番組の嗜好情報などのデータは削除されます。再度「利用する」に設定した際に、以前にご利用時のデータはおすすめ番組の結果に反映されません。

■地上デジタル放送の録画ファイルのDVD移動に関する注意事項

- CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応したDVD-RAMにのみ、移動（ムーブ）ができます。
- 本機能は、ハードディスクに保存されている地上デジタル放送録画データ（以下、録画データ）をDVD-RAM（CPRM対応）へ移動する機能です。
  DVD-RAMへの移動を開始した時点で、移動対象となったハードディスク内の録画データは消去されます。また、1度DVD-RAMへ移動した録画データは、他のDVD-RAMへのコピーやハードディスクに戻すなど、更にコピー、移動することはできません。
- ハードディスク内のハイビジョン（HD）の録画データは、通常（SD）の画質に変換されてDVD-RAMに移動されます。
- 録画データ中のサラウンド音声はステレオ音声に変換されてDVD-RAMに移動されます。
- 録画データ中の番組情報・出演者情報等やデータ放送のデータ、字幕および文字スーパーは、DVD-RAMには移動されません。
- 録画データのDVD-RAMへの移動処理には、長時間かかります（録画データの長さの2倍程度）。（例：1時間の録画データの移動に、2時間程度かかります。）
- 必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続した状態で行ってください。本機能をバッテリ駆動で実行しないでください。
- 録画データの移動を開始後、次のような場合にDVDへの移動が中断されますので、十分注意してください。
  ①ユーザ操作によって移動処理が途中で中止された場合（途中で［キャンセル］ボタンが押された場合）、移動対象となったハードディスク内の録画データが削除されます。
  ②移動処理中にDVD-RAM書き込みエラー等、何らかのエラーが発生した場合、移動対象となったハードディスク内の録画データとDVD-RAM内に移動途中のデータの両方が削除されます。
- 1枚のDVD-RAMに納まらない場合は、複数枚のDVD-RAMに連続して記録します。
  必要数のDVD-RAM（CPRM対応）を準備してください（必要枚数は、［開始］ボタンを押した後に表示されます）。
- 移動している最中に、電源オフ／シャットダウン／ログオフ／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。

- 移動している最中にCD／DVD書き込みソフトやCD／DVD再生ソフトなどを起動・操作しないでください。その他、DVDへのファイルのコピー、移動および削除、DVD上のファイルの読み書きをしないでください。録画データの移動中にこれらの操作を行うと、DVDへの移動に失敗することがあります。失敗してしまった場合、移動対象となったハードディスク内の録画データとDVD-RAM内に移動途中のデータの両方が削除されますのでご注意ください。
- 使用するDVD-RAMに、傷や指紋などの汚れがないことを確認してください。
  メディアに傷や汚れがあると、正常に記録できないことがあります。また記録が正常に終了しても、再生が正常にできなくなることがあります。
- 「DVDへ移動」を実行して表示される画面上や「DVDへの移動機能」のヘルプに記載されている注意事項も、必ずお読みください。

▼地デジ/アナログモデルのみ

お好み再生について

- タイムスリップ中にチャンネル変更はできません。
- 早戻しができるのは、タイムスリップを開始してから見ていた番組に限ります。タイムスリップ開始以前、または開始後に視聴していなかった番組について早戻しをして見ることはできません。
- リモコンの［タイムスリップ］ボタンを押してから、もう1度［タイムスリップ］ボタンを押すまでの間、タイムスリップを行い、番組データをすべてハードディスクに保存します。［早送り］ボタンで映像の早送りをし、ライブ映像に追いついても、そのままタイムスリップを継続します。放送中の番組はハードディスクに記録されます。
- 「お好み再生」は、ハードディスクに空き容量がなくなると停止します。また、空き容量がまったくない場合には、「お好み再生」は動作しません。
- ハードディスクの記録状態によっては、「お好み再生」時の再生画像が数秒間後戻りしたり、一時停止することがあります。
- 予約録画の開始時刻になると、「お好み再生」は停止します。
- 「お好み再生」中に次の操作はできません。これらの操作を行う際は、「お好み再生」を停止してから操作してください。
  - ・ホーム画面へ戻る
  - ・リモコンモードで「番組ナビ」、「録るナビ」、「見るナビ」を表示する
  - ・「見るナビ」の新規登録、削除、並べ替え、検索、編集の操作
- 本製品には有寿命部品が含まれています。「Qosmio AV Center」で過去のシーンに戻って録画する場合、本体液晶ディスプレイやハードディスクユニットなどの有寿命部品が連続稼動になりますので、計画的なご利用をおすすめします。
  なお、有寿命部品については、『準備しよう 6章 デイリーケアとアフターケア』をご覧ください。

プレイバック録画について

- タイムスリップ中にチャンネル変更はできません。
- プレイバック録画の「開始」と「終了」の時間表示は目安です。

- 本機能は、タイムスリップを設定して仮録画した映像から、一部を切り取るための機能です。タイムスリップ開始時から仮録画した映像すべてを保存したい場合は、本機能を使用する必要はありません。タイムスリップ停止時に仮録画した映像を保存できます。
- ［タイムスリップ］ボタンを押してから、もう1度［タイムスリップ］ボタンを押すまでの間、タイムスリップを行い、番組データをすべてハードディスクに保存します。［早送り］ボタンや［ワンタッチスキップ］ボタンで映像の早送りをし、放送中の映像に追いついても、そのままタイムスリップを継続します。
- 本製品には有寿命部品が含まれています。「Qosmio AV Center」で過去のシーンに戻って録画する場合、本体液晶ディスプレイやハードディスクユニットなどの有寿命部品が連続稼動になりますので、計画的なご利用をおすすめします。
  なお、有寿命部品については、『準備しよう 6章 デイリーケアとアフターケア』をご覧ください。

追っかけ再生について

- 「追っかけ再生」中にハードディスクの空き容量がなくなると録画は停止しますが、録画された分までは追っかけ再生を続けます。空き容量がない場合は録画ができないので、「追っかけ再生」も動作しません。
- 「追っかけ再生」の再生画像が画面に出るまでに、時間がかかることがあります。
- 「追っかけ再生」では、実際の放送位置には追いつきません。見ている映像は、実際の放送よりも数秒遅れがあります。
- ディスクの記録状態によっては、再生画像が数秒間後戻りしたり、一時停止することがあります。

▲ 地デジ/アナログモデルのみ

10 DVDへの直接録画について

＊DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。「本節 14 「DVD MovieWriter」の使用にあたって」、「本節 13 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」とあわせてご覧ください。

- 地上デジタル放送の番組は、DVDに直接録画することはできません。
- フォーマットが必要なDVDをセットすると、メッセージが表示されますので、フォーマットを行ってください。フォーマットを行うと、そのDVDに保存されていた情報はすべて消去されます。
- 予約録画はできません。放送中の映像を取り込みます。
- 著作権保護された映像の再生、録画はできません。

11 DVD-Videoの再生にあたって

- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- 家庭用DVDレコーダで録画した、ファイナライズされていないDVDはパソコンで再生できない場合があります。
- DVD-Videoの再生には、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を起動し、DVD-Videoを再生してください。

- DVD-Video再生ソフト「TOSHIBA DVD PLAYER」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは電源プランで「バランス」を選択してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を最大表示にしてください。
- Region(リージョン)コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示設定でDVD-Videoを再生することはできません。

参照 表示装置の切替え『いろいろな機能を使おう 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』

- デュアルビュー（Extended Desktop）でDVD-Videoを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD-Video再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてご使用ください。

その他の注意については、「TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ」に記載しています。
「TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ」の起動は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ］をクリックしてください。

12 テレビ番組の取り込みについて

- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像をハードディスクに取り込んで編集するときは、まず「Qosmio AV Center」を使用して映像を取り込み、その後「DVD MovieWriter」で編集してください。映像をハードディスクに取り込む際に「Windows ムービー メーカー」やその他の市販ソフトは使用できません。
  なお、地上デジタル放送の番組を録画したファイルは編集できません。

13 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込み／書き出しに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込み／書き出しに失敗することがあります。

■CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって

- 地上デジタル放送の番組を、DVDメディアなどへ、直接書き込んだりコピー・移動することはできません。なお、「Qosmio AV Center」で録画した地上デジタル放送の番組は、CPRMに対応したDVD-RAMへ移動することができます。

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、電源オフ／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。

参照 省電力の設定について《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・音楽CD／DVDの再生アプリケーション
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・モデムなどの通信アプリケーション　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、SDHCメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、Express Card、光デジタル対応機器、AV入力端子に接続する機器、マイク入力端子に接続する機器
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。
- SDメモリカード、SDHCメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- CD／DVDに書き込みを行うときは、市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
- CD／DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

■作成したDVDについて

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVDに書き込む前に

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「DVD MovieWriter」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

■「DVD MovieWriter」のムービー作成について

- ムービー作成では-VRフォーマット、+VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

付録

14 「DVD MovieWriter」の使用にあたって

- 「DVD MovieWriter」はコンピュータの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「DVD MovieWriter」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- 「DVD MovieWriter」では、ソース（映像ファイル）のビットレートによっては、1枚に圧縮できない場合があります。
- [Ulead Label@Once] 画面でのDVDラベルの作成は、必ずレーベル面に直接印刷できるプリンタとメディアをご利用ください。市販のDVDラベルシールを貼付したDVDをご利用になると、ドライブの故障の原因になります。DVDラベルシールは使用しないでください。

15 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

使用できるメディアについては、『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」にあてはまる部分をご覧ください。

- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。
- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。

■データCD／DVDを作るにあたって

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

①「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、［データディスク作成］をクリックする

②［ディスク作成モードの設定ダイアログ］ボタン（ ）をクリックする

［データディスク設定］画面が表示されます。

③［データチェック］の「書き込み後にデータをチェックする」と「詳細チェック」をチェックする

④［OK］ボタンをクリックする

16「Windows Media Center」の使用にあたって

- 「Windows Media Center」を起動する前に、他のアプリケーションを終了させてください。起動中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

2 アプリケーションの新バージョンの情報を取得する

「東芝ソフトウェア更新チェックツール」を使うと、本製品に用意されている一部のアプリケーションやドライバの中から、新しいバージョンがWebサーバに掲載された場合、自動的にその情報が画面に表示されます。

メモ

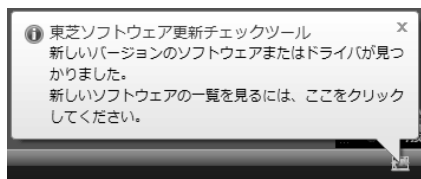
- 「東芝ソフトウェア更新チェックツール」を使用するには、インターネットに接続している環境が必要です。
- 「東芝ソフトウェア更新チェックツール」は、本製品に用意されているアプリケーションのうち、一部のアプリケーションの更新をお知らせします。このため、「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」、「Microsoft Update」などのサイトにアクセスし、よくあるご質問FAQやウイルス・セキュリティ情報などとあわせてご利用ください。

1 起動方法

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［更新チェックツール］をクリックする

初めて起動したときは、いくつかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って操作してください。
以降は、パソコンを起動すると自動的に起動し、通知領域にアイコン（ ）が表示されます。

2 使用方法

新しいバージョンのアプリケーションが見つかると、メッセージが表示されます。

メッセージが表示されたら、次のように操作してください。

1 通知領域の「東芝ソフトウェア更新チェックツール」のアイコン（ ）をクリックする

なお、ダイヤルアップ接続などでインターネットを利用している場合は、新しいバージョンのアプリケーションやドライバがWebサーバに掲載されているかどうかを定期的にチェックせずに、手動で新しいバージョンが掲載されているかどうかを調べることもできます。
「東芝ソフトウェア更新チェックツール」の詳細は、ヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

通知領域の「東芝ソフトウェア更新チェックツール」のアイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューの［ヘルプ］をクリックする

付録

さくいん

ト

ナ

ハ

フ

ホ

リ

レ

ロ

MEMO

MEMO

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。

アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

インターネットもご利用ください。

▼お問い合わせの多い質問をインターネットでご紹介「よくあるご質問FAQ」

http://dynabook.com/assistpc/index_ j.htm

▼専用フォームからお問い合わせ「東芝PCオンライン」

よくあるご質問FAQで問題が解決しないときはアンケートにお答えいただき、専用フォームから文書でお問い合わせください。※ご利用にはお客様登録が必要です。

▼インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝PCあんしんサポート」（http://dynabook.com/assistpc/anshin/index_j.htm）上にてお知らせいたします。

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

dynabook Qosmio 映像と音楽を楽しもう

平成19年4月13日　第1版発行　GX1C000J8110

発行　株式会社東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1